

平成 26 年度

牛乳・乳製品の消費動向に関する調査

報告書

【全体版】

独立行政法人 農畜産業振興機構

目 次

調査概要	1
調査結果	6
Ⅰ. 白ものの牛乳類の飲用実態	7
1. 白ものの牛乳類の飲用頻度	7
（1）白ものの牛乳類の飲用頻度	7
（2）白ものの牛乳類をそのまま飲む頻度	9
（3）他のものと混ぜて飲む頻度	10
（4）季節による変動	11
2. 白ものの牛乳類の飲用量	13
3. 白ものの牛乳類の飲用シーン	16
4. 白ものの牛乳類の飲用理由	18
Ⅱ. この1年間の白ものの牛乳類の飲用量の変化に対する認識	20
1. 飲み方別飲用量の増減	20
（1）そのまま飲む量の増減	20
（2）混ぜて飲む量の増減	21
（3）全体での増減	22
2. 白ものの牛乳類の飲用を阻害する要因	25
3. 白ものの牛乳類の飲用意向	27
Ⅲ. 白ものの牛乳類の購入実態	29
1. 白ものの牛乳類の購入頻度	29
2. 白ものの牛乳類の購入量	31
3. 白ものの牛乳類を購入する人	32
4. 白ものの牛乳類の買い方の変化	33
5. 主に購入している白ものの牛乳類	34
6. 成分調整牛乳・低脂肪牛乳を購入する理由	35
Ⅳ. 普段よく飲む飲み物	36
1. 普段よく飲む飲み物	36
2. 普段もっともよく飲む飲み物	37
Ⅴ. 白ものの牛乳類を使った料理の実態	39
1. この1ヶ月の白ものの牛乳類を使った料理行動	39
2. この1ヶ月の白ものの牛乳類を使って作った料理	44
Ⅵ. 乳製品の飲食実態	45
1. ヨーグルトの飲食状況	45
（1）ヨーグルトの飲食頻度	45
（2）ヨーグルトの飲食量	46
（3）ヨーグルトのタイプ	47
2. チーズの食用状況	49
（1）チーズを食べる頻度	49
（2）チーズを食べる量	50
（3）チーズ料理	51
（4）チーズを購入する人	54
（5）購入するチーズのタイプ	55
（6）ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いの認知状況	56
（7）普段チーズを購入する時に意識すること	58
（8）チーズの購入場所	562
Ⅶ. 白ものの牛乳類のベネフィットについての認識	63
1. 白ものの牛乳類のベネフィットについての認識	63
2. 見聞きしたことのある白ものの牛乳類のベネフィット	64
3. 白ものの牛乳類についてのニーズ	65
Ⅷ. 我が国の人口動向、諸外国の消費動向	67
調査票、参考資料	71

調査概要

調査概要

1. 調査目的

近年の飲用牛乳などの消費が減少していることを踏まえ、酪農・乳業の安定的発展を図る観点から、飲用牛乳を中心とした消費拡大を推進することが必要である。

このため、全国（沖縄県を除く）の中学生から後期高齢者までの消費者を対象としてアンケート調査を実施し、牛乳・乳製品の消費・購入・嗜好などに関する基本的な調査項目について、地域・年代などに偏りが生じないよう調査設計した上で、消費構造の変化や消費動向を把握し、牛乳・乳製品の消費拡大に向けた取り組みなどに役立つ情報を得ることとした。

調査結果については、基本的な調査項目に関してクロス集計、時系列集計などを用いて考察する。また、直近 11 年間（平成 16 年度～）のデータ（過去データは、機構から提供）と併せ、これからの我が国の人口動向、諸外国の消費動向などを考慮した上で、今後 10 年程度の牛乳・乳製品の長期的な消費動向などについて簡易に見通すとともに、誰がいつどのような食べ方で牛乳・乳製品を消費し、牛乳を飲まない人を含め、どのようにすれば牛乳・乳製品の消費拡大につながるかなどについて明らかにすることとする。

2. 調査方法

■留置併用訪問面接法により、本人が調査票に回答

3. 調査内容

- （１）白もの牛乳類の飲用実態
- （２）この１年間の白もの牛乳類の飲用量の変化
- （３）白もの牛乳類の購入実態
- （４）普段よく飲む飲み物
- （５）白もの牛乳類を使った料理の実態
- （６）乳製品の飲食実態
- （７）白もの牛乳類のベネフィットについての認識

4. 調査対象者

■全国の中学生以上の男女個人 3200 人（回収ベース）

5. 抽出方法(エリアサンプリング)

■平成 22 年国勢調査時の母集団人口に基づき、地域（9 分類）と都市規模（5 分類）により層化し、調査地点数を比例配分する。各層ごとに大字・町丁目の該当人口に応じて、調査地点を抽出する。各調査地点において、世帯（居住者のいる一般世帯住宅住戸）を系統抽出する。世帯から個人の抽出は、性・年齢別の割当てに従って、訪問世帯において対象者条件に適合する個人を抽出した。

6. サンプル設計について

■消費動向調査では、平成 19 年度（2007 年度）まで、地域（9 分類）・都市規模（5 分類）および性・年齢別の人口構成を反映したサンプル設計を行なってきた。そのため、若年層においては、回収サンプル数が少なく、性・年齢別の分析を行なうには十分ではなかった。

平成 20 年度（2008 年度）から、性・年齢の層別にも十分な分析を行なえるよう、性・年齢別に 200 サンプルずつを均等に割り当てるクォータ法により調査を実施している。

7. ウェイト集計の実施

■本年度調査では、性・年齢別に 200 サンプルずつを均等に割り当てる方法を採用したため、回収サンプル構成は、母集団である平成 22 年度国勢調査人口を反映していない。そのため、サンプルごとに人口構成に応じたウェイト値を与えて集計し、サンプル構成を補正した。本報告書で記載しているサンプル数は実際に回収されたサンプル数であるが、構成比（%）はウェイト集計後の値である。

8. 調査地域

■回収サンプルの地域別内訳は下記の通り（沖縄除く）。

【地域】

地域	回収数	構成比 (%)
北海道	128	4.0
東北	208	6.5
関東	1,248	39.0
東海	392	12.3
北陸	72	2.3
近畿	544	17.0
中国	192	6.0
四国	96	3.0
九州	320	10.0
計	3,200	100.0

【都市規模】

都市規模	回収数	構成比 (%)
大都市	1,000	31.3
15 万人以上	1,104	34.5
5 ～ 15 万人未満	856	26.8
5 万人未満の市	240	7.5
計	3,200	

9. 調査期間

■平成 26 年（2014 年）10 月 24 日～11 月 20 日

10. 本報告書でデータを読むうえでの注意点

■この調査は消費者の視点にたちアンケートを実施している都合上、牛乳類の分類については、牛乳の他にも低脂肪乳、無脂肪乳、栄養成分強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）を白もの牛乳類としており、法律や規約上の種類別分類とは異なる。

■択一式選択肢（SA）の場合、回答率の合計が 100.0%になるべきところで、そうならない箇所がある。これは各回答率を小数点以下第 2 位で四捨五入しているためである。

■「SA」の表記は単一回答、「MA」の表記は複数回答、「n」はサンプル数を示す。

■表示されているサンプル数は実際の回収サンプル数、構成比（%）はウェイト集計後の数値である。

■なお、図表および本文中の年度表記は西暦とした。

11. 回答者プロフィール

【性別（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	1,600	50.0
2	女性	1,600	50.0
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【年齢（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	12～15歳	405	12.7
2	16～19歳	395	12.3
3	20～24歳	180	5.6
4	25～29歳	220	6.9
5	30～34歳	168	5.3
6	35～39歳	232	7.3
7	40～44歳	205	6.4
8	45～49歳	195	6.1
9	50～54歳	195	6.1
10	55～59歳	205	6.4
11	60～64歳	178	5.6
12	65～69歳	222	6.9
13	70歳以上	400	12.5
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【未既婚（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	未婚	1,263	39.5
2	既婚	1,883	58.8
3	その他	54	1.7
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【子供の有無（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	子供はいる	1,725	53.9
2	子供はいない	1,467	45.8
	不明	8	0.3
	全体	3,200	100.0

【職業（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	農林漁業	26	0.8
2	商工サービス業	200	6.3
3	自由業	87	2.7
4	内職	2	0.1
5	管理職	89	2.8
6	専門・技術職	288	9.0
7	事務職	203	6.3
8	労務職	129	4.0
9	販売・サービス職	218	6.8
10	パート・アルバイト	327	10.2
11	専業主婦	467	14.6
12	中学生	400	12.5
13	高校生	276	8.6
14	中高生以外の学生	156	4.9
15	無職	332	10.4
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【学校や職場の給食・食堂の有無（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	給食がある	394	16.4
2	給食はないが、食堂を利用	398	16.6
3	どちらもない	1,593	66.4
	不明	14	0.6
	非該当		
	全体	2,410	100.0

【同居家族人数（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	1人（ひとり暮らし）	210	6.6
2	2人	695	21.7
3	3人	708	22.1
4	4人	900	28.1
5	5人	459	14.3
6	6人	157	4.9
7	7人以上	71	2.2
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【回答者の調理等の役割（MA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	料理する	1,090	36.5
2	食料品の買物をする	1,039	34.7
3	どちらもしていない	1,722	57.6
	不明	10	0.3
	非該当	210	
	全体	2,990	100.0

【家族構成（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	夫婦2人	551	18.4
2	二世代世帯	2,001	66.9
3	三世代世帯	385	12.9
4	その他	53	1.8
	不明	0	0.0
	非該当	210	
	全体	2,990	100.0

【同居家族する子供（MA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	乳児・幼児	440	18.0
2	小学生	611	25.1
3	中学生	404	16.6
4	高校生	401	16.4
5	大学・短大・専門学校生	249	10.2
6	この中にはいない	918	37.6
	不明	2	0.1
	非該当	761	
	全体	2,439	100.0

12. 主な分析軸

【性別、性年代別、地域別】

	カテゴリー名	n	%
性別	男性	1,600	50.0
	女性	1,600	50.0
男性×年代	男性-中学生	200	6.3
	男性-10代（中学生除く）	200	6.3
	男性-20代	200	6.3
	男性-30代	200	6.3
	男性-40代	200	6.3
	男性-50代	200	6.3
	男性-60代	200	6.3
	男性-70代以上	200	6.3
女性×年代	女性-中学生	200	6.3
	女性-10代（中学生除く）	200	6.3
	女性-20代	200	6.3
	女性-30代	200	6.3
	女性-40代	200	6.3
	女性-50代	200	6.3
	女性-60代	200	6.3
	女性-70代以上	200	6.3
地域別	北海道	128	4.0
	東北	208	6.5
	関東	1,248	39.0
	東海	392	12.3
	北陸	72	2.3
	近畿	544	17.0
	中国	192	6.0
	四国	96	3.0
	九州	320	10.0
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【白もの牛乳の飲用頻度】

No.	カテゴリー名	n	%
1	飲用者・計	2,670	83.5
2	毎日飲用	1,051	32.8
3	週1～6日飲用	1,130	35.4
4	月に2～3日以下飲用	489	15.3
5	非飲用者	530	16.6
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【白もの牛乳の飲用量増減】

No.	カテゴリー名	n	%
1	この1年間に飲用量増加計	214	6.7
2	この1年間に飲用量変化なし	2,142	66.9
3	この1年間に飲用量減少計	391	12.2
4	牛乳は元々飲まない	453	14.2
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

調査結果

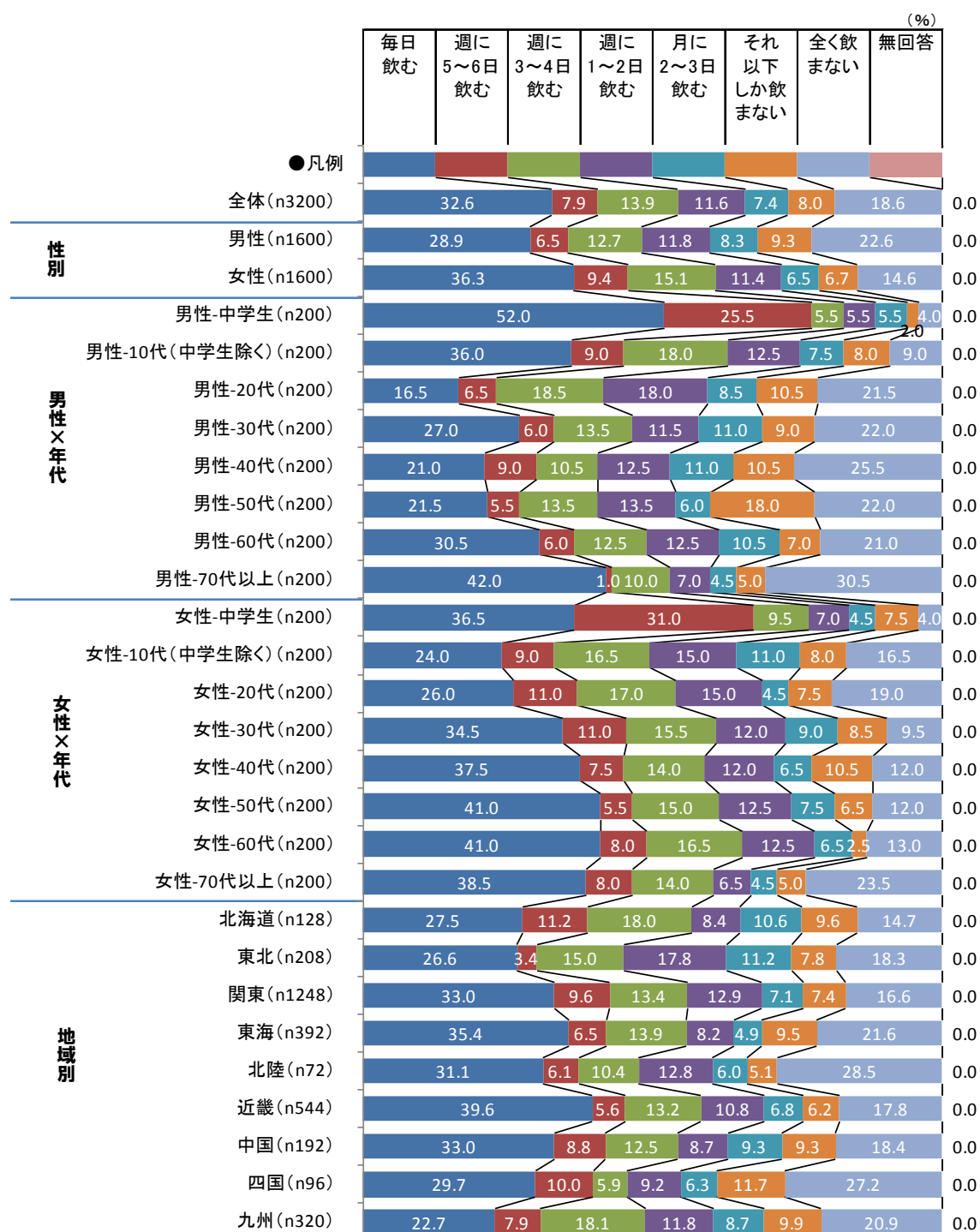
I. 白ものの牛乳類の飲用実態

1. 白ものの牛乳類の飲用頻度

(1) 白ものの牛乳類の飲用頻度

- コーヒーや紅茶など他のものと混ぜて飲んだり、シリアルなどにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、普段どの程度白ものの牛乳類を飲むかを質問した。
- 「毎日飲む」は全体で33%となり、一方で「全く飲まない」は19%であった。
- 性別では、女性で「毎日飲む」が36%で、男性よりも7ポイント高い。
- 性年代別では、男子中学生で「毎日飲む」が52%と最も高くなっている。その他、男性70代以上、女性50～60代で「毎日飲む」が4割以上と高いが、男性20代では「毎日飲む」が2割未満と低くなっている。
- 地域別では、近畿で「毎日飲む」が4割と最も高い。

【図表 I-1-1】性・年代別・地域別 問1 白ものの牛乳類を飲む頻度（SA）



[参考] 参考にこれまでの調査での白もの牛乳類の飲用頻度の推移をみる。

■白もの牛乳類の飲用頻度の時系列変化をみると、2014年度の平均（日/週）は3.4日で、昨年度の3.6日を下回った。白もの牛乳類の飲用機会は、依然として週7日の半数程度が現状である。

【図表 I-1-2】時系列 問1 白もの牛乳類の飲用頻度（SA）

									(%)	
	n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む*	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
2014年	3,200	32.6	7.9	13.9	11.6	7.4	8.0	18.6	0.0	3.4
2013年	3,200	33.4	8.8	14.1	13.1	7.1	7.7	15.8	0.0	3.6
2012年	3,200	35.4	7.5	14.8	11.8	8.2	6.5	15.8	0.0	3.6
2011年	3,200	35.3	8.6	12.8	13.7	6.8	7.0	15.8	0.0	3.6
2010年	3,200	35.8	9.4	11.7	12.7	9.2	8.0	13.3	0.0	3.7
2009年	3,200	37.9	7.5	13.7	12.3	8.6	7.4	12.6	0.0	3.8
2008年	3,200	36.9	9.3	13.6	12.9	8.2	7.1	12.0	0.0	3.8
2007年	3,486	38.5	9.0	13.7	11.5	8.5	6.1	12.7	0.0	3.9
2006年	3,478	37.7	9.5	13.5	12.0	7.0	6.5	13.7	0.0	3.9
2005年	3,896	39.5	9.8	15.5	11.9	7.2	6.0	10.2	0.0	4.1
2004年	4,177	40.1	9.6	14.0	11.6	7.5	6.4	10.8	0.0	4.1
2003年	4,177	41.8	11.2	14.5	10.7	6.1	5.5	10.3	0.0	4.3
2002年										
2001年	4,778	40.8	9.1	14.7	13.6	7.1	4.1	10.6	0.0	17.6
2000年	4,632	41.1	9.8	14.5	12.8	7.2	4.5	10.0	0.0	17.8
1999年	4,476	45.6	10.0	13.5	10.7	6.4	3.2	10.6	0.0	18.8
1998年	4,472	44.9	9.0	14.4	10.7	6.3	3.6	11.0	0.0	18.5
1997年	4,547	45.7	9.1	13.7	10.4	6.7	5.1	9.1	0.0	18.7
1996年	4,706	42.5	9.3	16.9	11.7	6.4	3.7	9.4	0.0	18.3
1995年	4,668	48.4	7.5	12.9	9.9	6.6	4.7	9.9	0.1	19.0
1994年	4,617	46.8	9.6	13.3	9.2	7.7	3.4	10.0	0.0	19.0
1993年	4,553	46.5	10.2	14.3	9.2	6.9	3.4	9.4	0.2	19.2
1992年	4,651	44.2	9.3	13.8	10.7	8.1	5.0	8.7	0.2	18.4
1991年	4,714	45.2	10.4	14.7	10.0	7.0	4.3	8.2	0.2	19.1
1990年	4,691	45.7	10.2	14.0	9.5	7.5	4.9	7.9	0.3	19.1
1989年	4,579	43.4	9.5	13.5	10.5	7.9	5.0	9.8	0.4	18.2
1988年	4,604	39.9	10.4	14.5	10.7	8.7	5.2	10.1	0.5	17.6
1987年	4,664	38.5	9.5	14.3	11.6	10.0	6.8	8.7	0.6	17.0

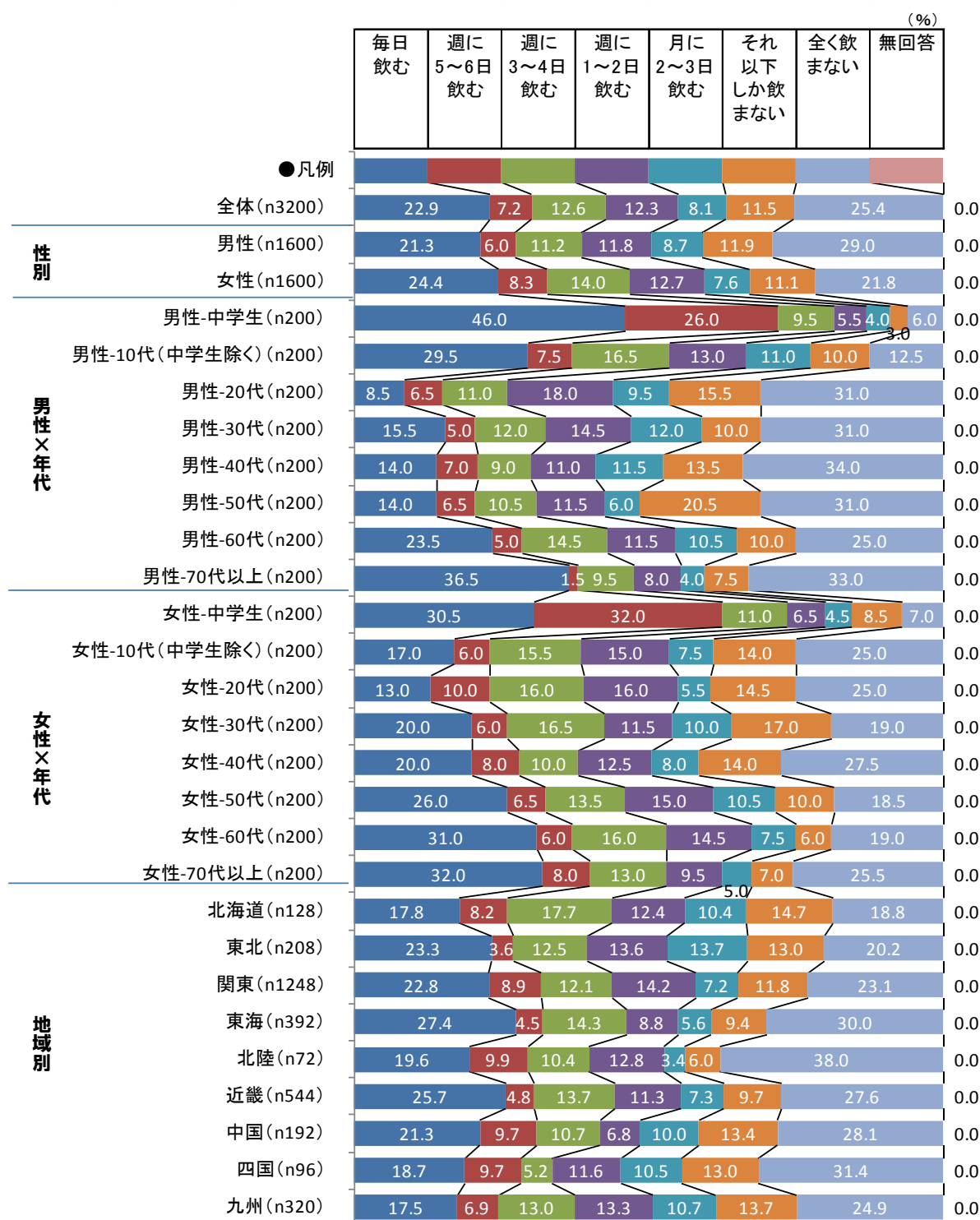
※斜線はデータなし

* 87～01年は「月に数回飲む」

(2) 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度

- そのまま飲む飲み方で、普段どの程度白もの牛乳類を飲むかを質問した。
- 「毎日飲む」人は全体の23%で、「全く飲まない」という人も同程度の25%を占めた。
- 性別では「毎日飲む」の割合に大きな差異はみられない。
- 性年代別では、男女中学生で「毎日飲む」割合が高い（男子中学生 46%、女子中学生 31%）。男性では、20～50代で「毎日飲む」割合が2割未満と低調だが、70代以上では37%と高い。女性では、20代以上で年齢の上昇とともに「毎日飲む」割合が高くなる傾向があり、女性60代以上では30%以上となった。
- 地域別では、「毎日飲む」割合は東海（27%）、近畿（26%）でやや高い。

【図表 I-1-3】性・年代別・地域別 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度（年間平均・SA）



(3) 他のものと混ぜて飲む頻度

■ コーヒーや紅茶など他のものと混ぜて飲む飲み方で、普段どの程度白もの牛乳類を飲むかを質問した。

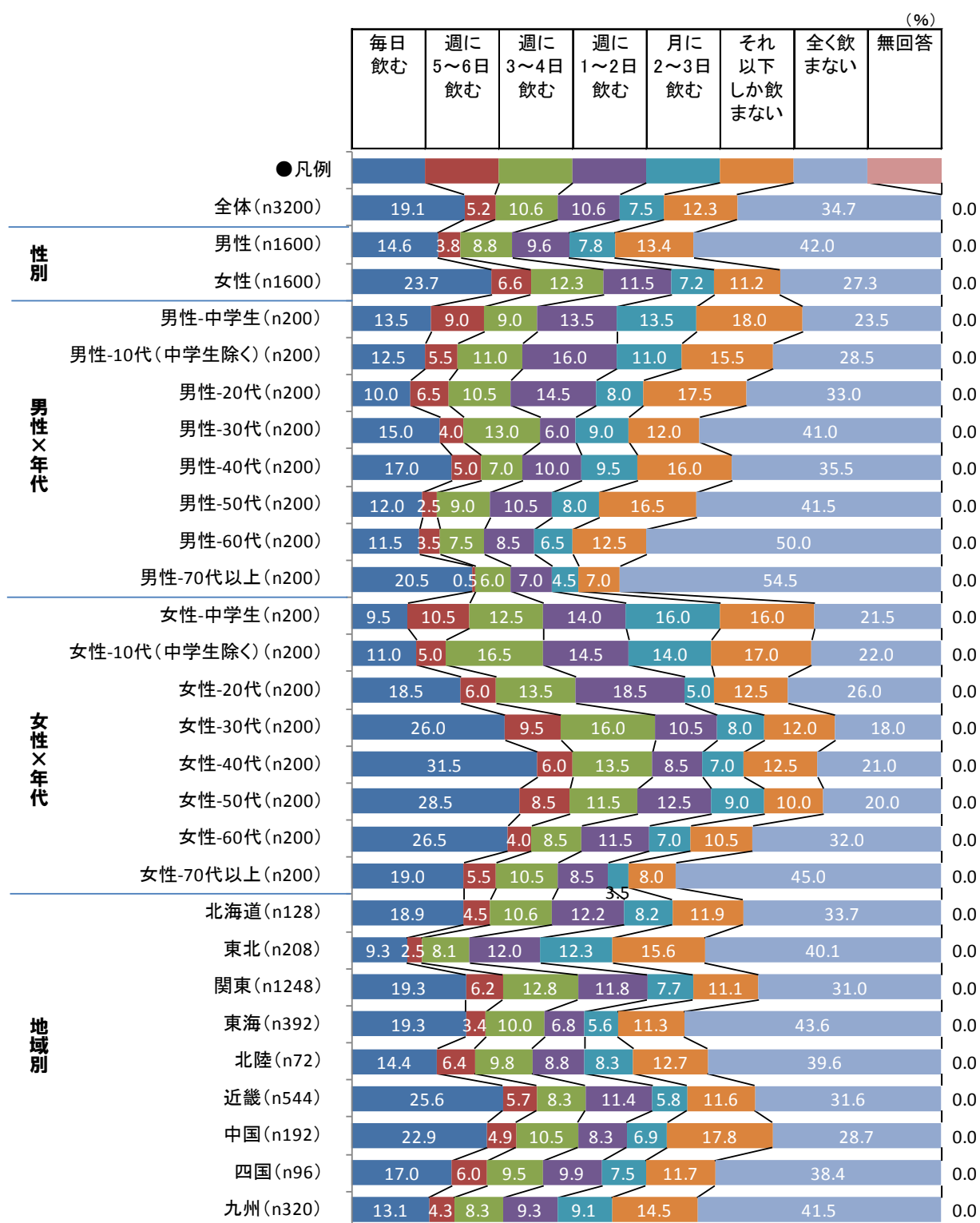
■ 「毎日飲む」は19%となった一方で、「全く飲まない」は35%を占めた。

■ 性別では、「毎日飲む」割合は女性で24%となっており、男性よりも9ポイント高い。

■ 性年代別では、女性30～60代で「毎日飲む」割合が高くなっている。

■ 地域別では、「毎日飲む」割合は近畿(26%)、中国(23%)でやや高い。

【図表 I-1-4】性・年代別・地域別 問3 白もの牛乳類を他のものと混ぜて飲む頻度(年間平均・S A)



(4) 季節による変動

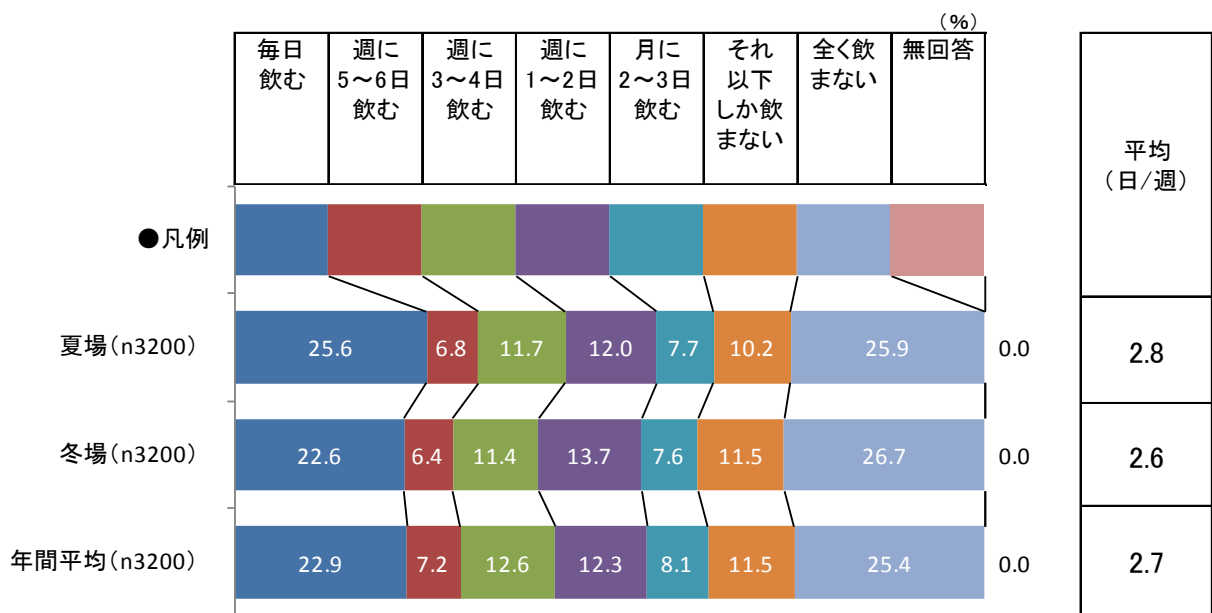
■白ものの牛乳類の飲み方別飲用頻度の季節による変動をみると、そのまま飲む飲み方では、夏場は平均（日/週）2.8日、冬場は平均2.6日となり、夏場の方がやや多く飲まれている。そのまま飲む飲み方では、夏場は「毎日飲む」人が26%と冬場の23%より3ポイント高くなっている。

■他のものと混ぜて飲む飲み方では、夏場は平均（日/週）2.3日、冬場は2.2日となり、大きな差異はみられない。「毎日飲む」割合も夏場21%、冬場20%と大きな差異はない。

■そのまま飲む飲み方のほうが他のものと混ぜて飲む飲み方より、季節変動による影響がやや大きいようである。

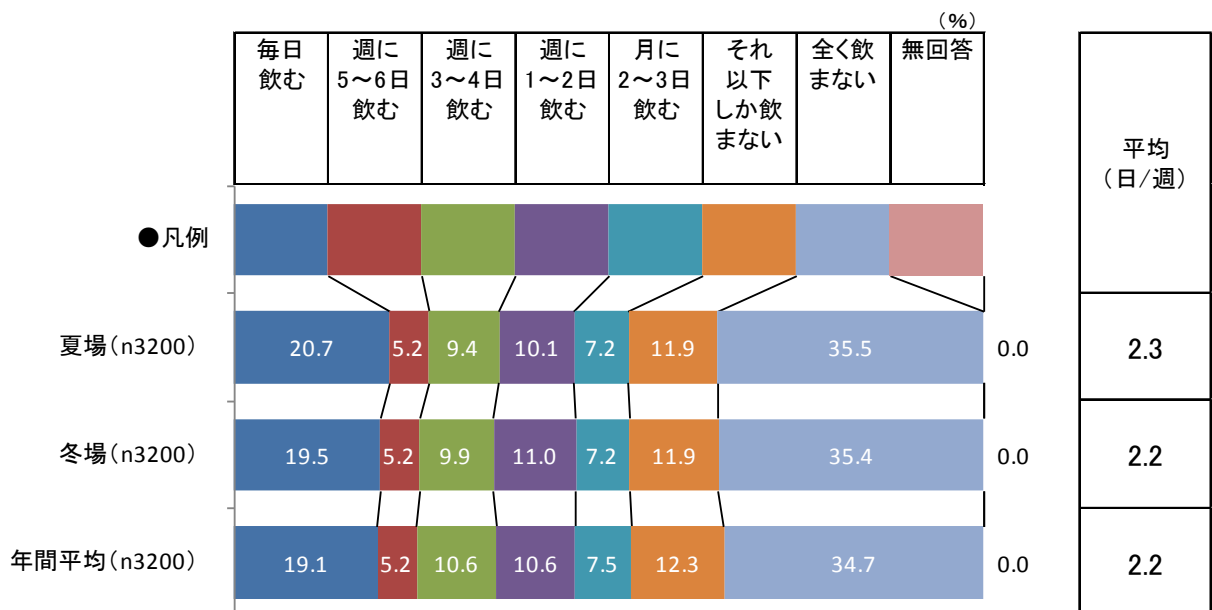
<そのまま飲む>

【図表 I-1-5】季節変動／飲み方別 問2 白ものの牛乳類の飲用頻度（SA）



<他のものと混ぜて飲む>

【図表 I-1-6】季節変動／飲み方別 問3 白ものの牛乳類の飲用頻度（SA）



■白もの牛乳類（そのまま飲む）の飲用頻度の時系列変化をみると、2014年度の平均（日/週）は2.7日（年間平均）となり、前年度と同様である。依然として、飲用頻度は低い水準のままとなっている。

■他のものと混ぜて飲む頻度の2014年度の平均（日/週）は2.2日（年間平均）となり、前年度と同様である。

【図表 I-1-7】時系列 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度（SA）

		(%)									平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
		n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	
夏 場	2014年	3,200	25.6	6.8	11.7	12.0	7.7	10.2	25.9	0.0	2.8
	2013年	3,200	25.2	7.4	11.9	13.0	7.9	10.1	24.6	0.0	2.8
	2012年	3,200	27.0	5.8	13.1	12.8	8.1	8.8	24.4	0.0	2.9
	2011年	3,200	26.8	7.2	11.6	14.0	7.3	9.6	23.5	0.0	2.9
	2010年	3,200	25.5	6.9	10.4	13.5	11.0	11.0	21.7	—	2.8
	2009年	3,200	27.3	6.5	13.3	14.1	9.9	9.7	19.3	—	3.0
	2008年	3,200	26.9	8.3	13.0	13.2	10.1	7.9	20.4	0.2	3.1
	2007年	3,486	28.8	7.7	13.6	12.9	9.0	8.3	19.8	0.0	3.2
	2006年	3,478	29.1	8.8	13.0	12.4	8.1	9.0	19.6	0.0	3.2
	2005年	3,896	30.5	9.2	14.9	12.9	8.3	8.0	16.0	0.1	3.4
冬 場	2014年	3,200	22.6	6.4	11.4	13.7	7.6	11.5	26.7	0.0	2.6
	2013年	3,200	22.6	6.6	11.6	14.2	8.3	11.5	25.1	0.0	2.6
	2012年	3,200	24.5	5.6	11.9	13.6	9.0	10.7	24.8	0.0	2.7
	2011年	3,200	24.2	6.3	10.9	15.1	7.6	11.0	24.9	0.0	2.7
	2010年	3,200	21.7	6.9	9.9	14.6	10.9	12.7	23.3	—	2.6
	2009年	3,200	24.5	6.3	11.8	15.4	10.5	11.1	20.4	—	2.8
	2008年	3,200	23.6	6.9	12.2	15.3	10.5	10.0	21.5	0.1	2.8
	2007年	3,486	25.2	6.8	12.8	15.1	9.0	10.4	20.8	0.0	2.9
	2006年	3,478	25.0	7.8	13.3	14.1	8.9	10.4	20.5	0.0	2.9
	2005年	3,896	26.1	7.4	15.1	15.8	8.3	9.5	17.7	0.1	3.1
年 間 平 均	2014年	3,200	22.9	7.2	12.6	12.3	8.1	11.5	25.4	0.0	2.7
	2013年	3,200	22.8	7.2	12.4	13.9	8.6	11.1	24.0	0.0	2.7
	2012年	3,200	24.6	6.6	13.4	12.3	9.3	9.9	24.0	0.0	2.7
	2011年	3,200	24.2	7.7	11.4	14.3	7.9	11.0	23.5	0.0	2.7
	2010年	3,200	22.0	7.8	11.3	13.8	11.0	13.0	21.0	0.1	2.7
	2009年	3,200	24.7	7.0	13.6	14.0	11.0	10.7	18.8	0.2	2.9
	2008年	3,200	23.9	8.3	13.4	14.2	10.4	9.8	19.6	0.4	2.9
	2007年	3,486	25.3	8.2	14.5	13.2	9.6	9.7	19.3	0.2	3.0
	2006年	3,478	25.3	9.3	14.0	13.1	8.9	9.9	19.0	0.4	3.1
	2005年	3,896	26.6	9.3	16.2	13.6	8.9	9.7	15.5	0.2	3.2

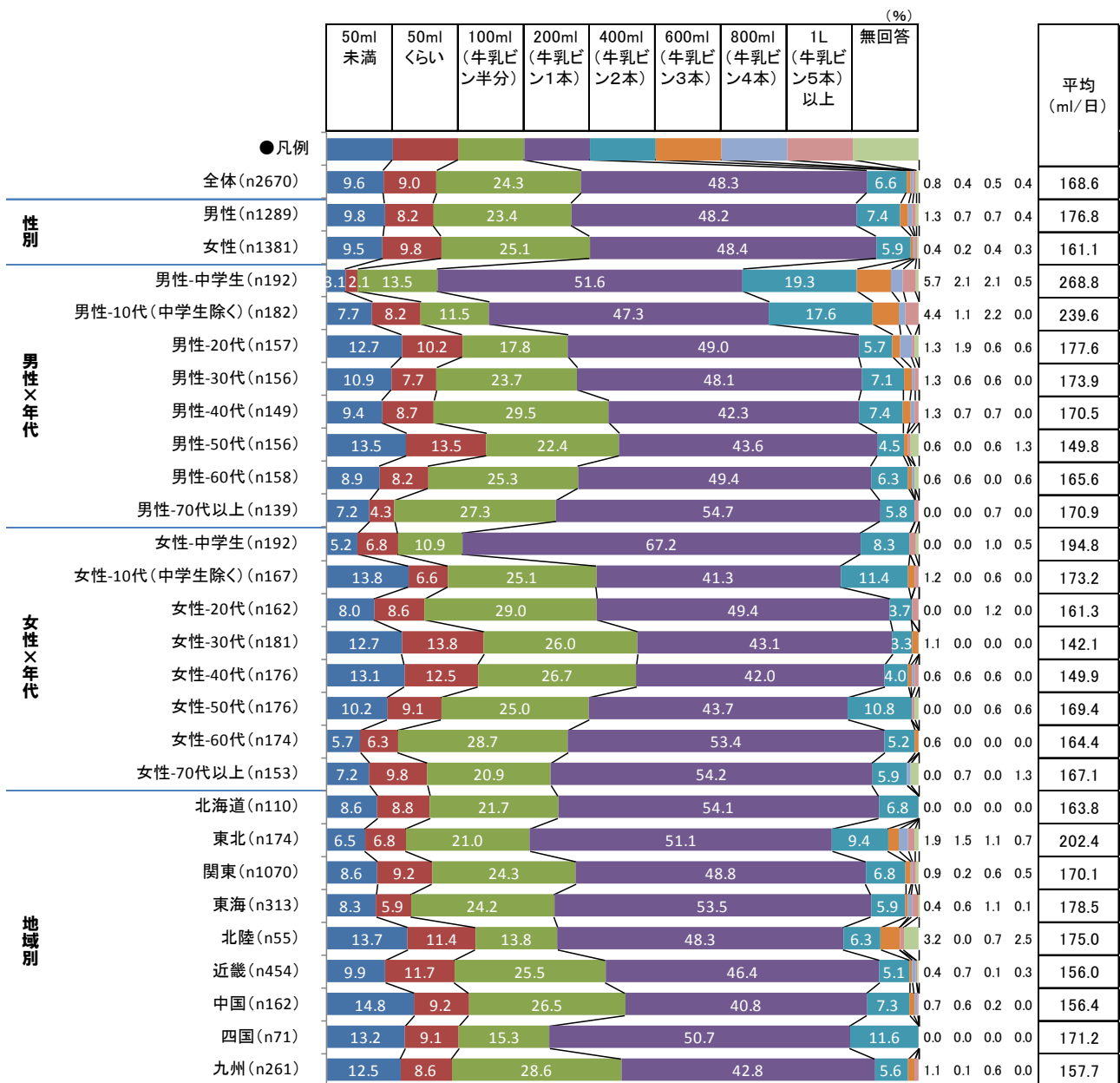
【図表 I-1-8】時系列 問3 白もの牛乳類を他のものと混ぜて飲む頻度（SA）

		(%)									平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
		n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	
夏 場	2014年	3,200	20.7	5.2	9.4	10.1	7.2	11.9	35.5	0.0	2.3
	2013年	3,200	20.2	5.1	9.4	11.0	7.1	11.7	35.3	0.0	2.2
	2012年	3,200	21.0	4.5	8.9	11.3	6.9	10.7	36.5	0.0	2.2
	2011年	3,200	20.7	5.3	9.4	11.4	8.5	10.2	34.4	0.1	2.2
	2010年	3,200	21.5	5.9	9.3	11.2	8.8	11.4	31.8	0.0	2.4
	2009年	3,200	21.5	5.9	8.6	11.5	9.2	11.9	31.5	0.0	2.4
	2008年	3,200	19.9	5.5	10.2	11.3	9.3	11.1	32.6	0.2	2.3
	2007年	3,486	19.2	4.9	9.9	11.4	9.6	10.6	34.4	0.0	2.2
	2006年	3,478	19.3	5.8	8.7	11.1	9.1	12.0	33.9	0.0	2.2
	2005年	3,896	20.1	5.7	9.9	12.0	8.9	11.6	31.6	0.1	2.3
冬 場	2014年	3,200	19.5	5.2	9.9	11.0	7.2	11.9	35.4	0.0	2.2
	2013年	3,200	18.7	5.6	9.9	11.7	7.7	12.0	34.4	0.0	2.2
	2012年	3,200	19.5	5.0	9.3	11.3	7.6	11.4	35.9	0.0	2.1
	2011年	3,200	19.4	5.0	10.3	12.3	8.4	10.7	33.8	0.1	2.2
	2010年	3,200	19.8	6.1	9.8	11.4	9.5	11.4	32.0	0.0	2.3
	2009年	3,200	20.2	5.5	9.0	12.4	9.1	12.4	31.4	0.0	2.3
	2008年	3,200	19.1	5.5	10.0	11.3	10.0	11.6	32.3	0.2	2.3
	2007年	3,486	18.0	5.2	10.0	12.0	9.3	11.1	34.3	0.0	2.2
	2006年	3,478	17.9	5.9	9.4	11.5	9.6	11.9	33.6	0.0	2.2
	2005年	3,896	18.6	5.6	10.5	12.8	9.7	11.5	31.3	0.1	2.3
年 間 平 均	2014年	3,200	19.5	6.1	9.5	12.0	9.7	11.6	31.7	0.0	2.3
	2013年	3,200	18.4	5.9	9.8	11.8	8.1	12.4	33.6	0.0	2.2
	2012年	3,200	19.0	5.2	9.9	11.2	7.9	11.4	35.2	0.0	2.1
	2011年	3,200	19.0	5.3	10.3	12.7	8.7	10.8	33.0	0.2	2.2
	2010年	3,200	19.3	6.2	10.5	11.2	9.8	12.1	30.7	0.2	2.3
	2009年	3,200	19.6	6.0	9.6	11.9	9.6	12.5	30.5	0.3	2.3
	2008年	3,200	18.5	5.6	11.0	11.2	10.2	11.8	31.2	0.5	2.3
	2007年	3,486	17.3	5.3	11.0	11.9	9.5	11.4	33.4	0.2	2.2
	2006年	3,478	17.6	6.0	9.8	11.6	9.3	12.7	32.5	0.5	2.2
	2005年	3,896	18.2	5.7	11.4	11.8	10.1	12.4	30.0	0.3	2.3

2. 白ものの牛乳類の飲用量

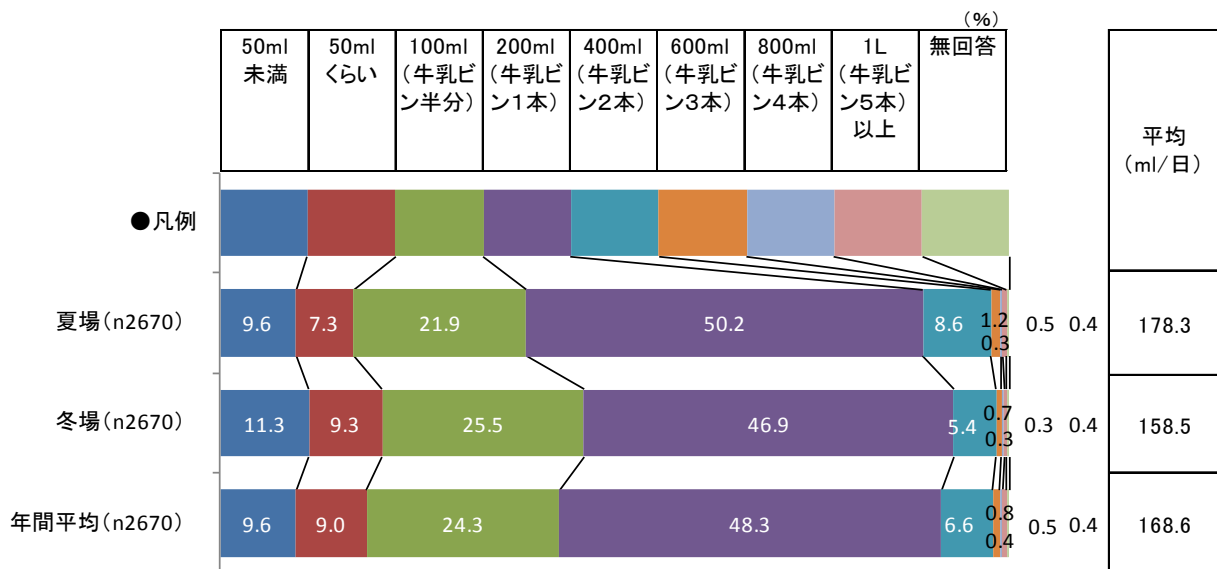
- そのまま飲む以外の場合を含めて、白ものの牛乳類を飲むときには1日にどれくらいの量を飲むかを質問した。
- 全体では「200ml」が最も多く、48%を占めた。性別や性年代別、地域別でみても「200ml」が多くなっている。
- 平均飲用量（ml/日）を算出したところ、全体では168.6mlとなった。性年代別で最も平均飲用量が多いのは、男子中学生で、268.8mlとなっている。一方、平均飲用量が少ないのは男性50代、女性30～40代で、150ml以下となっている。また、地域別では、東北で平均飲用量が多く、200mlを超える。

【図表 I-2-1】性・年代別・地域別 問4 白ものの牛乳類を飲むときに1日に飲む量（年間平均・SA）＜飲用者ベース＞



- 白もの牛乳類飲用者の1日あたり飲用量の季節による変動をみると、平均量(ml/日)は夏場178.3ml、冬場158.5mlとなっており、夏場が冬場より約20ml多い(冬場よりも夏場が飲まれている)。
- 性年代別にみると、全ての層において夏場の方が冬場より平均飲用量が多くなっている。男性は女性より、夏場と冬場の飲用量の差が大きい。

【図表 I-2-2】季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 (SA) <飲用者ベース>



【図表 I-2-3】性・年齢別・地域別/季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 (SA) <飲用者ベース>

カテゴリー名		n	夏場	冬場	年間平均
全体		2,670	178.3	158.5	168.6
性別	男性	1,289	188.6	162.7	176.8
	女性	1,381	168.9	154.6	161.1
男性×年代	男性-中学生	192	278.8	258.9	268.8
	男性-10代(中学生除く)	182	253.4	220.5	239.6
	男性-20代	157	180.6	170.7	177.6
	男性-30代	156	192.1	154.2	173.9
	男性-40代	149	174.5	149.5	170.5
	男性-50代	156	163.3	138.1	149.8
	男性-60代	158	181.4	151.6	165.6
	男性-70代以上	139	183.6	161.1	170.9
女性×年代	女性-中学生	192	193.6	186.7	194.8
	女性-10代(中学生除く)	167	183.0	169.6	173.2
	女性-20代	162	161.9	154.2	161.3
	女性-30代	181	144.5	132.7	142.1
	女性-40代	176	167.6	146.2	149.9
	女性-50代	176	178.7	154.6	169.4
	女性-60代	174	173.9	163.1	164.4
	女性-70代以上	153	175.2	163.2	167.1
地域別	北海道	110	166.0	164.9	163.8
	東北	174	217.8	184.7	202.4
	関東	1,070	178.6	158.3	170.1
	東海	313	184.0	173.1	178.5
	北陸	55	199.9	171.5	175.0
	近畿	454	168.9	147.4	156.0
	中国	162	165.7	149.8	156.4
	四国	71	192.5	154.5	171.2
	九州	261	165.2	144.6	157.7

■白もの牛乳類の平均飲用量の時系列変化をみると、減少傾向となっており、夏場・冬場・年間平均を問わず、年々飲用量は減少している。

■特に、2004年度⇒2014年度の変化として見ると、夏場が37.6ml、冬場が23.1ml、年間平均がでは28.6mlと大きく減少している。

【図表 I-2-4】季節変動／時系列 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 (SA) <飲用者ベース>

		(%)										平均 (ml/日)
		n	50ml 未満	50ml くらい	100ml (牛乳ビン 半分)	200ml (牛乳ビン 1本)	400ml (牛乳ビン 2本)	600ml (牛乳ビン 3本)	800ml (牛乳ビン 4本)	1L (牛乳ビン 5本) 以上	無回答	
夏 場	2014年	2,670	9.6	7.3	21.9	50.2	8.6	1.2	0.3	0.5	0.4	178.3
	2013年	2,733	8.9	7.2	21.6	50.4	9.2	1.7	0.2	0.5	0.2	182.6
	2012年	2,749	10.2	6.2	20.8	50.3	9.7	1.7	0.5	0.4	0.1	184.3
	2011年	2,744	9.5	6.9	19.4	52.3	8.2	2.1	0.3	0.9	0.4	187.6
	2010年	2,827	10.6	6.5	18.1	48.9	11.9	2.3	0.5	1.2	-	198.5
	2009年	2,831	7.7	6.5	18.3	52.7	11.1	2.3	0.7	0.7	0.0	199.3
	2008年	2,851	7.9	5.9	16.8	53.1	11.6	2.3	0.6	0.5	1.5	200.2
	2007年	3,044	7.2	5.2	17.1	53.3	12.0	2.8	0.9	0.9	0.7	210.1
	2006年	3,001	8.5	5.4	15.1	53.8	12.4	2.4	0.7	1.4	0.3	211.5
	2005年	3,497	6.6	4.9	15.6	54.7	12.9	3.0	0.5	0.9	0.8	214.0
冬 場	2014年	2,670	11.3	9.3	25.5	46.9	5.4	0.7	0.3	0.3	0.4	158.5
	2013年	2,733	10.0	9.2	25.4	47.6	6.0	1.1	0.2	0.2	0.2	163.0
	2012年	2,749	11.7	7.5	25.1	47.3	6.1	1.3	0.3	0.4	0.3	165.0
	2011年	2,744	11.2	8.6	22.9	49.0	5.9	1.1	0.3	0.6	0.4	167.6
	2010年	2,827	12.9	8.6	23.2	45.5	7.4	1.3	0.5	0.5	0.1	168.0
	2009年	2,831	9.9	8.2	22.0	50.1	7.4	1.1	0.7	0.5	0.0	175.8
	2008年	2,851	9.9	7.9	21.9	49.2	7.4	1.3	0.4	0.3	1.7	173.0
	2007年	3,044	8.3	7.4	21.7	50.5	8.3	2.0	0.4	0.4	1.0	182.7
	2006年	3,001	10.5	7.6	19.8	50.8	7.8	1.7	0.5	0.8	0.5	182.4
	2005年	3,497	8.5	6.9	21.4	52.2	7.2	1.9	0.4	0.3	1.1	180.4
年 間 平 均	2014年	2,670	9.6	9.0	24.3	48.3	6.6	0.8	0.4	0.5	0.4	168.6
	2013年	2,733	8.2	8.7	25.0	48.7	7.1	1.1	0.5	0.3	0.3	171.5
	2012年	2,749	10.3	7.4	23.9	48.3	7.6	1.5	0.2	0.6	0.1	175.0
	2011年	2,744	9.7	9.0	21.2	49.9	7.0	1.6	0.4	0.9	0.3	178.4
	2010年	2,827	10.9	8.1	21.6	46.8	8.8	1.8	0.6	1.4	-	187.0
	2009年	2,831	8.2	7.4	21.2	51.1	9.2	1.4	0.6	0.8	0.0	187.7
	2008年	2,851	8.4	7.7	19.2	52.4	8.3	1.9	0.4	0.3	1.3	183.6
	2007年	3,044	7.2	6.8	19.5	52.6	9.1	2.3	0.6	1.1	0.9	197.3
	2006年	3,001	8.9	6.6	19.1	51.8	9.1	1.9	1.0	1.3	0.4	197.4
	2005年	3,497	6.8	6.3	19.9	53.3	9.1	2.3	0.6	0.8	0.8	195.8
	2004年	3,726	7.5	6.9	18.5	52.8	9.5	2.0	0.8	1.0	1.0	197.2

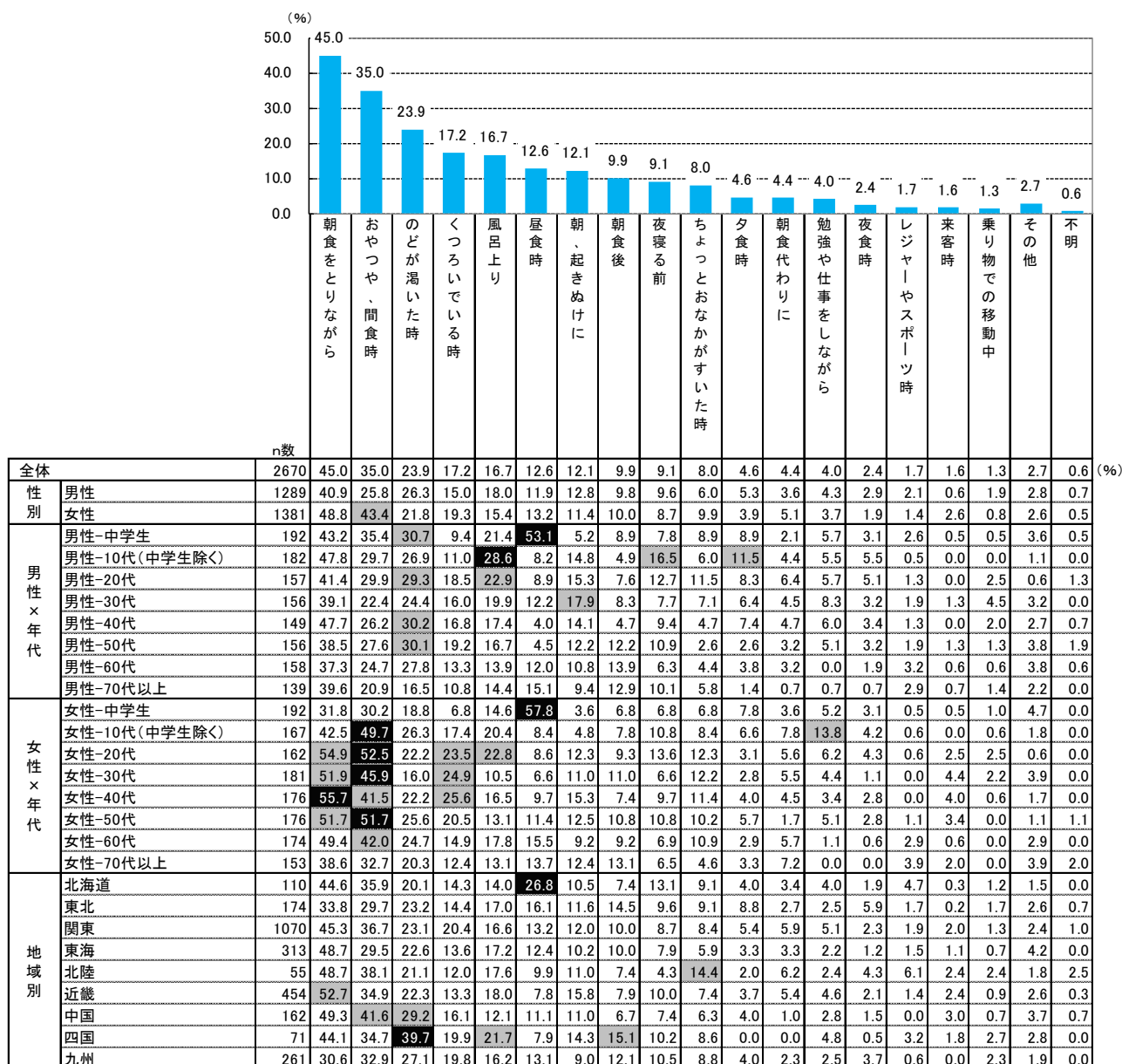
【図表 I-2-5】性・年齢別／時系列 1日あたりの白もの牛乳類の飲用量 <非飲用者も含む全体ベース>

		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
		人数	平均(ml/日)	人数	平均(ml/日)	人数	平均(ml/日)	人数	平均(ml/日)	人数	平均(ml/日)	人数	平均(ml/日)	人数	平均(ml/日)	人数	平均(ml/日)	人数	平均(ml/日)	人数	平均(ml/日)
性・年齢別	全 体	3896	126.9	3478	122.5	3486	121.6	3200	112.9	3200	113.5	3200	111.0	3200	109.3	3200	107.7	3200	104.6	3200	136.8
	中学生	54	324.8	52	339.4	75	235.1	200	287.3	200	268.9	200	271.0	200	267.6	200	269.5	200	251.8	200	256.8
	10代(中学生除)	89	226.7	95	217.8	97	205.6	200	190.0	200	175.5	200	197.2	200	235.9	200	197.9	200	161.6	200	218.0
	20代	184	117.3	187	144.6	253	137.3	200	126.3	200	114.4	200	108.9	200	118.4	200	101.1	200	142.3	200	138.5
	30代	236	113.3	266	118.4	291	94.7	200	85.1	200	92.4	200	100.6	200	110.9	200	102.4	200	89.3	200	135.6
	40代	277	100.1	227	115.3	241	79.7	200	85.1	200	92.7	200	101.3	200	84.6	200	112.4	200	72.7	200	127.0
	50代	355	105.1	315	98.8	290	106.8	200	93.9	200	78.1	200	82.2	200	70.7	200	69.0	200	75.1	200	115.4
	60代	323	118.2	271	112.7	243	109.5	200	97.7	200	91.6	200	95.2	200	37.9	200	80.1	200	102.2	200	130.0
	70代以上	252	126.8	250	109.4	233	114.6	200	107.6	200	124.7	200	97.7	200	81.9	200	55.3	200	74.8	200	118.8
	中学生	46	210.7	50	246.7	67	179.3	200	199.1	200	215.2	200	177.5	200	204.9	200	209.3	200	198.9	200	186.0
	10代(中学生除)	110	157.3	91	116.1	89	110.9	200	98.7	200	115.2	200	87.7	200	100.9	200	133.8	200	104.8	200	144.6
	20代	234	106.8	189	114.6	242	123.3	200	110.0	200	110.1	200	115.8	200	105.0	200	115.3	200	67.4	200	130.6
	30代	355	126.6	280	105.9	265	134.9	200	107.4	200	127.6	200	82.6	200	116.5	200	127.7	200	119.1	200	128.6
	40代	292	137.2	284	119.1	234	109.2	200	117.2	200	100.7	200	134.5	200	125.8	200	120.6	200	112.8	200	131.9
	50代	430	129.2	342	110.7	281	131.6	200	103.9	200	113.6	200	106.4	200	127.5	200	120.0	200	109.1	200	148.3
	60代	373	121.5	263	124.7	243	117.0	200	125.5	200	132.8	200	119.1	200	125.8	200	109.8	200	113.7	200	143.0
	70代以上	286	123.7	316	111.9	342	123.3	200	118.9	200	111.3	200	120.8	200	111.8	200	90.1	200	98.9	200	126.1
	男性計	1770	125.0	1663	127.5	1723	118.1	1600	109.8	1600	107.7	1600	108.3	1600	96.8	1600	97.6	1600	100.4	1600	136.4
	女性計	2126	128.5	1815	118.6	1763	125.1	1600	115.7	1600	119.1	1600	113.6	1600	121.8	1600	117.8	1600	108.8	1600	137.2

3. 白もの牛乳類の飲用シーン

- 白もの牛乳類をそのまま飲む以外の場合を含めて、どのような時に飲むかを質問した。
- 全体では、「朝食をとりながら (45%)」、「おやつや間食時 (35%)」、「のどが渴いた時 (24%)」が上位に並ぶ。
- 性別では、女性で「おやつや間食時 (43%)」が多くあげられ、全体を8ポイント上回る。
- 性年代別では、男性は男子中学生の「昼食時 (53%)」、男性10代の「風呂上り (29%)」が全体を10ポイント以上上回っている。女性は女子中学生の「昼食時 (58%)」、女性10～30代と50代の「おやつや間食時 (10代50%、20代53%、30代46%、50代52%)」、女性40代の「朝食をとりながら (56%)」が全体を10ポイント以上上回る。男女中学生の場合は、当然のことながら、給食時の飲用が背景にあると思われる。また女性では、「おやつや間食時」に牛乳を飲用するケースが多いことがうかがえる。
- 地域別では、北海道で「昼食時 (27%)」、四国で「のどが渴いた時 (40%)」が多く、全体を10ポイント以上上回る。

【図表 I-3-1】性・年齢別・地域別 問5 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

■2013年度と比較して、2014年度も同様の傾向となっており、大きな変動はみられなかった。

■傾向でみると、「朝食をとりながら」と「おやつや間食時」は横ばい、「のどが渴いた時」「風呂上り」は下降傾向にあることがうかがえる。「朝食をとりながら」は横ばいではあるが、牛乳の飲用シーンとして最も多く、朝食時の飲料として「牛乳」をアピールし続けることは、消費量拡大に寄与することと思われる。

【図表 I-3-2】時系列 問5 白もの牛乳類の飲用シーン（MA）＜飲用者ベース＞

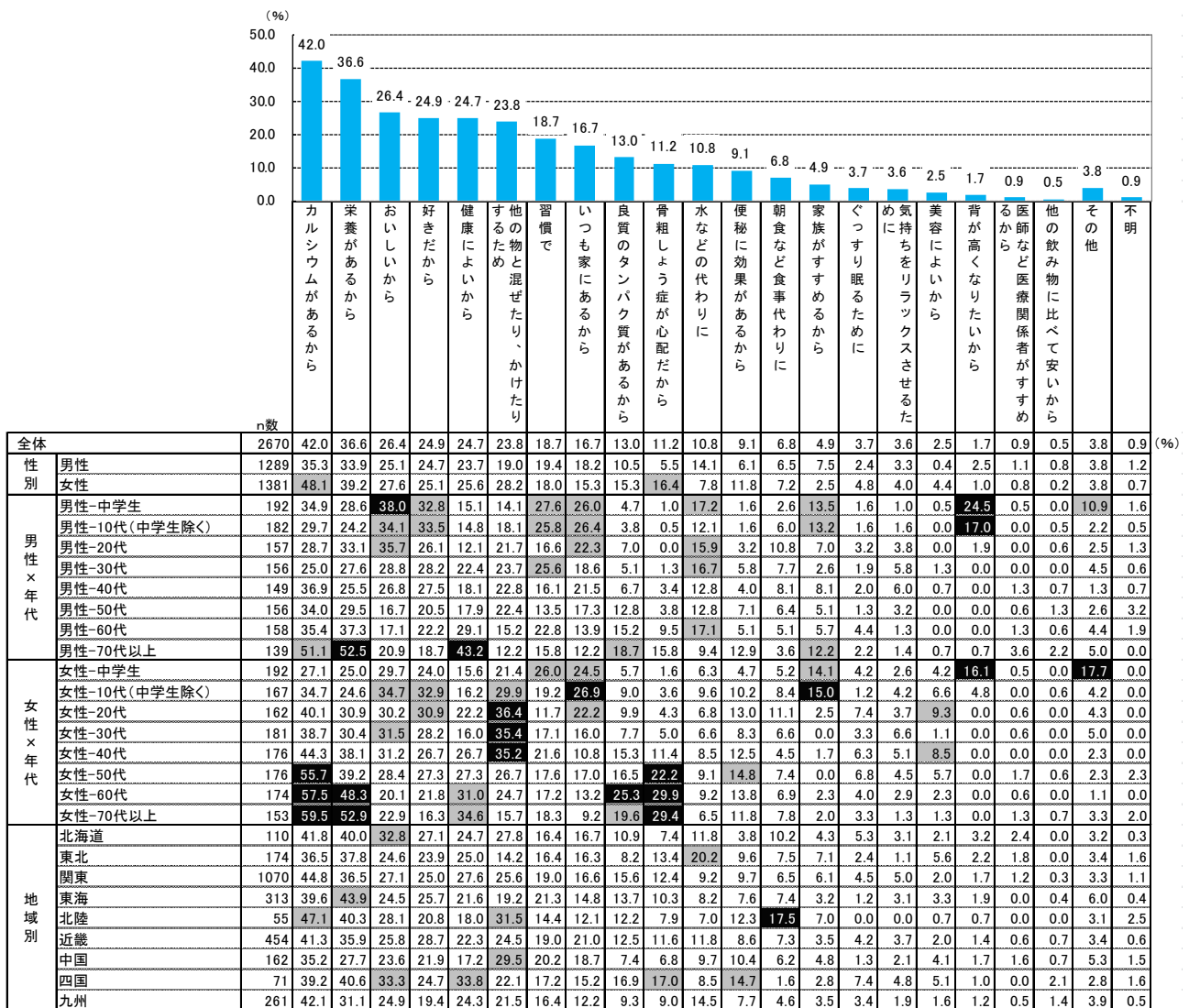
(%)

	n	朝食をとりながら	おやつや、間食時	のどが渴いた時	くつろいでいる時	風呂上り	昼食時	朝起きぬけに	朝食後	夜寝る前	ちよつとおながすいた時	夕食時	朝食代わりに	勉強や仕事をしながら	夜食時	レジャーやスポーツ時	来客時	乗り物での移動中	その他
2014年	2,670	45.0	35.0	23.9	17.2	16.7	12.6	12.1	9.9	9.1	8.0	4.6	4.4	4.0	2.4	1.7	1.6	1.3	2.7
2013年	2,733	43.7	36.2	25.8	19.0	19.3	13.1	12.0	11.1	10.4	8.6	3.9	5.5	4.9	3.3	1.8	2.5	1.4	1.9
2012年	2,749	44.4	34.5	24.8	16.3	17.8	12.5	10.7	11.1	9.7	8.5	4.4	5.3	3.8	3.7	1.1	2.3	0.9	1.8
2011年	2,744	43.2	33.8	25.3	15.7	17.9	13.0	12.1	11.4	9.5	8.4	3.5	4.5	3.6	3.3	1.5	2.2	1.2	2.2
2010年	2,827	44.7	35.7	36.3	20.7	19.9	12.3	11.0	12.4	11.4	11.4	6.0	4.6	4.4	3.2	1.2	3.2	2.1	3.6
2009年	2,831	42.5	36.5	36.7	22.7	22.2	13.5	10.8	12.3	10.5	11.4	6.0	5.2	5.3	3.5	1.6	4.1	2.0	2.7
2008年	2,851	43.5	34.9	38.7	22.5	24.6	15.0	11.6	12.5	12.0	13.2	5.9	6.0	4.8	3.8	1.7	3.3	2.0	2.3
2007年	3,044	42.9	34.1	39.4	20.3	24.8	14.7	12.4	11.5	11.2	12.2	5.7	6.0	4.5	3.5	1.8	3.3	2.1	2.6
2006年	3,001	40.4	35.7	41.2	21.4	26.7	15.0	12.1	13.8	14.1	13.8	6.7	6.7	4.6	3.7	2.3	2.9	2.0	2.7
2005年	3,497	41.6	37.0	43.0	21.1	26.9	15.3	11.6	13.5	14.5	14.1	6.6	6.4	4.3	4.5	1.9	2.9	2.1	2.3
2004年																			
2003年																			
2002年	3,810	46.8	43.3	53.3	25.1	38.5	18.8	17.2	18.0	18.7	20.8	8.1	11.3	6.4	6.0	4.2	3.6	2.8	2.3

4. 白ものの牛乳類の飲用理由

- 白ものの牛乳類を飲む人に、白ものの牛乳類を飲む理由を質問した。
- 全体では、「カルシウムがあるから (42%)」、「栄養があるから (37%)」、「おいしいから (26%)」、「好きだから (25%)」、「健康によいから (25%)」、「他の物と混ぜたり、かけたりするため (24%)」が多くあげられている。
- 性別では、女性で「カルシウムがあるから (48%)」、「骨粗しょう症が心配だから (16%)」が多く、男性を10ポイント以上上回る。
- 性年代別では、女性の50代以上で「カルシウムがあるから」が55%以上と高く、「骨粗しょう症が心配だから」が2割を超える。また、男女とも70代以上では「栄養があるから」が5割を超え、男性70代以上では「健康によいから」も4割を超えるており高齢者の健康志向にこたえる飲み物として認知されている。また、女性20～40代では「他の物と混ぜたり、かけたりするため」が約35%と高くなっている。

【図表 I-4-1】性・年齢別・地域別 問6 白ものの牛乳類を飲む理由 (MA) <飲用者ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

「健康によいから」・・・・・・2002 年度⇒2014 年度：▲21 ポイント
「カルシウムがあるから」・・・・・・2000 年度⇒2014 年度：▲19 ポイント
「骨粗しょう症が心配だから」・・・2000 年度⇒2014 年度：▲17 ポイント
「いつも家にあるから」・・・・・・2000 年度⇒2014 年度：▲17 ポイント
「栄養があるから」・・・・・・2000 年度⇒2014 年度：▲13 ポイント

【図表 I-4-2】時系列 問6 白もの牛乳類を飲む理由 (MA)

※斜線はデータなし
※1998年、2001年、2003年、2004年はデータなし
※1999年以前は非飲用者も含む全体ベース

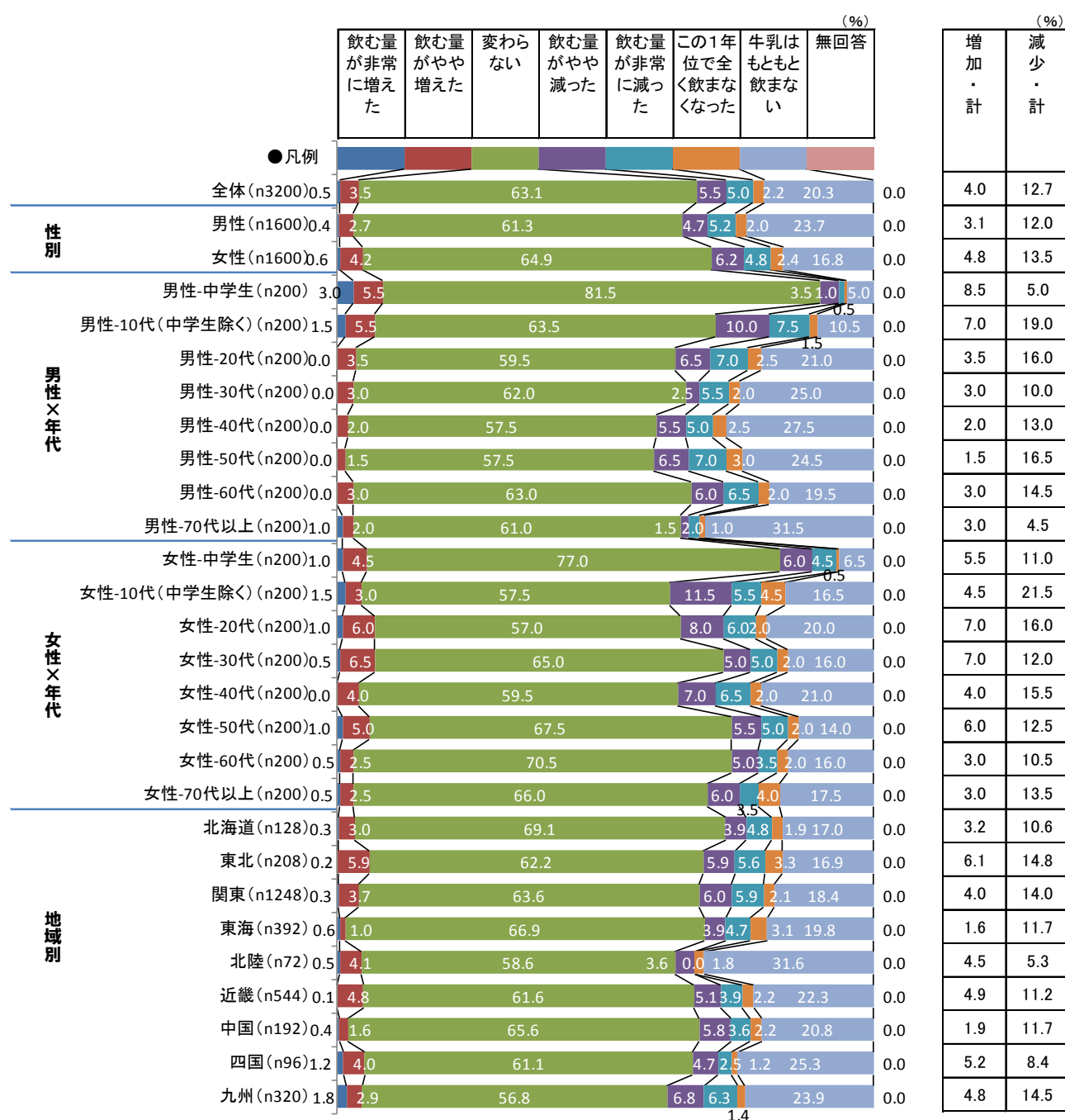
Ⅱ. この1年間の白ものの牛乳類の飲用量の変化に対する認識

1. 飲み方別飲用量の増減

(1) そのまま飲む量の増減

- この1年間に白ものの牛乳類を飲む量が増えたか、減ったかを、そのまま飲む場合、他のものと混ぜて飲む場合、牛乳飲用全体に分けて質問した。
- そのまま飲む場合、「減少計（非常に減った＋やや減った＋1年位で全く飲まなくなった）」は13%となり、「増加計（非常に増えた＋やや増えた）」(4%)を9ポイント上回った。
- 性別では、男女とも「減少計」が「増加計」を9ポイント上回る。
- 性年代別では、男子中学生のみ「増加計」が高く、「減少計」を4ポイント上回る。一方、女性10代では「減少計」が「増加計」を大きく上回り、その差は17ポイントに達する。
- 地域別でみると、「減少計」が大きいのは東北、関東、九州で、14～15%となっている。

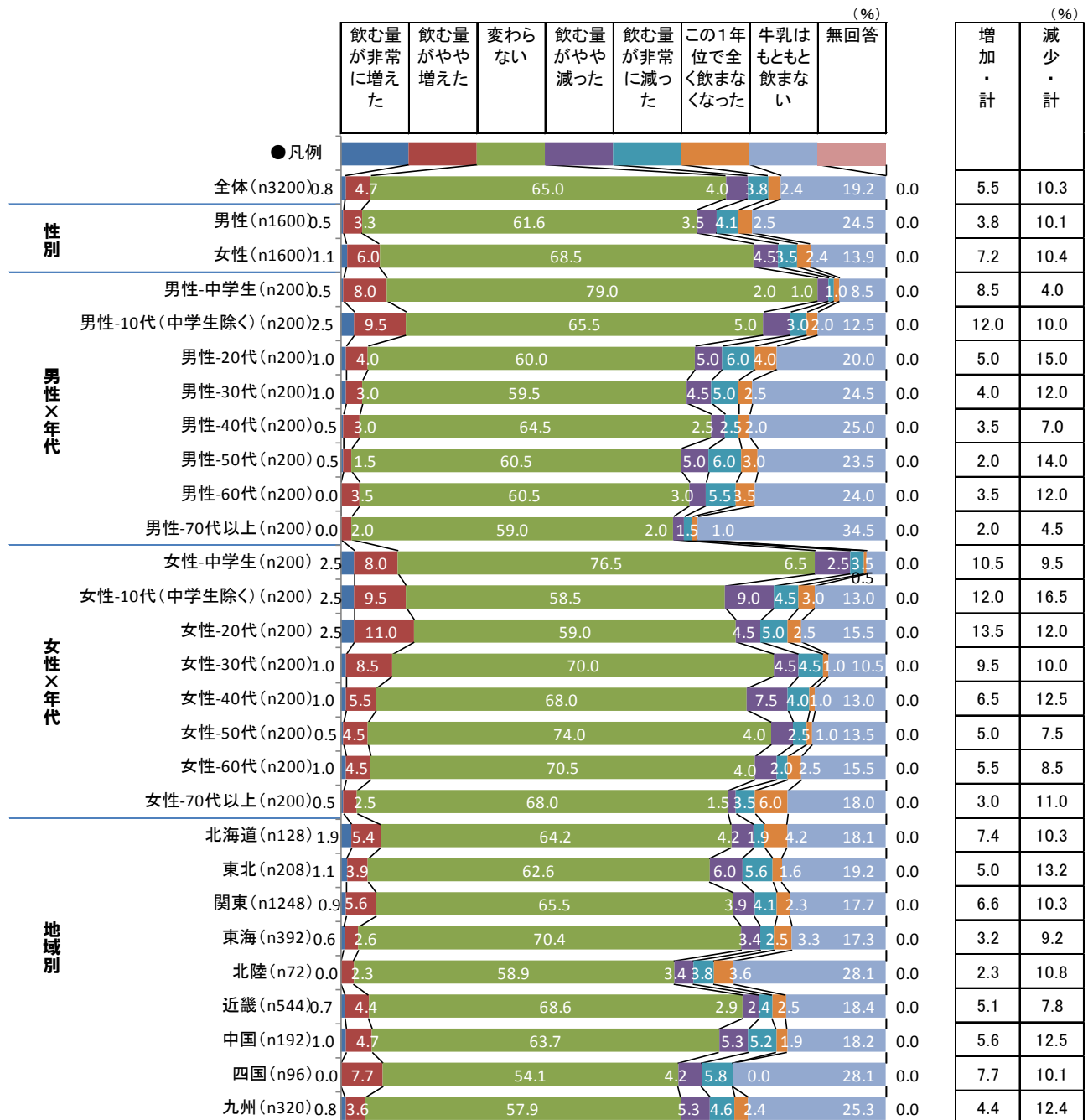
【図表Ⅱ-1-1】性・年代別・地域別 問7 白ものの牛乳類の飲用量の増減 (1) そのまま飲む場合 (SA)



(2) 混ぜて飲む量の増減

- 他のものと混ぜて飲む場合では、「増加計」が6%、「減少計」が10%となり、「減少計」が4ポイント上回っている。
- 性別では、男女とも「減少計」は10%と同じだが、「増加計」は男性4%、女性7%と女性の方がやや高い。
- 性年代別では、男子中学生、男性10代、女子中学生、女性20代といった若い世代で「減少計」よりも「増加計」が高くなっている。一方、男性の20代と50代では「減少計」が「増加計」を10ポイント以上上回る。
- 地域別では、いずれも「減少計」が「増加計」を上回り、東北、中国では「減少計」が13%と高い。

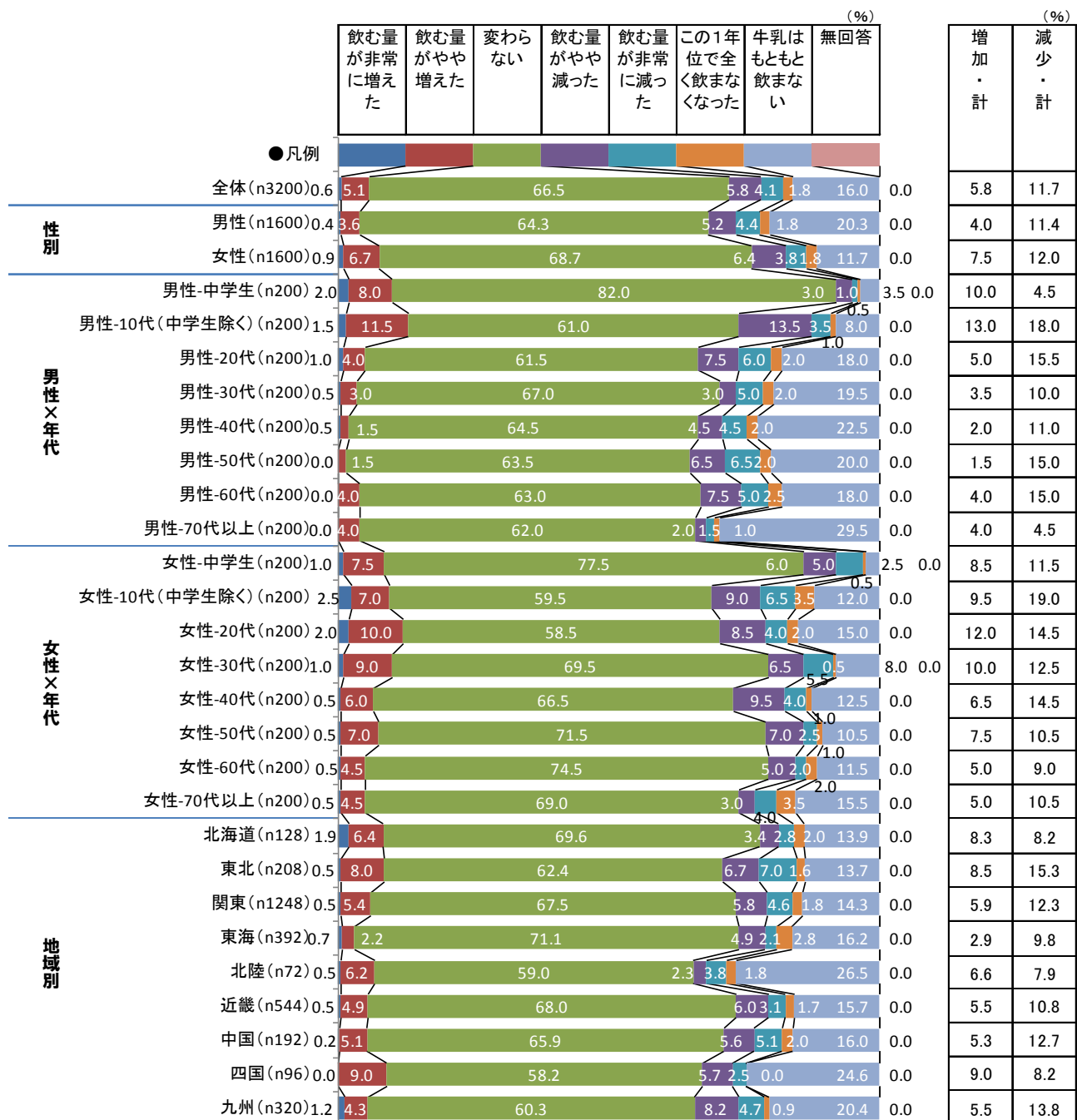
【図表Ⅱ-1-2】性・年代別・地域別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減(2) 混ぜて飲む場合(SA)



(3) 全体での増減

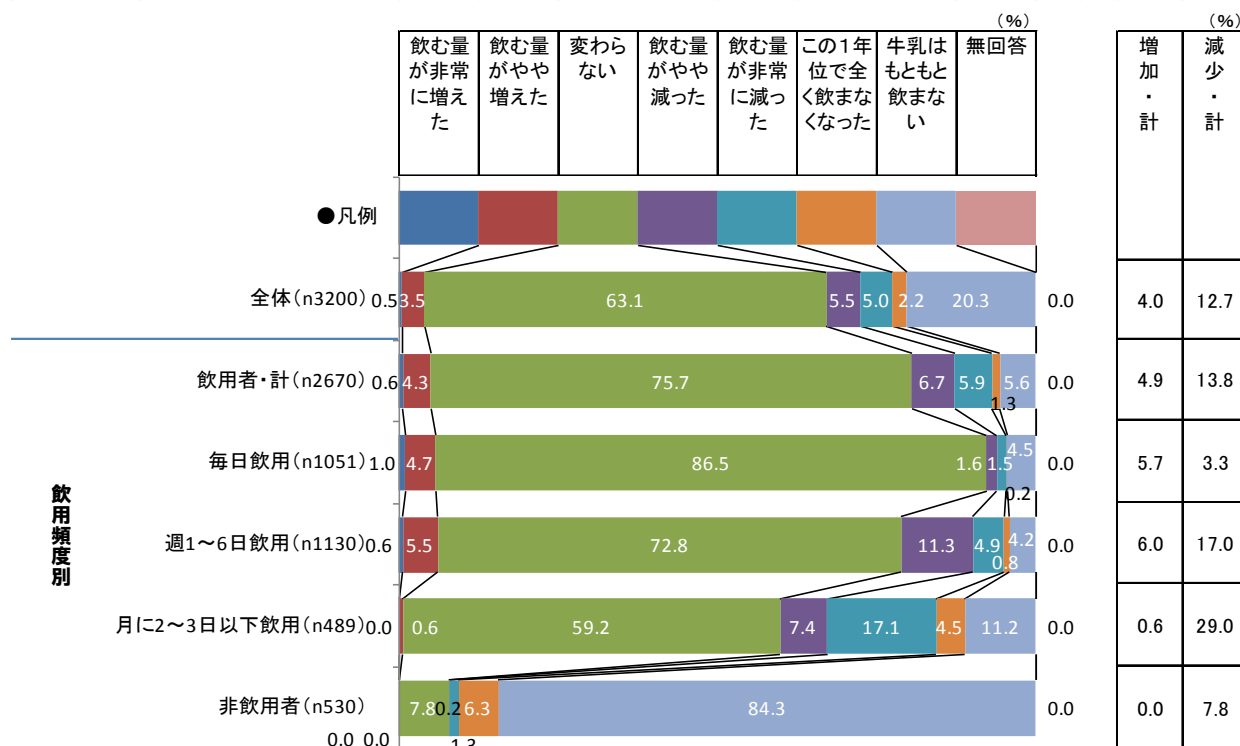
- 白ものの牛乳類の飲用全体では、「増加計」が6%、「減少計」が12%となり、「減少計」が6ポイント上回る。
- 性別では、男性で「増加計」が4%、「減少計」が11%、女性で「増加計」が8%、「減少計」が12%となり、男性の方が「減少計」と「増加計」の差が大きい。
- 性年代別では、男子中学生のみ「増加計」が「減少計」を5ポイント上回る。一方、男性50代では「減少計」が「増加計」を13ポイント上回る。
- 地域別では、北海道、四国で「増加計」と「減少計」が同程度となっている。

【図表II-1-3】性・年代別・地域別 問7 白ものの牛乳類の飲用量の増減(3)全体(SA)

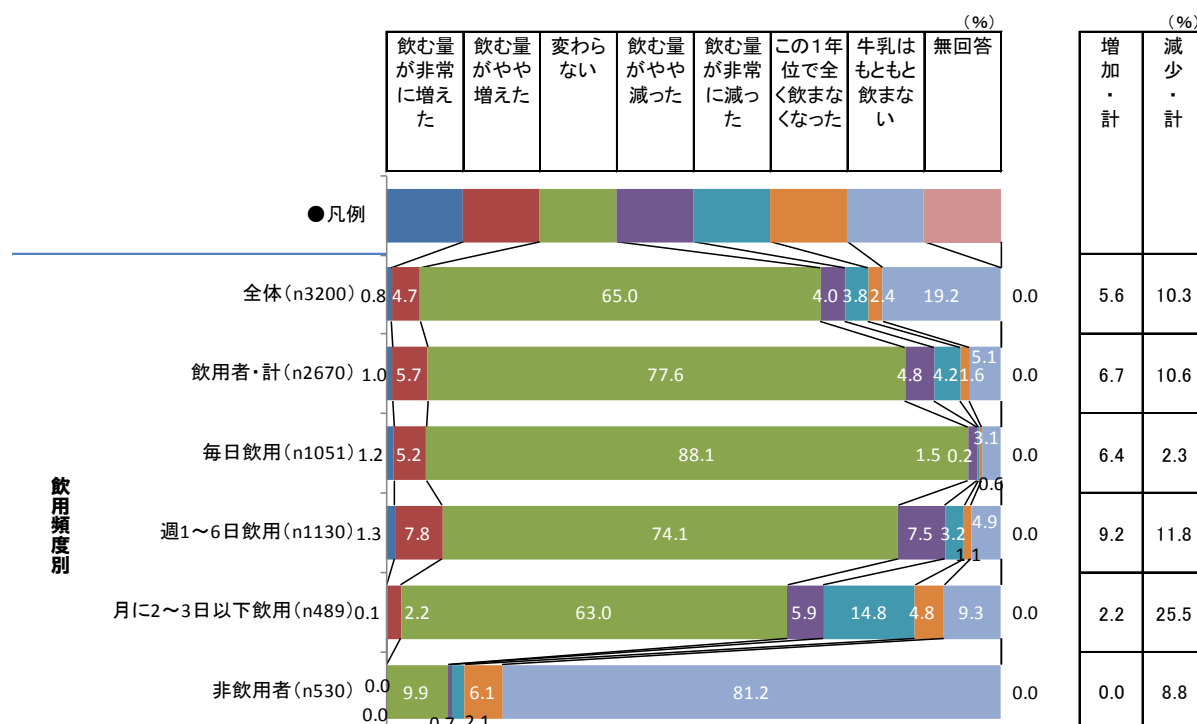


- 白ものの牛乳類の飲用行動別に、飲用量増減の感じ方をみた。
- 毎日飲用者は、そのまま飲む場合と混ぜて飲む場合双方において、「増加計」が「減少計」を上回る。
- 週1～6日という中程度の層では、そのまま飲む場合で「減少計」が「増加計」を11ポイント上回る。
- 月に2～3日以下という低頻度層では、そのまま飲む場合の「減少計」が29%、混ぜて飲む場合の「減少計」が26%にのぼる。

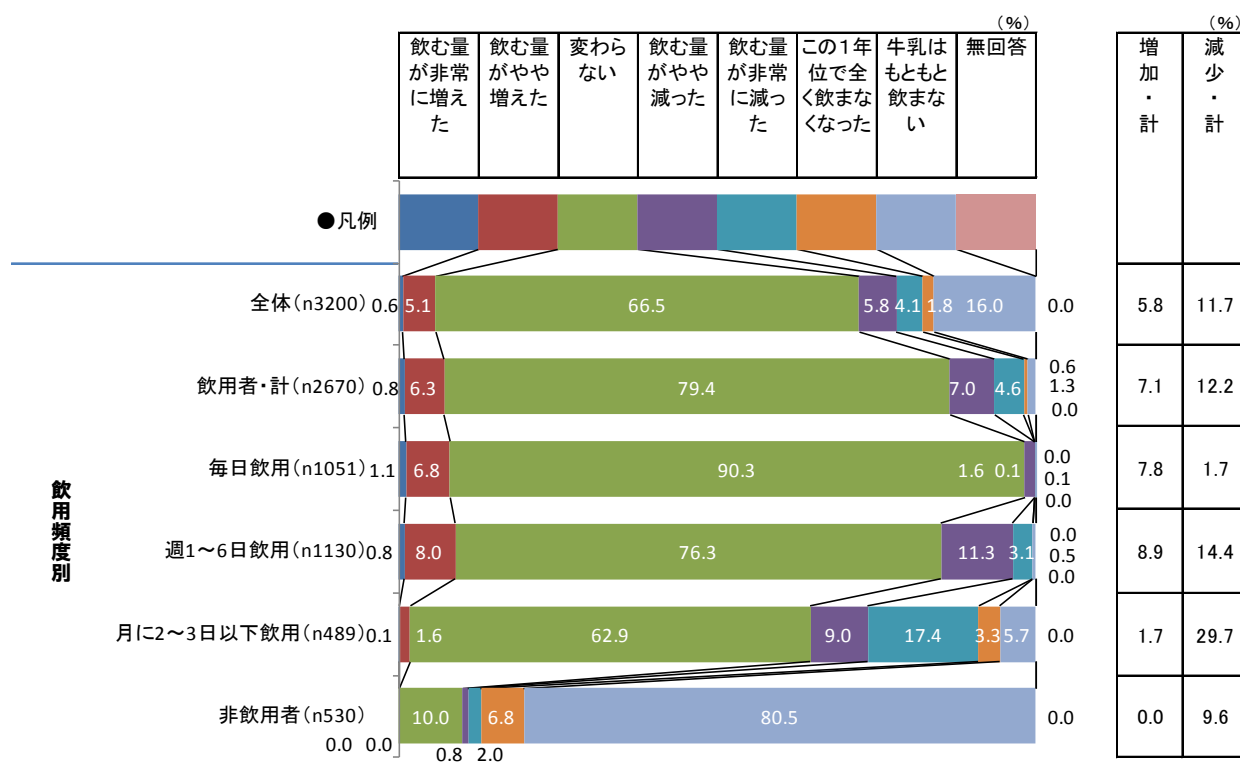
【図表Ⅱ-1-4】飲用行動別 問7 白ものの牛乳類の飲用量の増減（1）そのまま飲む場合（SA）



【図表Ⅱ-1-5】飲用行動別 問7 白ものの牛乳類の飲用量の増減（2）混ぜて飲む場合（SA）



【図表Ⅱ-1-6】飲用行動別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減（3）全体（SA）

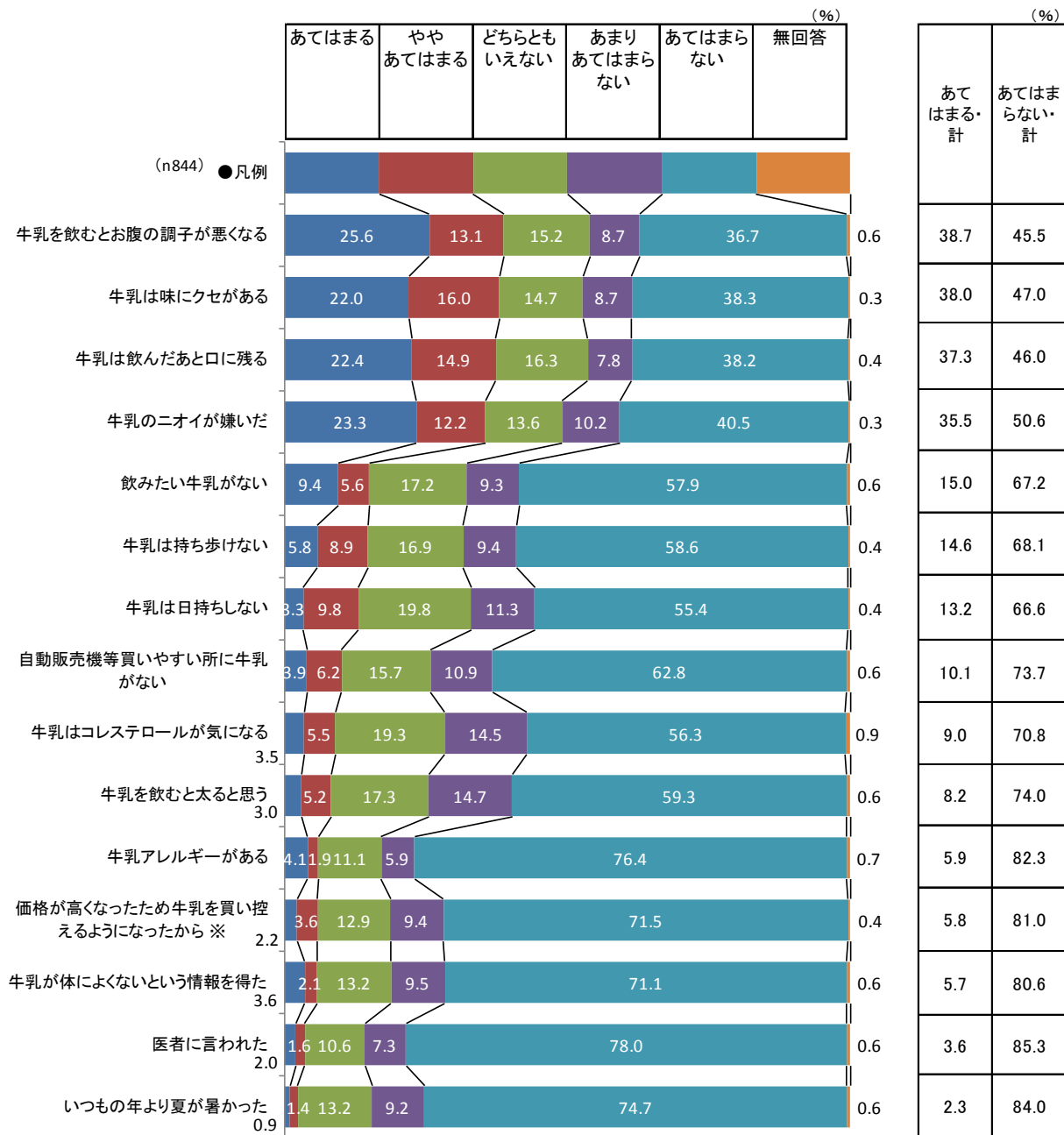


2. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因

■この1年間に白もの牛乳類を飲む量が全体として減った、あるいは牛乳はもともと飲まない人に、牛乳を飲む量が減った理由または牛乳を飲まない理由（15項目）について、どの程度あてはまるかを5段階で質問した。

■「あてはまる計」をみると、「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる（39%）」、「牛乳は味にクセがある（38%）」、「牛乳は飲んだあと口に残る（37%）」、「牛乳のニオイが嫌いだ（36%）」が上位に並ぶ。

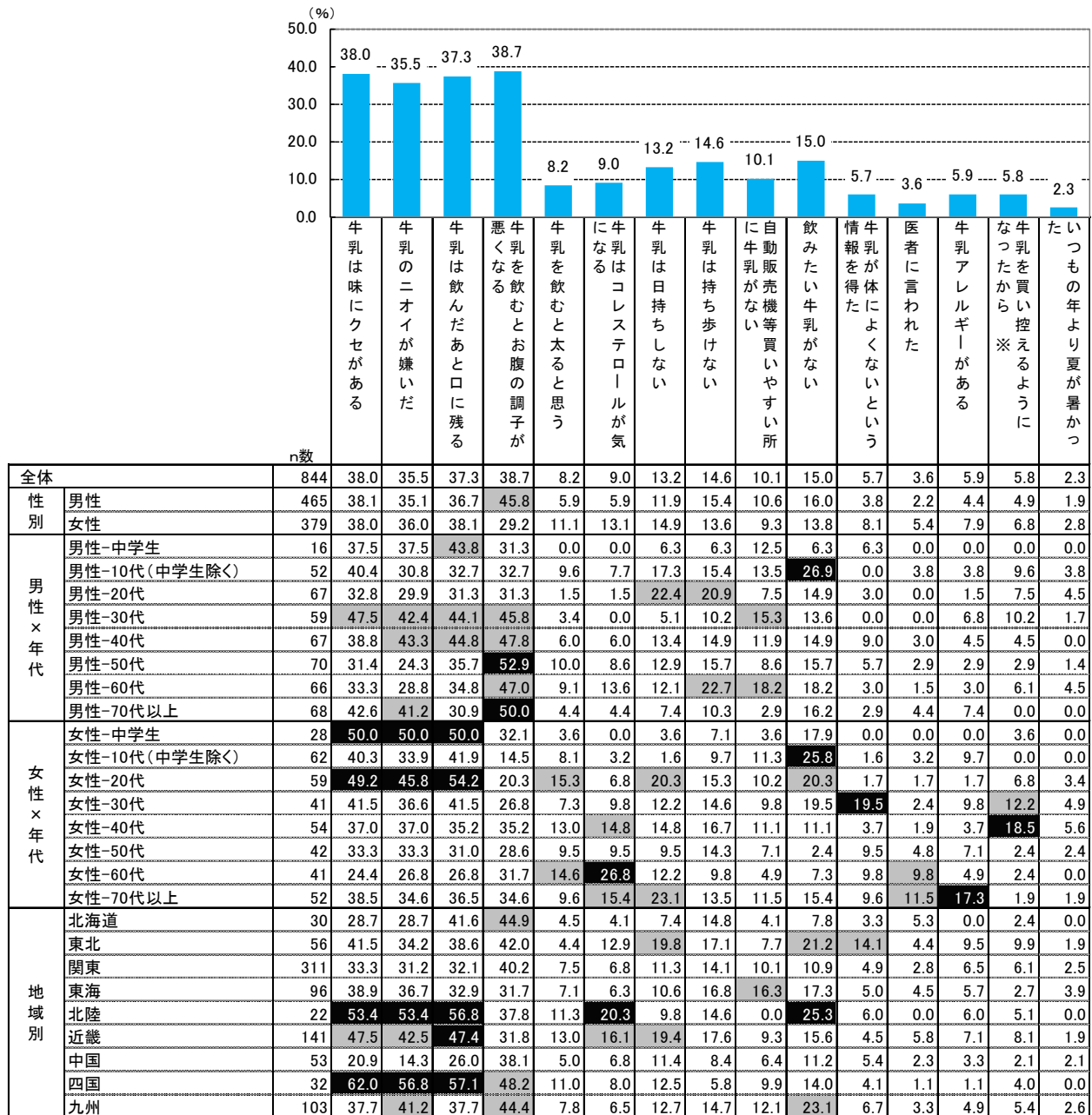
【図表Ⅱ-2-1】問8 飲用量減少・非飲用理由（SA）＜飲用量が減少した人/非飲用者ベース＞



※前回調査「不景気の影響で牛乳を買い控えるようになった」は、2014年より「価格が高くなったため買い控えるようになった」に変更

- 「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた「あてはまる計」を性別でみると、男性では「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」という体質要因が46%と最も高くなっている。
- 性年代別では、男性の30代以上の世代で「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」が45%以上と高い。また、女性の中学生と20代では、「牛乳は味にクセがある」「牛乳のニオイが嫌いだ」「牛乳は飲んだあと口に残る」の割合が高くなっている。さらに、男女とも10代では「飲みたい牛乳がない」、女性60代では「牛乳はコレステロールが気になる」が他層より高い点が特徴的である。

【図表Ⅱ-2-2】性・年代別・地域別 問8 飲用量減少・非飲用理由 「あてはまる計」(SA) <飲用量が減少した人/非飲用者ベース>



※ =全体より、10%以上高い

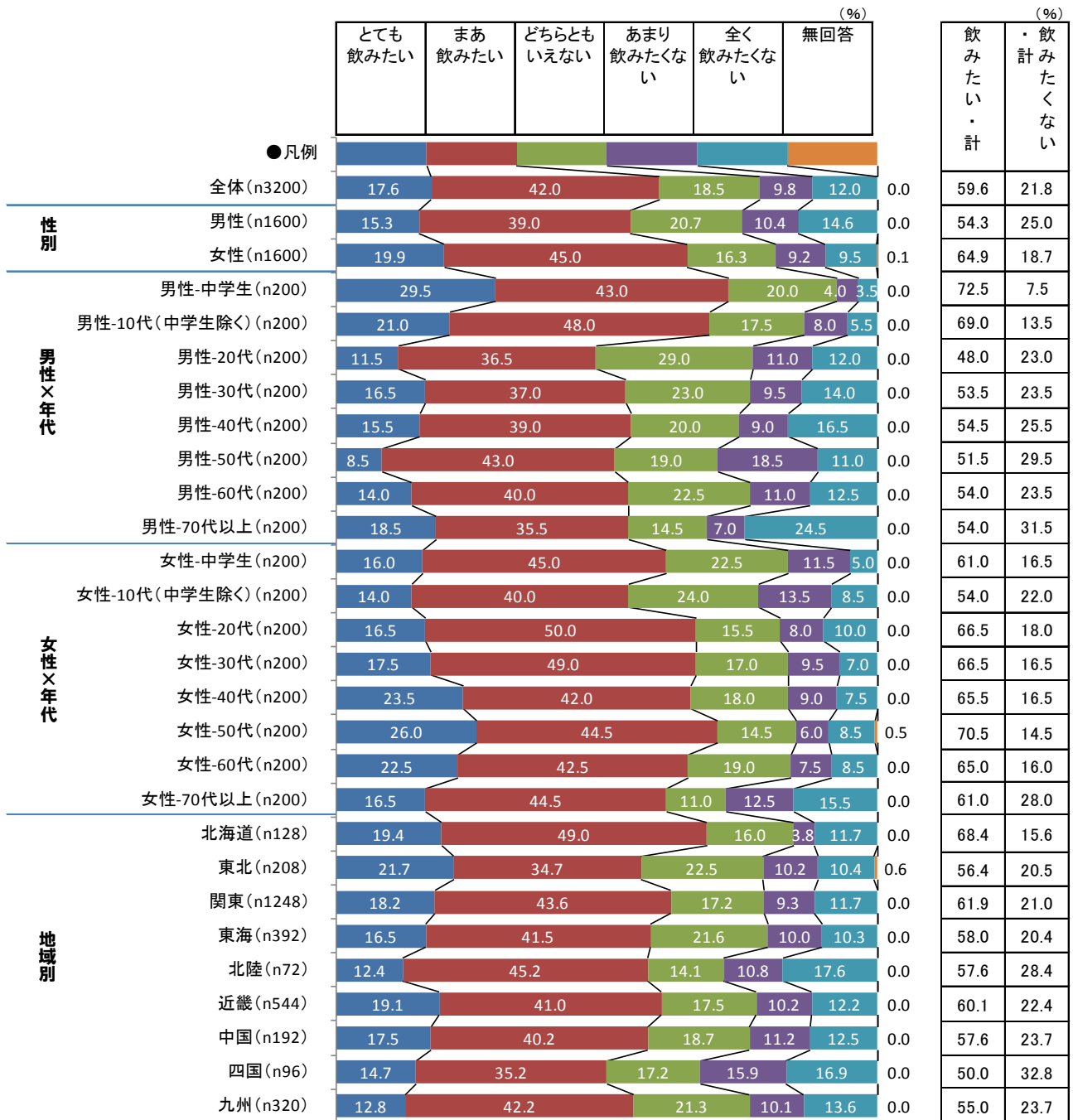
=全体より、5%以上高い

※前回調査「不景気の影響で牛乳を買い控えるようになった」は、2014年より「価格が高くなったため買い控えるようになった」に変更

3. 白ものの牛乳類の飲用意向

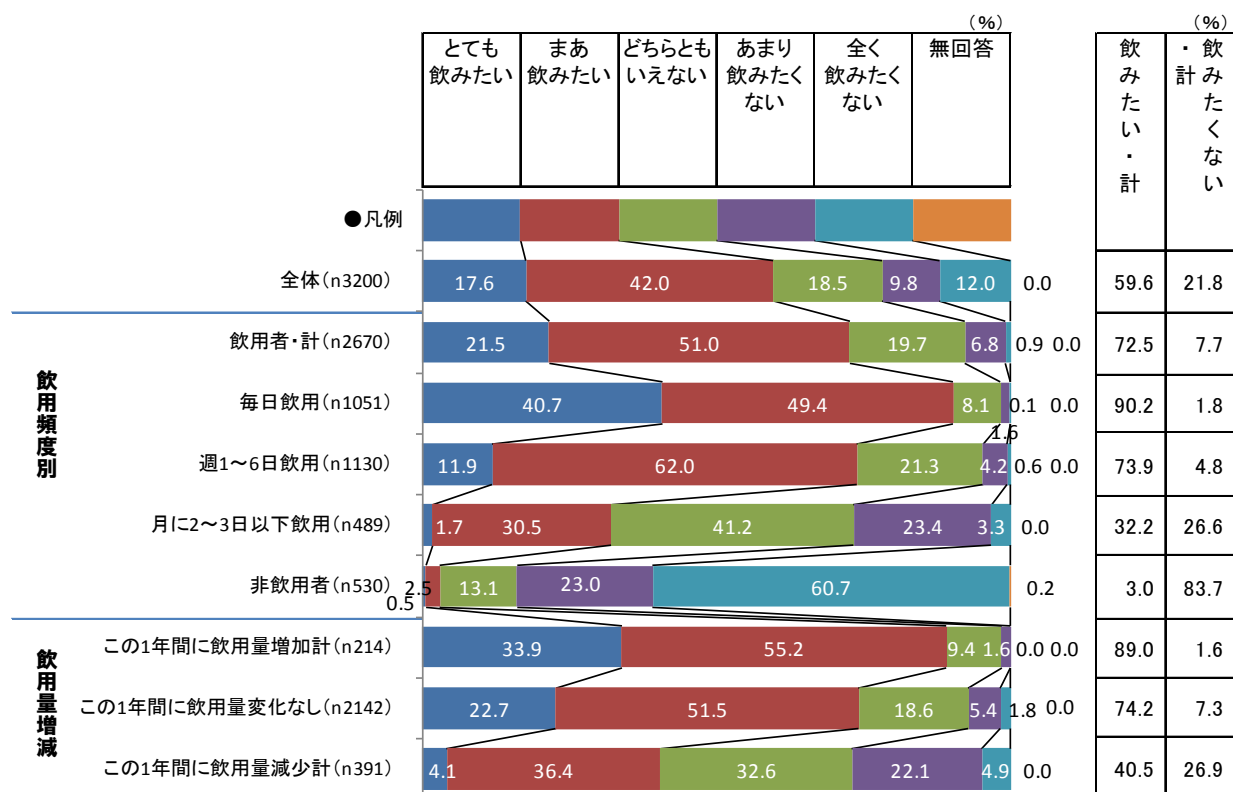
- 現在の飲用有無にかかわらず、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思うかを5段階で質問した。
- 白ものの牛乳類非飲用者を含む全体では、「とても飲みたい」が18%、「まあ飲みたい」が42%となっており、「飲みたい計」は60%となっている。一方、「全く飲みたいくない」は12%、「あまり飲みたいくない」は10%で、「飲みたいくない計」は22%となっている。
- 性別では、女性の「飲みたい計」が65%で、男性の54%を11ポイント上回る。
- 性年代別では、男子中学生、男性10代、女性50代で「飲みたい計」が7割前後と高い。
- 地域別では、「飲みたい計」は北海道で68%と高く、四国で50%と低い。

【図表Ⅱ-3-1】性・年代別・地域別 問9 白ものの牛乳類の飲用意向（SA）



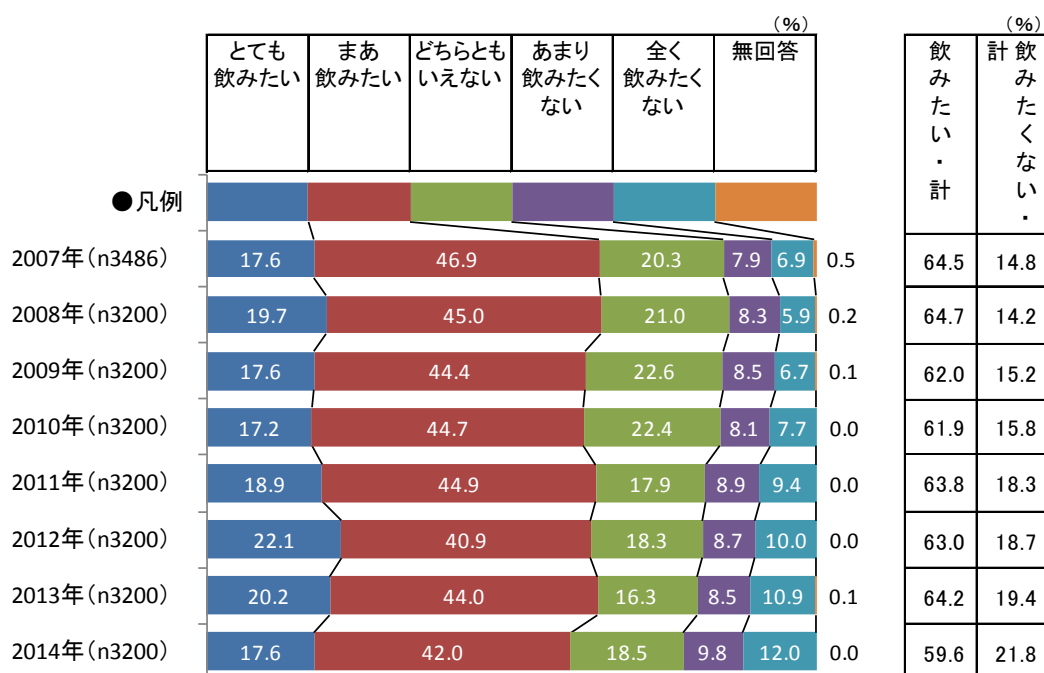
- 現在の飲用頻度別にみると、「とても飲みたい」と回答した人は飲用者全体では22%、毎日飲用する人では41%となった。「飲みたい計（とても飲みたい+まあ飲みたい）」をみると、毎日飲用する人の9割が飲用意向を示している。
- この1年間の飲用量増減別にみると、「飲みたい計」は増加した人で89%、変化なしの人で74%と高い。この1年間に飲用量が減少した人でも、41%の人は飲用意向を示している。

【図表Ⅱ-3-2】 飲用行动別 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）



- 2007年度からの時系列で白もの牛乳類の飲用意向をみると、「飲みたくない計」の増加が継続している。

【図表Ⅱ-3-3】 時系列 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）

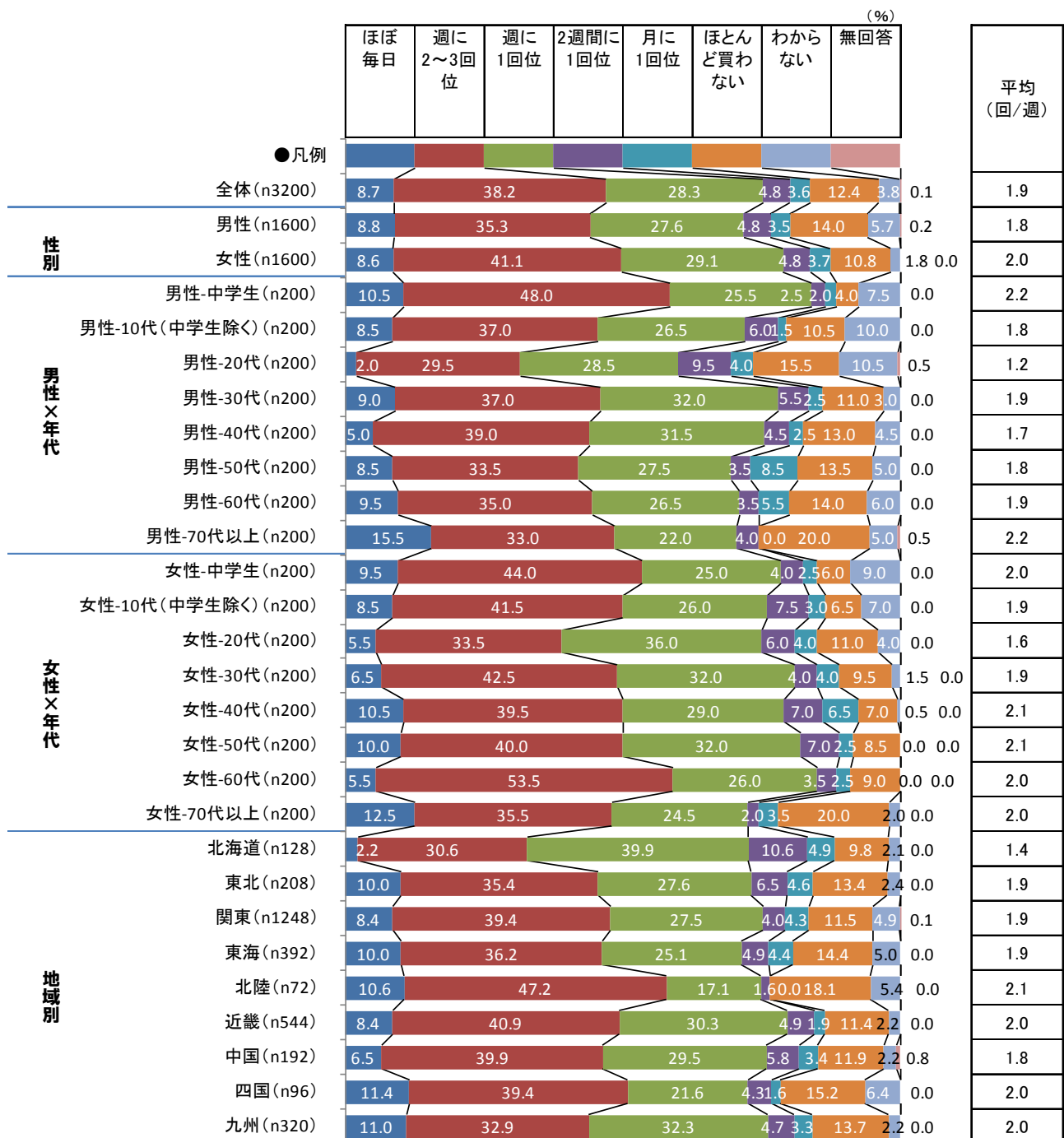


Ⅲ. 白ものの牛乳類の購入実態

1. 白ものの牛乳類の購入頻度

- 世帯として白ものの牛乳類をどの位の頻度で購入するかを質問した。
- 全体では、「週に2～3回位」が38%で最も多く、次に「週に1回位」が28%となっている。「ほぼ毎日」は9%と1割程度で、週あたりの平均購入頻度は1.9回である。
- 性別では、「ほぼ毎日」＋「週に2～3回位」の計は男性で44%（平均購入頻度1.8回）、女性で50%（同2.0回）と、女性の方が購入頻度が高い。
- 性年代別では、「ほぼ毎日」＋「週に2～3回位」の計は男子中学生（平均購入頻度2.2回）、女性60代（同2.0回）で59%と高い。
- 地域別では、北陸で平均購入頻度が2.1回とやや高く、北海道で1.4回と低い。

【図表Ⅲ-1-1】性・年代別・地域別 問10 白ものの牛乳類を購入する頻度（SA）



■白もの牛乳類を購入する頻度を時系列でみると、「ほぼ毎日」＋「週に2～3回位」計が減少している傾向がうかがえ、2014年度は5割を下回った。逆に、「ほとんど買わない」割合は増加傾向を示している。

【図表Ⅲ-1-2】時系列 問10 白もの牛乳類を購入する頻度（SA）

							(%)	(%)	
	n	ほぼ毎日	週に2～3回位	週に1回位	2週間に1回位	月に1回位	ほとんど買わない	わからない 無回答	ほぼ毎日 ＋ 週に2～3回位
2014年	3,200	8.7	38.2	28.3	4.8	3.6	12.4	3.8	47.0
2013年	3,200	9.1	43.3	27.1	5.0	3.3	9.1	3.1	52.4
2012年	3,200	9.7	42.7	28.1	5.4	2.8	8.8	2.4	52.4
2011年	3,200	12.2	41.1	26.9	4.5	3.3	8.9	3.1	53.3
2010年	3,200	13.9	39.9	25.2	6.0	4.0	8.0	1.3	53.8
2009年	3,200	16.4	42.1	23.1	6.2	3.5	7.4	1.3	58.5
2008年	3,200	17.3	41.3	23.9	5.0	3.4	7.3	1.9	58.6
2006年	3,478	14.5	39.0	22.4	5.3	4.3	8.9	5.5	53.5
2005年	3,896	17.6	41.6	20.6	5.6	3.6	7.0	4.1	59.2
2004年	4,177	19.5	41.5	20.7	4.3	3.0	6.7	4.4	61.0
2001年	4,778	18.3	49.1	20.0	4.5	2.5	4.9	0.7	67.4
2000年	4,632	20.8	48.9	19.1	4.0	2.6	4.1	0.5	69.7
1999年	4,476	21.8	50.7	17.7	3.4	2.2	4.1	0.1	72.5
1998年	4,472	22.2	49.5	16.7	3.8	1.6	5.9	0.3	71.7
1997年	4,547	25.5	49.5	14.6	3.4	1.7	4.9	0.3	75.0
1996年	4,706	24.5	48.4	16.7	3.5	1.9	4.6	0.4	72.9
1995年	4,668	26.3	47.0	15.7	3.1	2.3	4.9	0.7	73.3
1994年	4,617	31.7	44.3	14.5	2.5	1.6	5.1	0.3	76.0
1993年	4,553	29.2	46.3	15.3	2.5	1.8	4.2	0.7	75.5
1992年	4,651	29.3	45.3	14.9	3.3	1.6	4.6	1.0	74.6
1991年	4,714	31.7	44.8	14.3	2.8	1.8	3.9	0.6	76.5
1990年	4,691	33.6	44.4	13.2	2.9	1.8	3.5	0.7	78.0
1989年	4,579	31.9	43.9	12.9	3.0	2.1	5.2	1.0	75.8
1988年	4,604	32.3	43.1	13.0	3.0	2.6	5.5	0.5	75.4

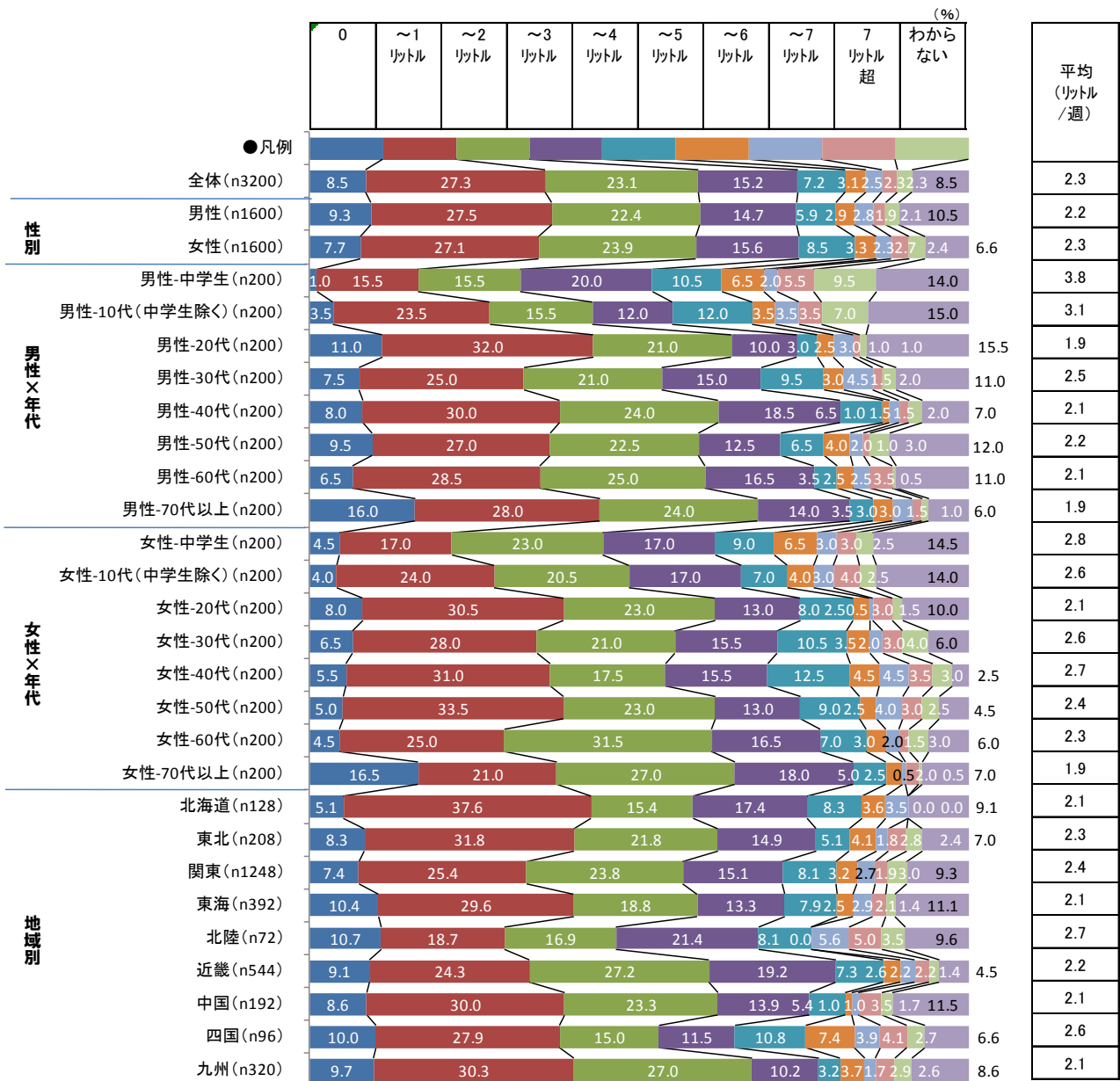
※2001年までは主婦役割主担当者が回答

※2004年、2005年、2006年、2008年、2011～2013年の無回答は、「わからない」＋「無回答」

2. 白ものの牛乳類の購入量

- 世帯として、平均して1週間に白ものの牛乳類をどの位購入しているかを質問した。
- 全体では、「0 超1リットル以下」が27%、「1リットル超2リットル以下」が23%と多く、平均（リットル/週）は2.3リットルとなっている。
- 性年代別でみると、平均購入量は男子中学生で3.8リットル、男性10代で3.1リットルと多い。
- 地域別では、平均購入量は北陸で2.7リットル、四国で2.6リットルと多い。

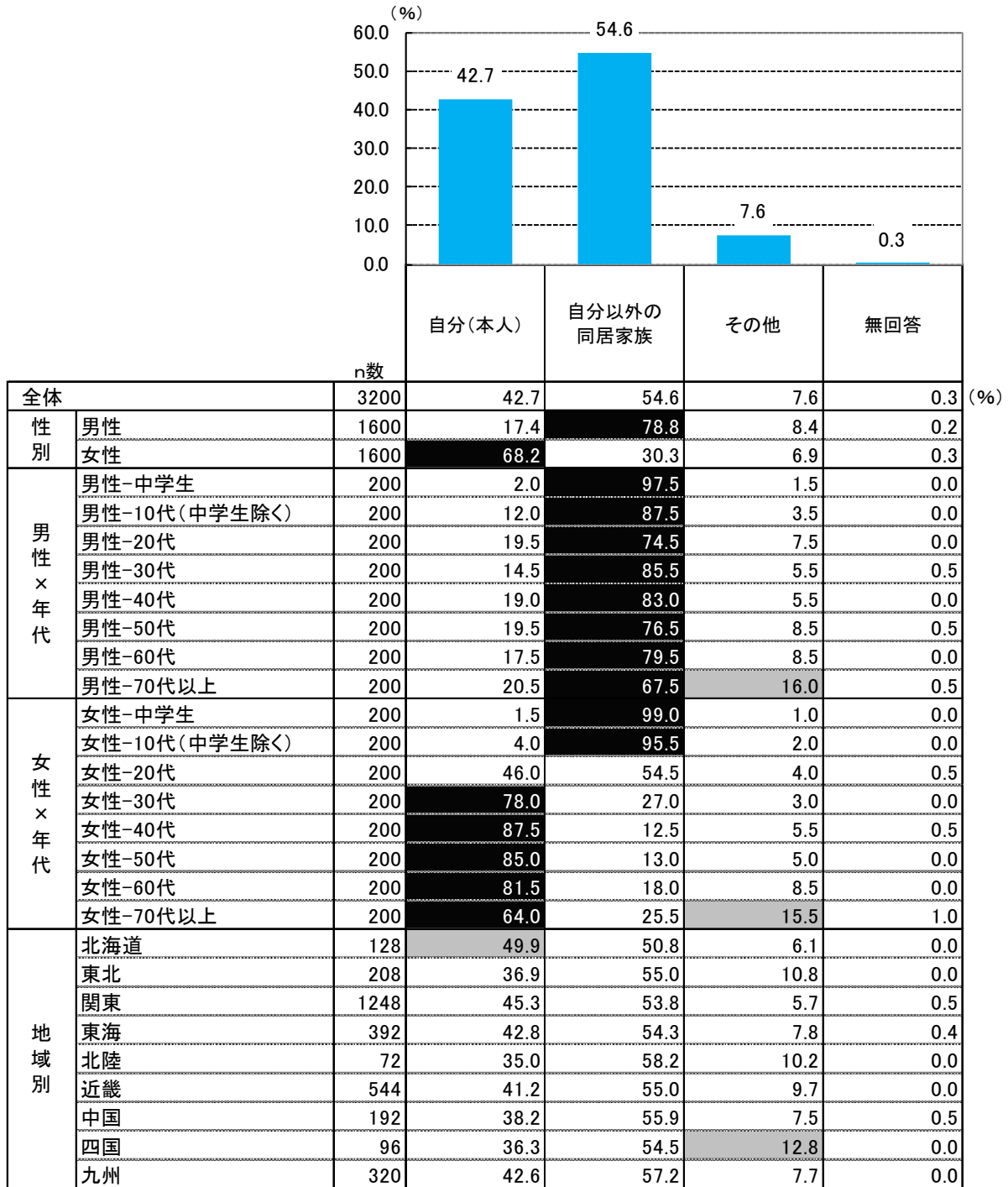
【図表Ⅲ-2-1】性・年代別・地域別 問11 一週間の白ものの牛乳類の購入量（SA）



3. 白ものの牛乳類を購入する人

- 世帯の中で白ものの牛乳類の購入者を複数回答で質問した。
- 全体では、「自分（本人）」が43%、「自分以外の同居している家族」が55%となっている。
- 性別でみると、男性は「自分以外の同居している家族」が79%、女性は「自分（本人）」が68%と多い。

【図表Ⅲ-3-1】性・年代別・地域別 問12 白ものの牛乳類を購入する人 (MA)



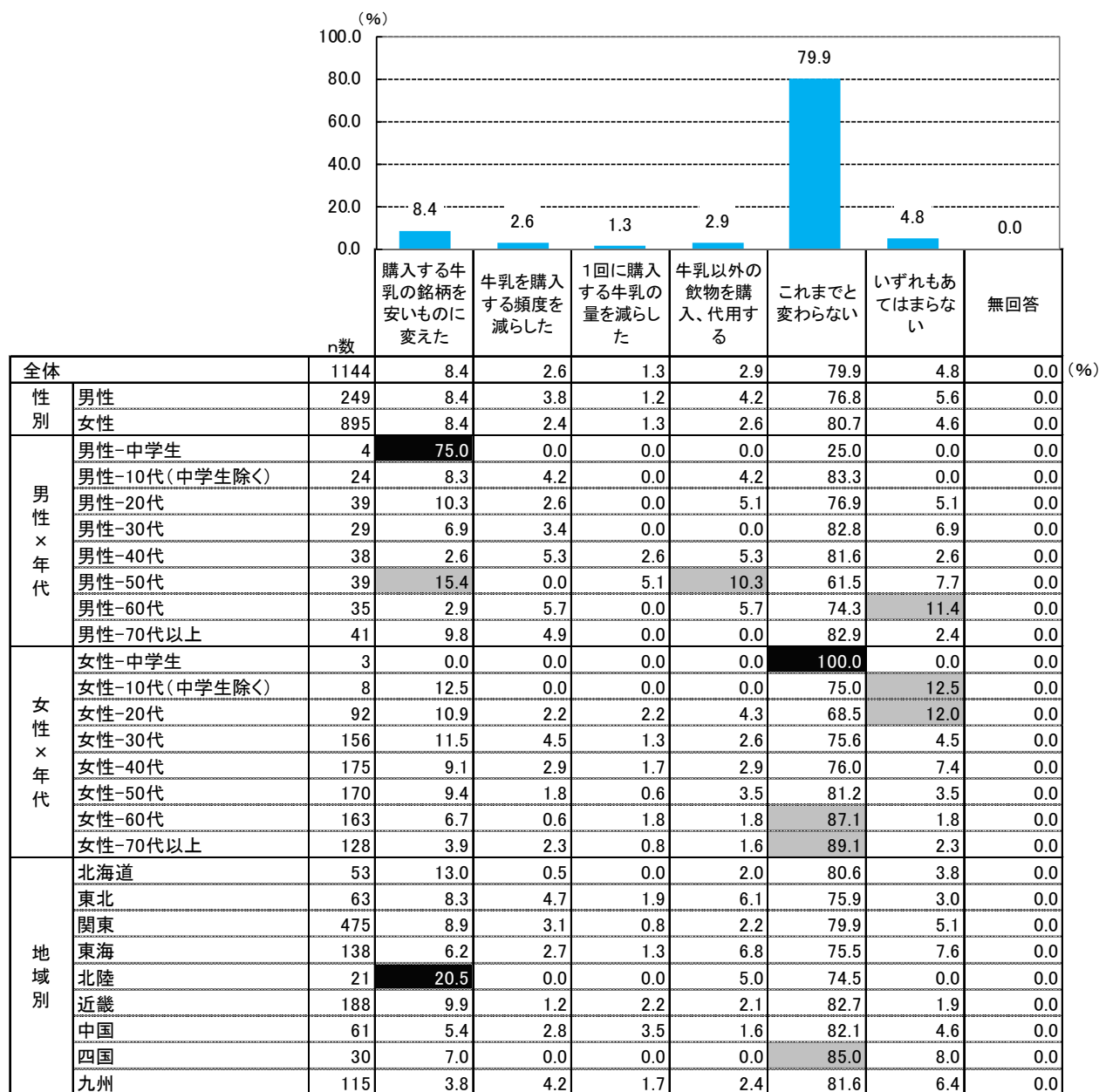
※ = 全体より、10%以上高い

 = 全体より、5%以上高い

4. 白ものの牛乳類の買い方の変化

- 白ものの牛乳類を自分で購入する人に、この1年間に買い方が変わったかを質問した。
- 「これまでと変わらない」が全体の8割を占めた。

【図表Ⅲ-4-1】性・年代別・地域別 問13 白ものの牛乳の「買い方」は変わったか（SA）



※ = 全体より、10%以上高い

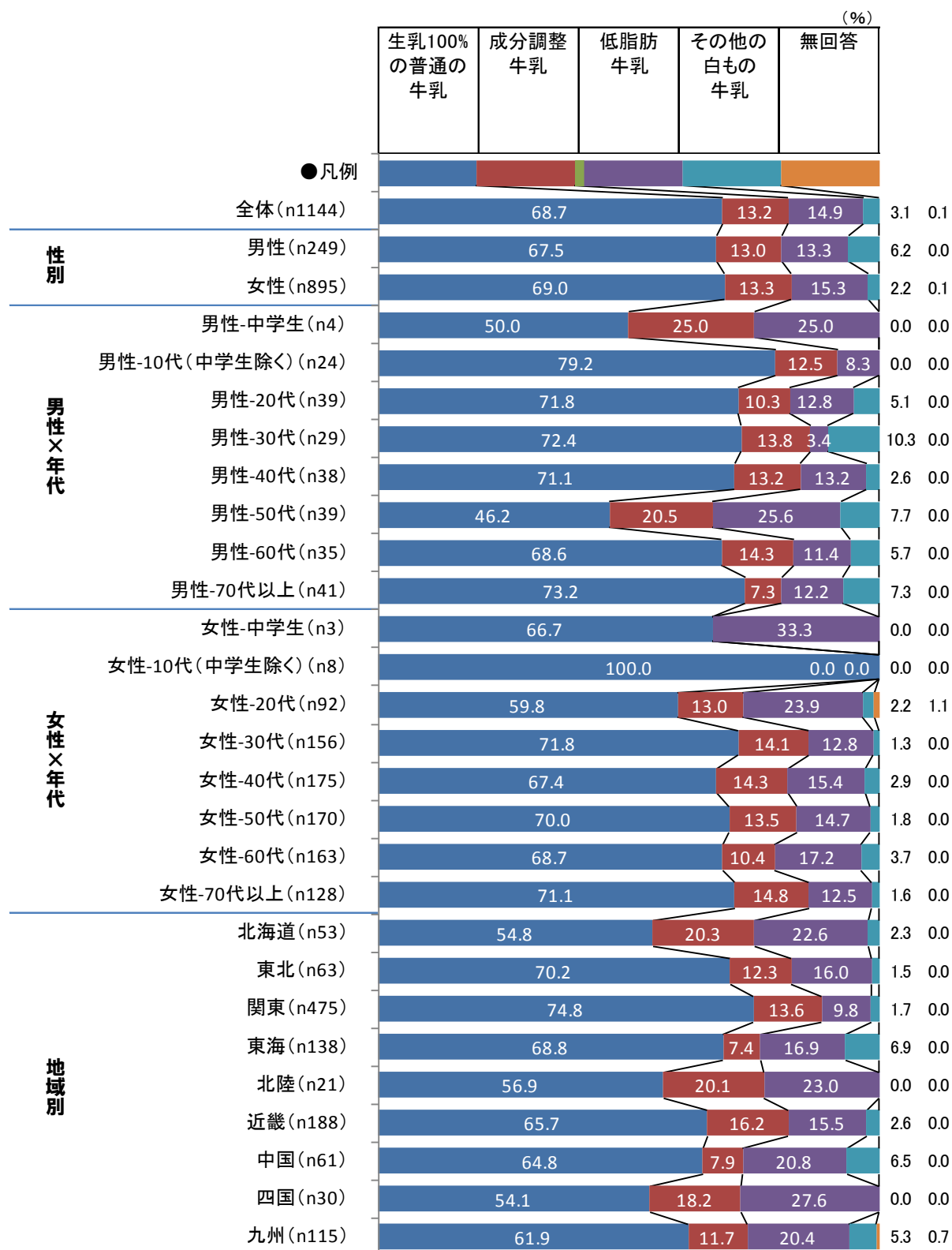
 = 全体より、5%以上高い

5. 主に購入している白ものの牛乳類

■ 普段主に購入している白ものの牛乳類は、全体では「生乳100%の普通の牛乳」が69%で最も多く、次いで「低脂肪牛乳（15%）」、「成分調整牛乳（13%）」が拮抗している。

■ 性年代別では、男性50代で「生乳100%の普通の牛乳」が目立って低く、5割を下回る。

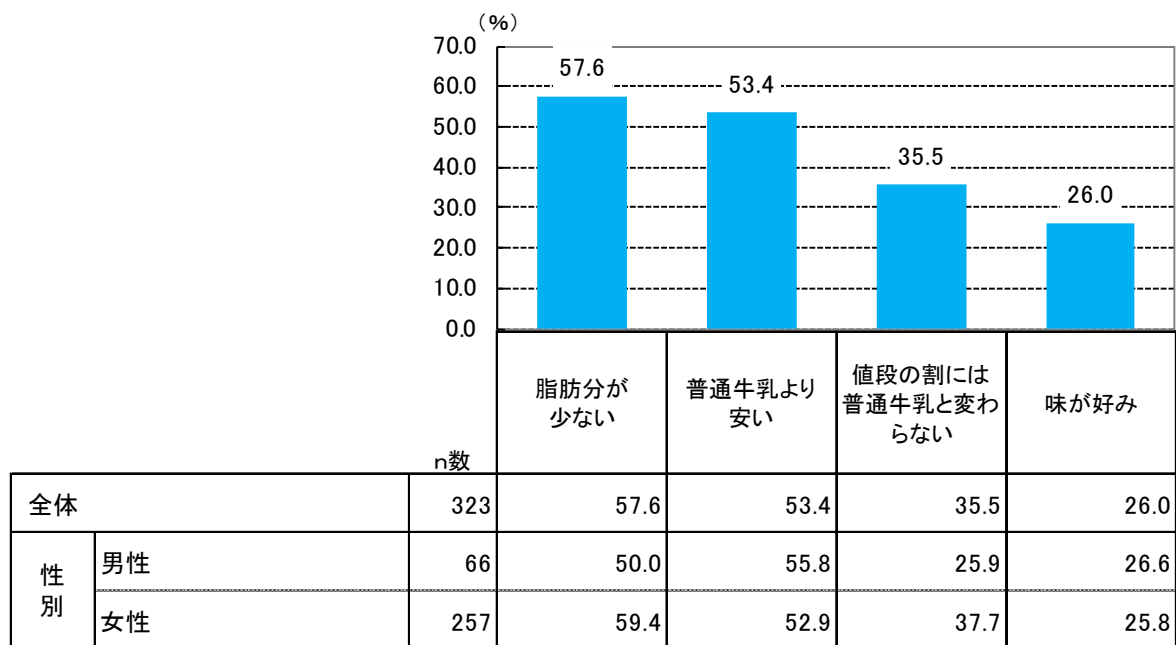
【図表Ⅲ-5-1】性・年代別・地域別 問14 普段購入している白ものの牛乳（SA）



6. 成分調整牛乳・低脂肪牛乳を購入する理由

■「成分調整牛乳」「低脂肪乳」を購入する理由は、「脂肪分が少ない」が58%と最も多く、次いで「普通牛乳より安い」が53%、「値段の割には普通牛乳と変わらない」が36%となっている。

【図表Ⅲ-6-1】性・年代別 問15 成分調整牛乳・低脂肪乳購入理由（MA）＜成分調整牛乳・低脂肪乳購入者ベース＞



※あてはまる計

IV. 普段よく飲む飲み物

1. 普段よく飲む飲み物

■普段よく飲用する飲み物の種類を質問した。

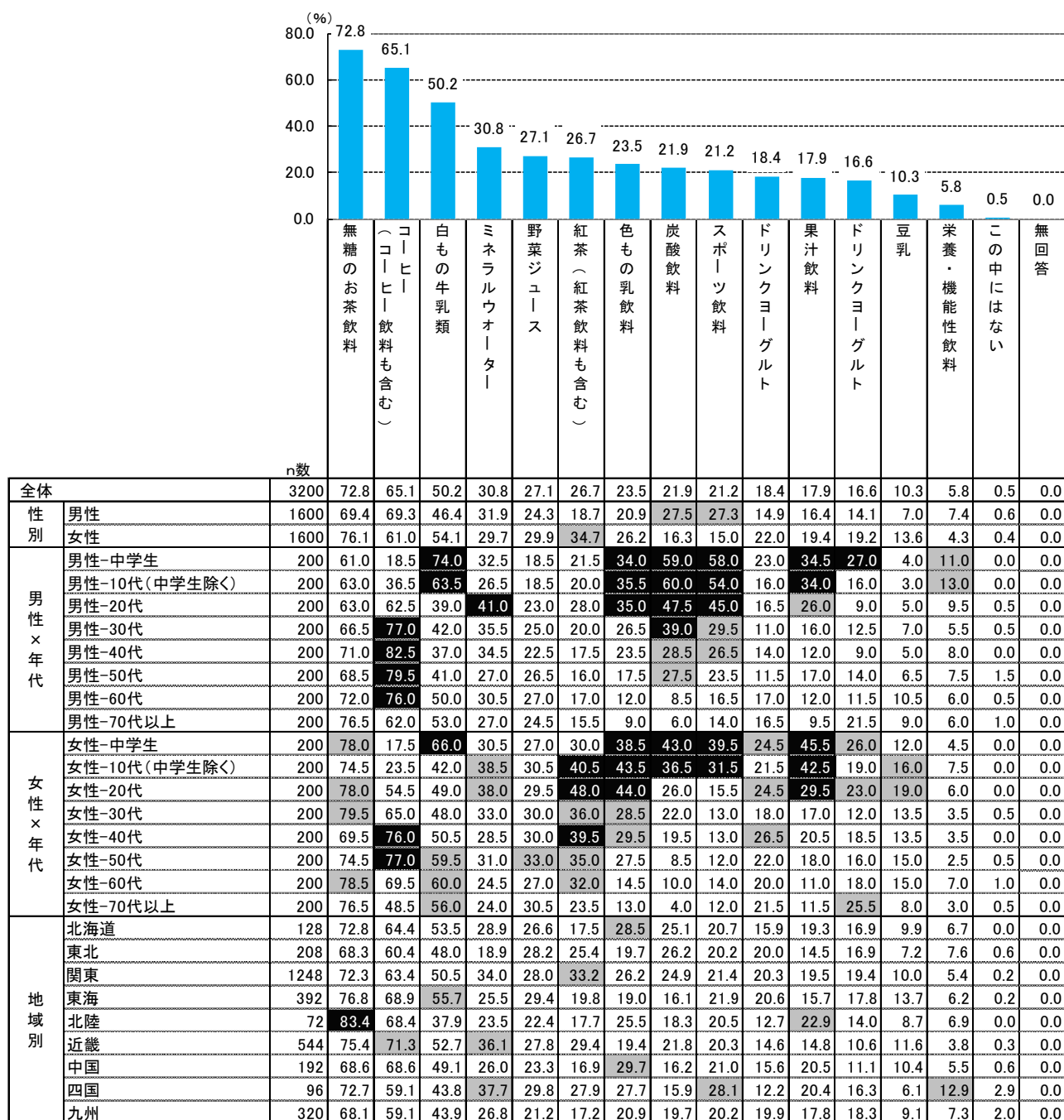
■全体では「無糖のお茶飲料」が73%で最も多く、次いで「コーヒー（飲料）」が65%、「白もの牛乳類」が50%で上位に並ぶ。以下、「ミネラルウォーター（31%）」、「野菜ジュース（27%）」、「紅茶（飲料）（27%）」、「色もの乳飲料（24%）」、「炭酸飲料（22%）」、「スポーツ飲料（21%）」と続いている。

■性別では、「白もの牛乳類」は男性で46%、女性で54%と女性の方が多い。

■性年代別では、「白もの牛乳類」は男子中学生、男性10代、女子中学生で全体より10ポイント以上高くなっている。男子中学生では「白もの牛乳類」が普段よく飲用する飲み物として最上位に位置付けられている。

■地域別では、「白もの牛乳類」は東海で多くあげられ、全体より5ポイント以上高くなっている。

【図表IV-1-1】性・年代別・地域別 問16 普段よく飲む飲み物（MA）



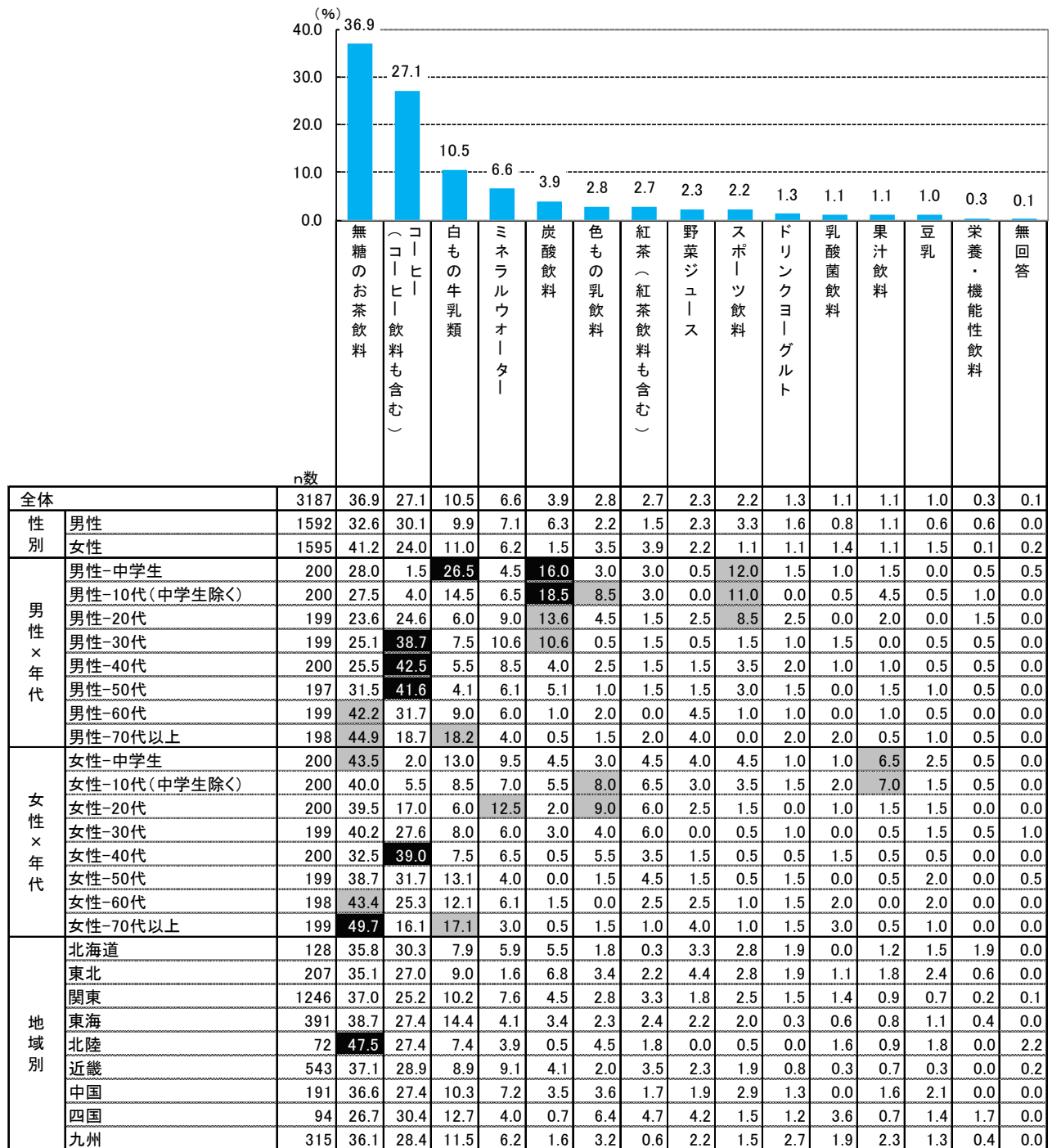
※ ■ = 全体より、10%以上高い、

■ = 全体より、5%以上高い、

2. 普段もっともよく飲む飲み物

- 普段よく飲用する飲み物の中で最もよく飲むものを質問した。
- 全体では「無糖のお茶飲料」が37%で最も多く、次いで「コーヒー（飲料）（27%）」、「白もの牛乳類（11%）」の順となっている。
- 性別では、「白もの牛乳類」は男性で10%、女性で11%で、大きな差異はみられない。
- 性年代別でみると、「白もの牛乳類」は男子中学生で27%と特に高く、全体より10ポイント以上高くなっている。
このほか70代以上の男女でも17～18%に達し、全体より5ポイント以上高くなっている。

【図表IV-2-1】性・年代別・地域別 問17 普段もっともよく飲む飲み物（SA）



※ ■ = 全体より、10%以上高い、■ = 全体より、5%以上高い、

■参考に、普段よく飲む飲み物を2007年度からの時系列変化でみると、「色もの乳飲料」「ドリンクヨーグルト」「コーヒー（飲料）」「紅茶（飲料）」で増加傾向がみられる。

【図表IV-2-2】時系列 問16 普段よく飲む飲み物（MA）

																	(%)
	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー（飲料）	紅茶（飲料）	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	この中にはない	無回答
2014年	3,200	50.2	23.5	18.4	16.6	17.9	27.1	10.3	21.9	65.1	26.7	72.8	21.2	5.8	30.8	0.5	0.0
2013年	3,200	51.8	22.6	16.1	16.5	19.5	29.2	11.0	25.4	64.7	26.4	74.9	23.4	8.1	32.6	0.7	0.2
2012年	3,200	56.2	22.8	15.3	18.8	21.1	28.9	10.3	26.6	64.2	25.1	73.2	26.8	8.4	32.3	0.4	0.0
2011年	3,200	53.2	23.1	13.8	17.7	19.2	28.1	9.0	23.9	61.4	24.4	74.2	25.0	6.8	30.3	0.8	0.1
2010年	3,200	48.8	24.7	12.7	18.3	19.3	23.6	8.9	22.7	63.0	22.6	70.1	26.3	6.2	27.7	0.2	0.0
2009年	3,200	54.8	25.9	14.6	19.8	19.2	24.0	8.4	21.0	60.8	22.6	71.7	24.3	8.5	26.8	0.3	0.0
2008年	3,200	56.7	19.6	11.8	16.4	17.1	24.1	7.8	19.2	55.1	22.0	65.2	25.1	8.9	22.2	0.7	0.1
2007年	3,486	51.5	24.6	13.9	18.7	19.1	27.3	9.0	16.6	61.2	24.9	74.5	25.9	9.9	25.4	0.2	0.1
2006年	3,478	49.5		15.4	19.0	18.4	23.2	9.9	15.4	61.1	22.5	72.9	23.9	10.2	20.8	0.6	0.1
2005年	3,896	64.0		22.7		27.2	29.7	18.2	20.5	63.4	31.2	85.2	32.1		29.4	0.4	0.1
2002年	4,277	67.9		19.5		28.2	28.3	9.9	24.0	64.0	34.2	86.3	32.9		30.7	0.3	0.1

※斜線はデータなし

※02年、05年は、06年・07年・08年とは質問形式が異なる

■最もよく飲む飲み物を2007年度からの時系列変化でみると、「無糖のお茶飲料」や「コーヒー（飲料）」が大きなシェアを占める中で、「色もの乳飲料」「ドリンクヨーグルト」「炭酸飲料」が微増、「果汁飲料」「野菜ジュース」も回復傾向を示している。

【図表IV-2-3】時系列 問17 普段もっともよく飲む飲み物（SA）

																(%)
	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー（飲料）	紅茶（飲料）	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	無回答
2014年	3,187	11.0	3.5	1.3	1.0	1.8	2.1	1.0	5.4	22.9	3.0	36.0	3.4	0.4	6.9	0.1
2013年	3,182	10.1	2.9	0.7	0.4	1.0	1.8	1.1	4.0	27.0	2.9	38.9	2.0	0.3	6.7	0.1
2012年	3,191	10.8	3.0	0.7	0.8	1.3	1.4	1.2	4.0	25.2	2.9	39.0	2.6	0.3	6.4	0.2
2011年	3,194	10.8	3.3	0.5	1.0	1.1	1.6	1.1	4.3	23.4	2.8	39.6	2.7	0.6	7.0	0.2
2010年	3,192	10.9	3.2	0.8	1.2	1.3	1.7	0.7	3.3	26.6	2.5	37.0	2.4	0.3	6.4	1.4
2009年	3,193	11.7	2.9	0.8	1.3	1.3	2.0	0.6	3.0	24.5	2.5	39.9	2.5	0.6	5.9	0.7
2008年	3,178	16.0	3.0	0.9	1.5	1.8	2.4	0.9	2.6	24.2	2.1	35.7	2.8	0.6	5.2	0.3
2007年	3,475	10.8	3.1	1.0	1.1	1.0	2.8	1.1	1.8	22.5	2.4	42.3	2.8	0.6	5.9	0.7
2006年	3,478	11.8		0.9	1.5	1.3	1.5	1.2	2.4	26.5	2.5	40.2	2.4	1.0	5.5	1.2
2005年	3,877	15.4		0.6		0.9	1.9	1.2	1.1	20.6	2.0	49.1	2.3		4.8	0.1
2002年	4,259	15.2		0.5		1.5	1.3	0.3	2.0	21.6	1.6	51.2	1.8		2.5	0.5

※斜線はデータなし

※02年、05年の「最もよく飲む飲み物」は、ふだんよく飲む飲み物がある人ベース

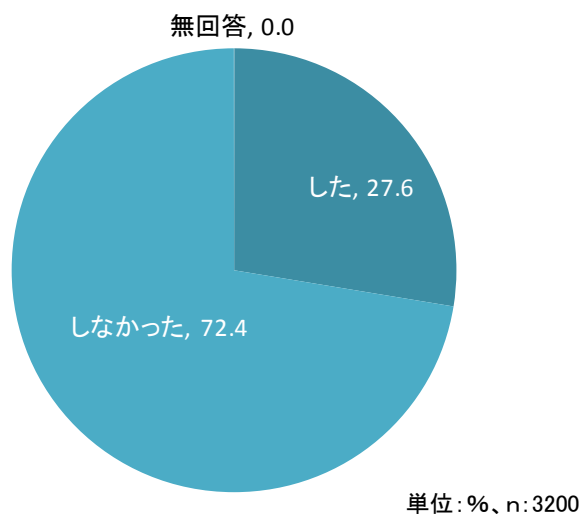
※02年、05年は、06年以降とは質問形式が異なる

V. 白もの牛乳類を使った料理の実態

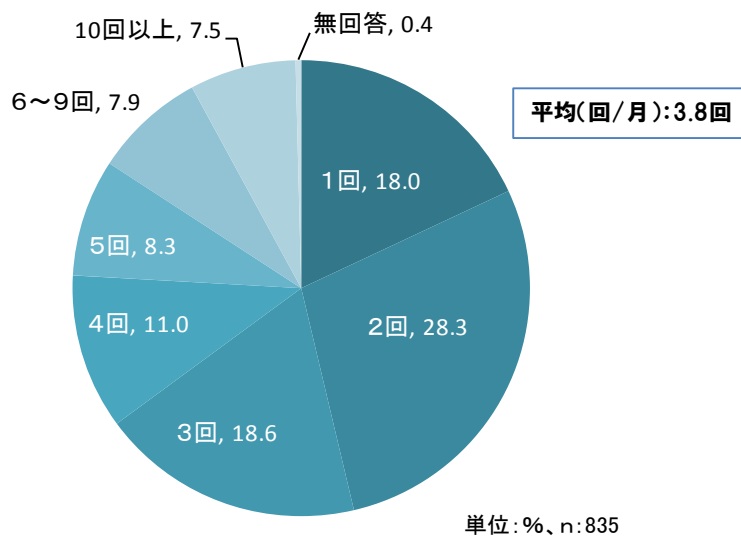
1. この1ヶ月の白もの牛乳類を使った料理行動

- 白もの牛乳類を使って、この1ヵ月間にデザートやお菓子を含めて料理を作ったかを質問した。次に、料理を作ったと回答した人に、その料理回数と料理に使用した白もの牛乳類の量を質問した。
- 白もの牛乳類を使って料理をしたのは、全体で28%となった。
- 料理回数は「2回（28%）」とする人が最も多く、「3回（19%）」、「1回（18%）」と続く。平均料理回数（回/月）は3.8回である。
- 白もの牛乳類の料理使用量は、1ヶ月間で「1カップ（200ml）」とする人が28%で最も多く、次いで「2カップ（400ml）」が20%である。平均使用量（ml/月）は388.7mlである。

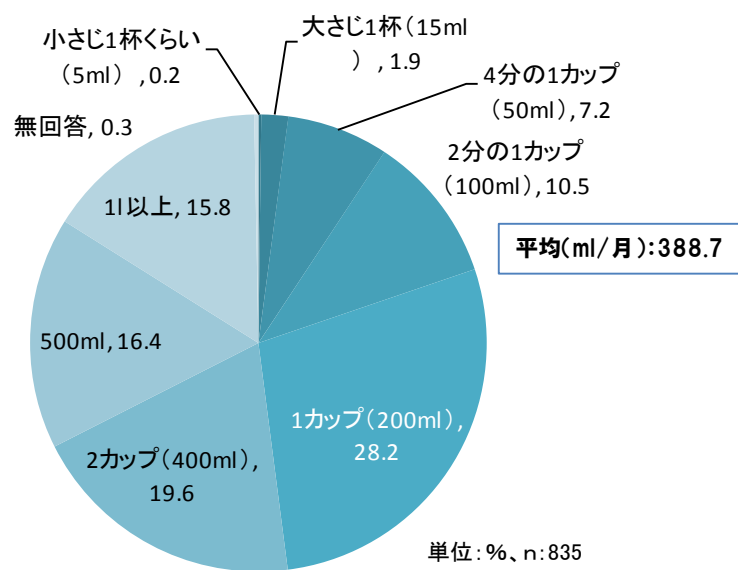
【図表V-1-1】 問18 白もの牛乳類を使った料理行動（SA）



【図表V-1-2 問】 18-1 白もの牛乳類の料理回数（SA）＜この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース＞

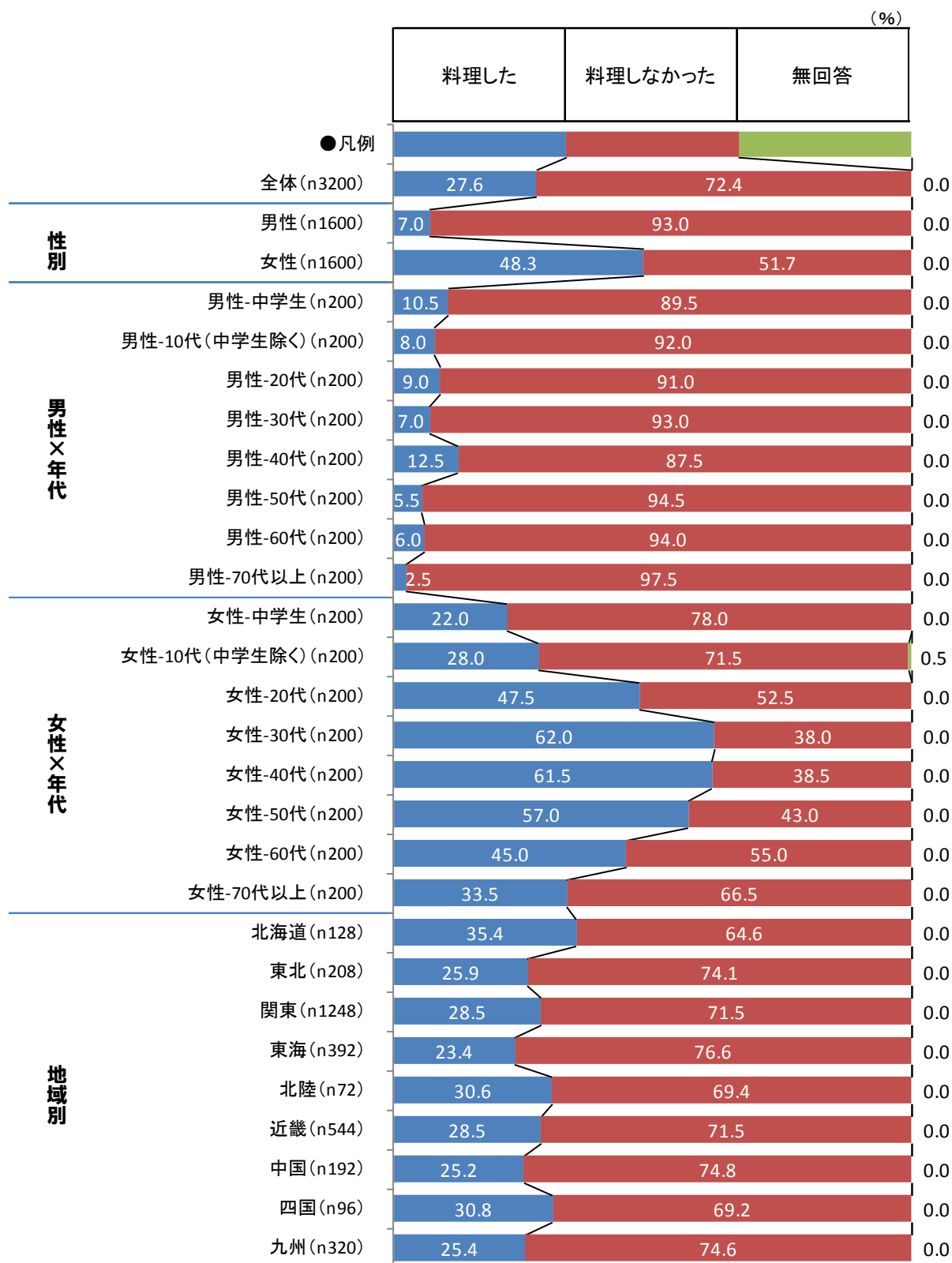


【図表V-1-3】 問18-3 白もの牛乳類の料理使用量（SA）＜この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース＞



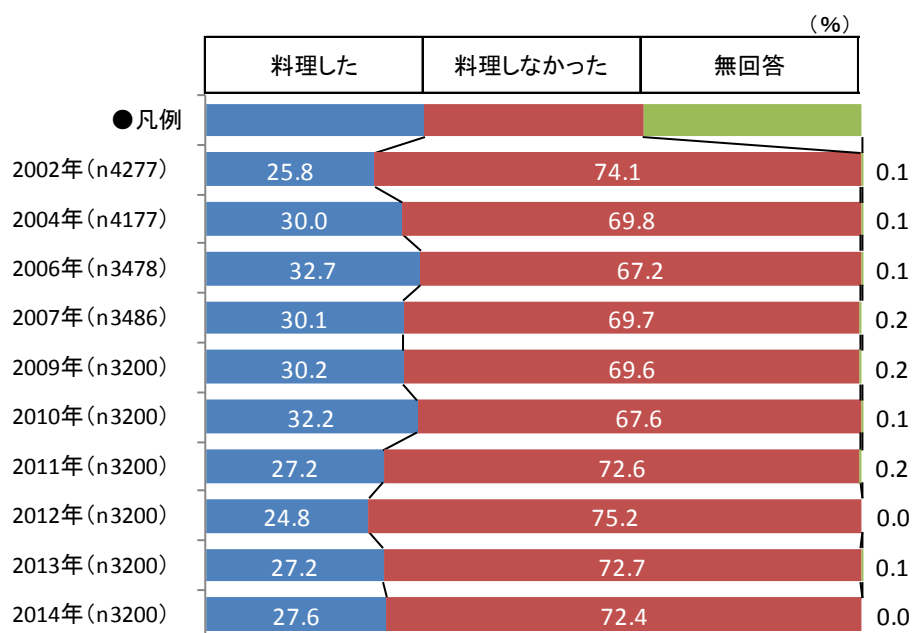
- 調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使って料理をした割合を性別にみると、女性が48%と5割近い。
- 性年代別では、女性の30～40代で6割強と高くなっている。
- 地域別では、北海道で35%と高い。

【図表V-1-4】性・年代別・地域別 問18 白もの牛乳類を使った料理行動（SA）



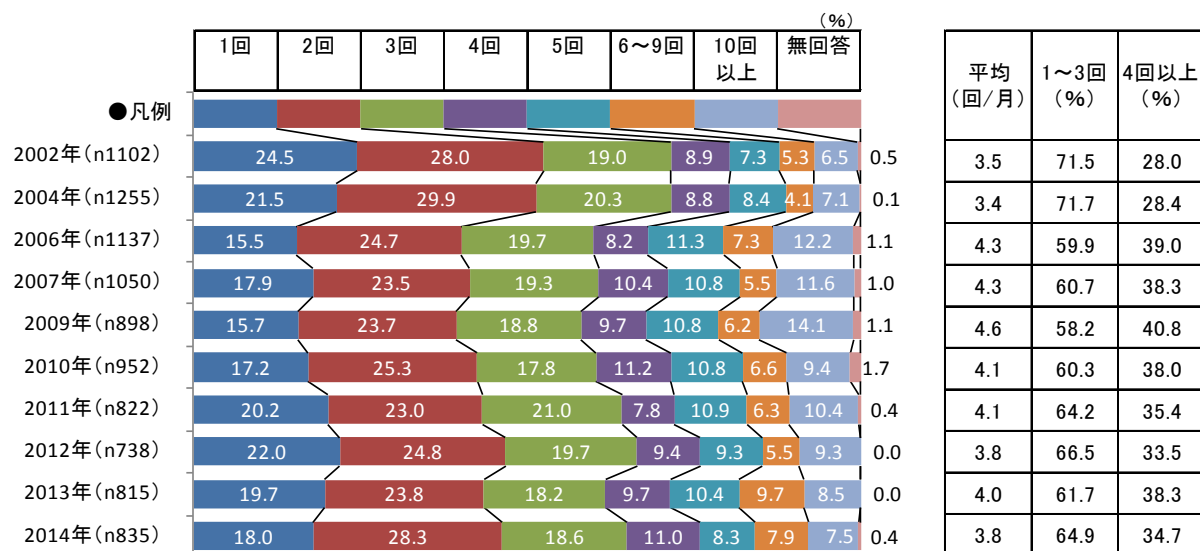
■調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使って料理をした割合を時系列でみると、2014年度は2013年度と同程度で、大きな変化はみられない。

【図表V-1-5】時系列 問18 この1ヶ月間の白もの牛乳類を使った料理行動（SA）



■調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使って料理をした回数を時系列でみると、2014年度は月平均3.8回となり、2013年度よりやや減少し、2012年度と同水準になっている。

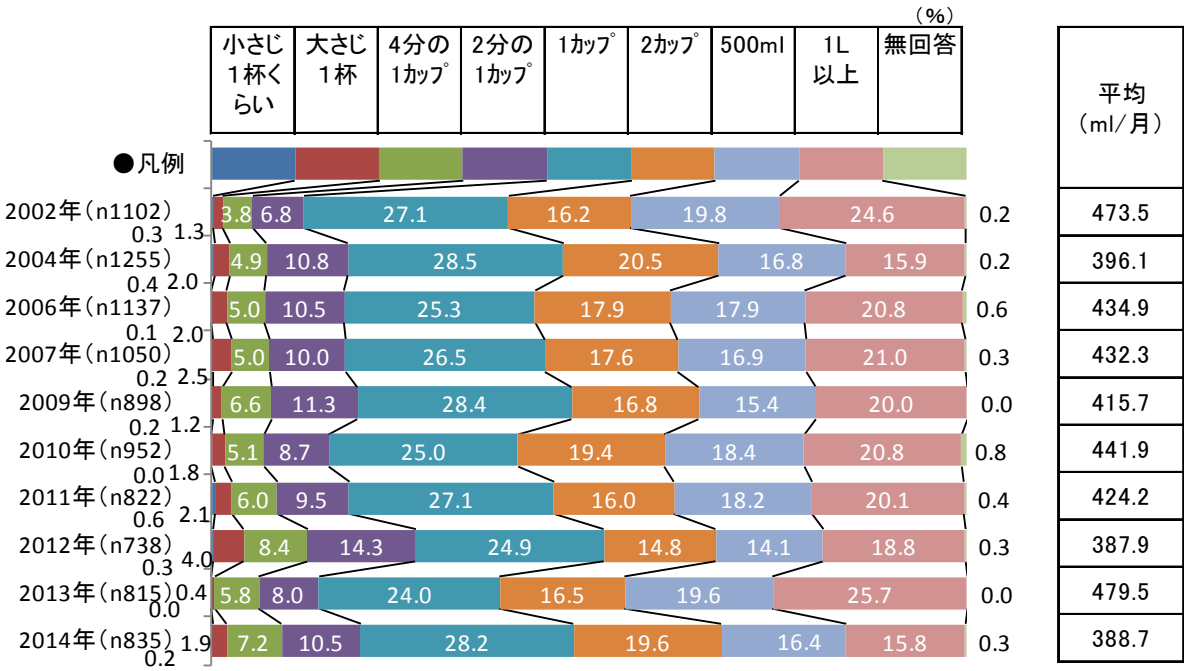
【図表V-1-6】時系列 問18-1 白もの牛乳類の料理回数（SA） ＜この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース＞



■白もの牛乳類の料理使用量を時系列でみると、2014年度は月平均388.7ml となり、2013年度よりも90.8ml 減少し、2012年度と同程度になっている。

【図表V-1-7】時系列 問18-3 白もの牛乳類の料理使用量（SA）

<この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



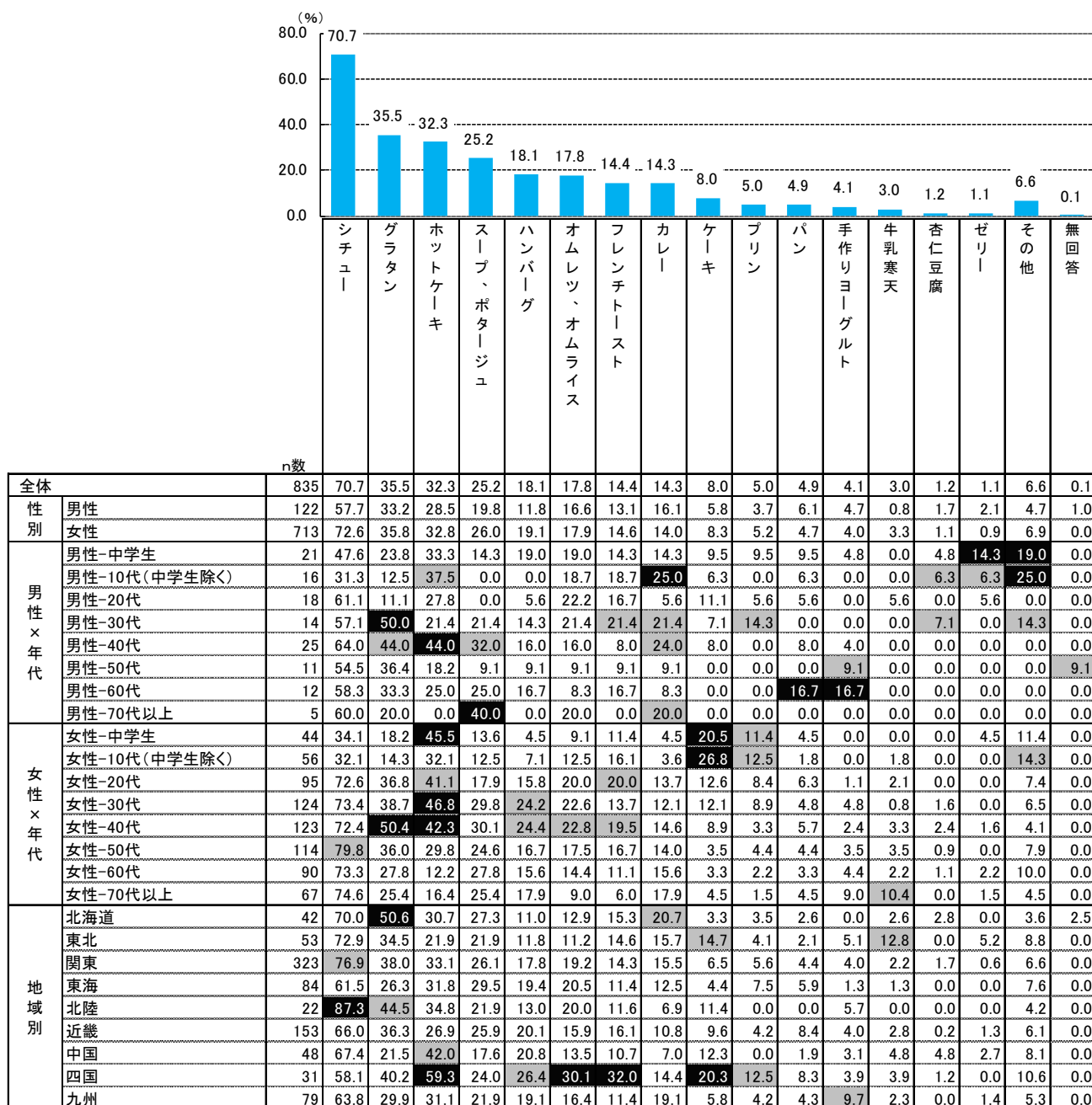
2. この1ヶ月の白もの牛乳類を使って作った料理

■調査時点の1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人に、その種類を質問した。

■全体では「シチュー」が71%と突出して高く、次いで「グラタン」が36%、「ホットケーキ」が32%となっている。

【図表V-2-1】 性・年齢別・地域別 問18-2 この1ヶ月の牛乳を使った料理 (MA)

<この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い、 ■ = 全体より、5%以上高い、

VI. 乳製品の飲食実態

1. ヨーグルトの飲食状況

(1) ヨーグルトの飲食頻度

■日頃どのくらいの頻度でヨーグルトを飲食するかを質問した。

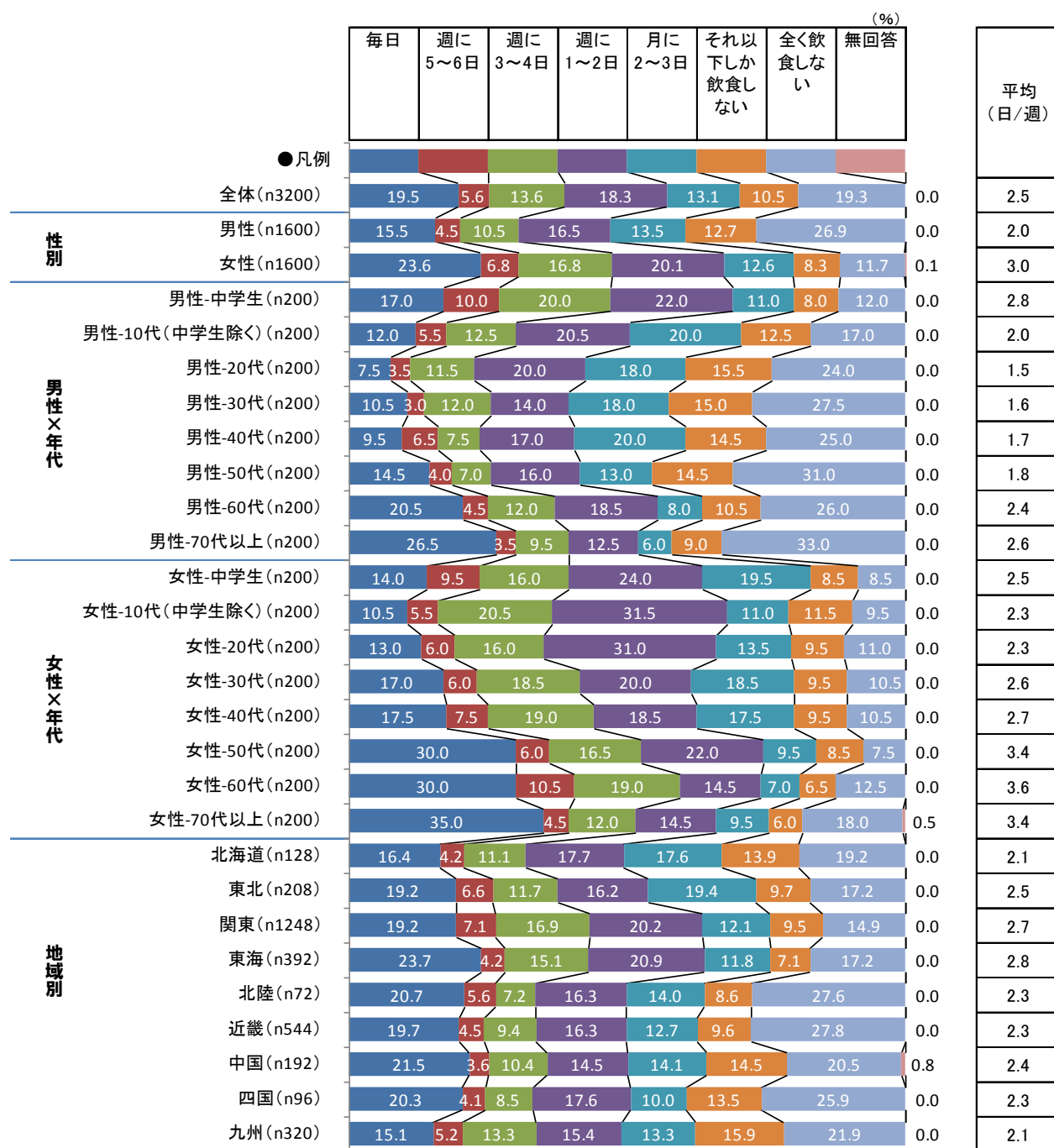
■全体では、「毎日」飲食する人は20%で、週に1日以上飲食する人の合計は57%となっている。平均飲食頻度（日/週）は2.5日。一方、「全く飲食しない」という人は19%である。

■性別では、週に1日以上飲食する人の計は男性で47%、女性で67%となり、女性の方が20ポイント高い。

■性年代別にみると、20代以上の男性、10～60代の女性では年代の上昇とともに飲食頻度が高くなることがわかる。

■地域別では、平均飲食頻度は東海で2.8日、関東で2.7日と高い。

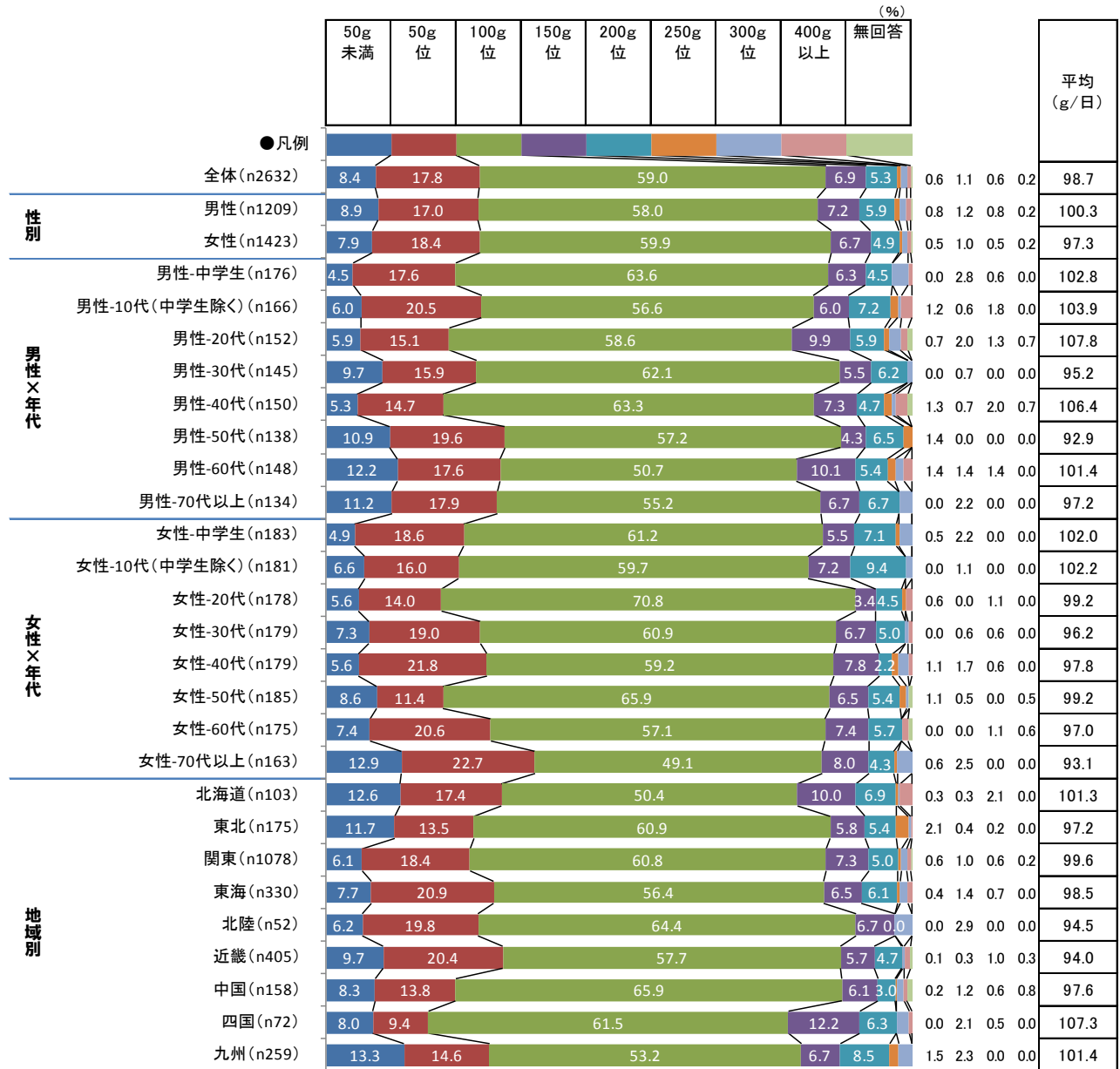
【図表VI-1-1】性・年代別・地域別 問19 日頃、ヨーグルトを飲食する頻度（SA）



(2) ヨーグルトの飲食量

- ヨーグルトを食べる（飲む）ときの一日の飲食量を質問した。
- 全体では「100g位」と答えた人が59%と多く、平均では一日に98.7gとなっている。
- 性別では、平均飲食量は男性で100.3g、女性で97.3gと男性の方がやや多い。
- 性年代別では、男性20代と40代で平均飲食量がやや多くなっている。

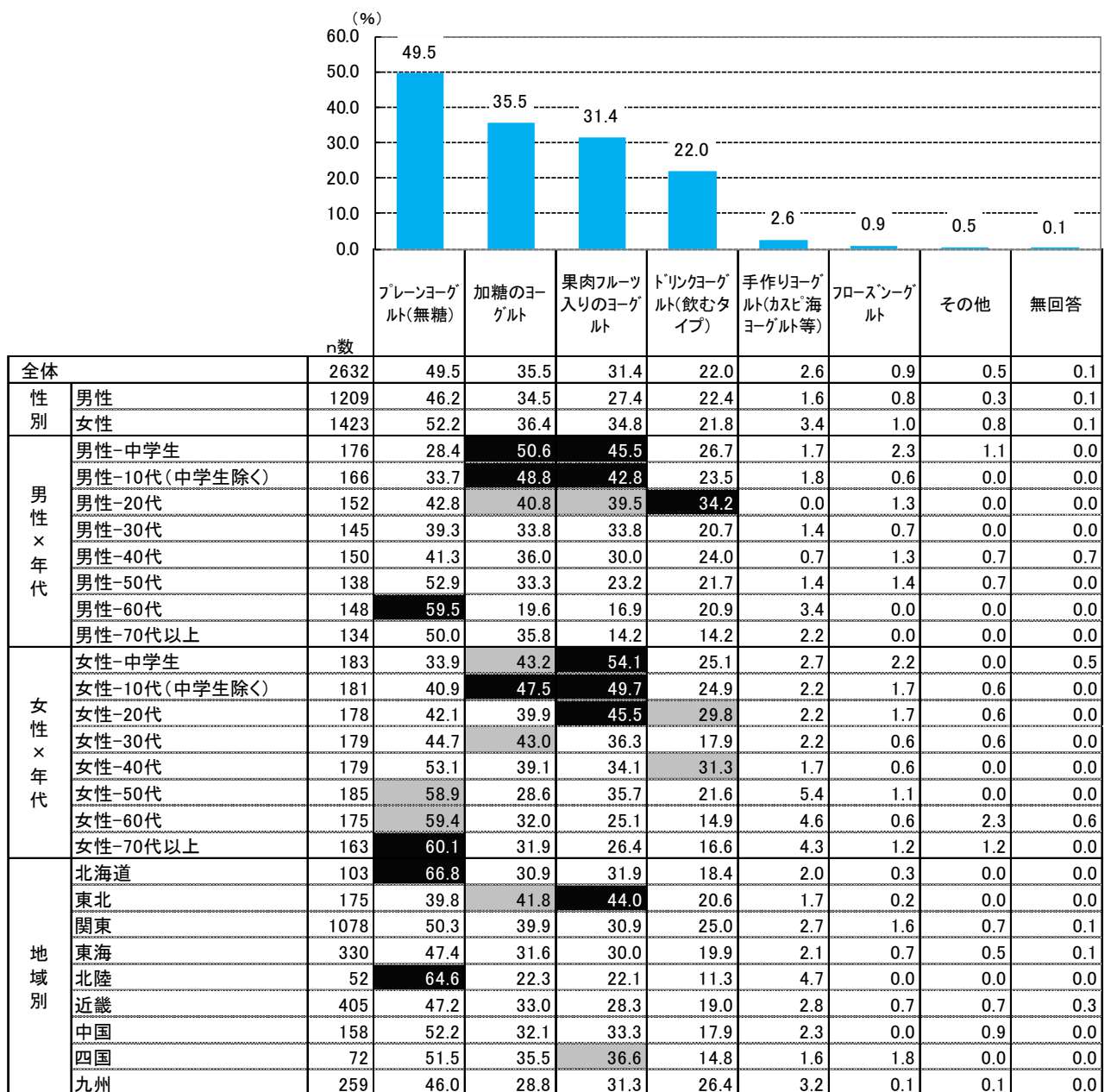
【図表VI-1-2】性・年代別・地域別 問20 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量（SA） ＜飲食者ベース＞



(3) ヨーグルトのタイプ

- ヨーグルトを飲食する人に、どのようなタイプのヨーグルトを飲食することが多いかを質問した。
- 全体では、「プレーンヨーグルト（無糖）」が50%、「加糖のヨーグルト」が36%、「果肉フルーツ入りのヨーグルト」が31%となっている。
- 性別でみると、女性では「プレーンヨーグルト（無糖）（52%）」、「果肉フルーツ入りのヨーグルト（35%）」が男性より多い。
- 性年代別では、男女とも若年層で「加糖のヨーグルト」や「果肉フルーツ入りのヨーグルト」を食べる割合が高いのが目立つ。「プレーンヨーグルト（無糖）」は男性60代と女性70代以上で6割と多い。

【図表VI-1-3】性・年代別・地域別 問21 飲食するヨーグルトのタイプ（MA）＜ヨーグルト飲食者ベース＞



※ = 全体より、10%以上高い

 = 全体より、5%以上高い

■日頃ヨーグルトを飲食する頻度を時系列でみると、2014年度の「週に1日以上食べる」割合は57%となっており、2013年度を上回る。また2005年に次いで高い水準となっている。

【図表VI-1-4】時系列 問19 日頃ヨーグルトを飲食する頻度（SA）

(%)

	n	毎日食べる/飲む	週に5～6日食べる/飲む	週に3～4日食べる/飲む	週に1～2日食べる/飲む	月に2～3日食べる/飲む	それ以下しか食べない/飲まない	全く食べない/飲まない	無回答	週に1日以上食べる・計
2014年	3,200	19.5	5.6	13.6	18.3	13.1	10.5	19.3	0.0	57.1
2013年	3,200	17.2	4.8	13.1	18.5	14.1	11.8	20.4	0.0	53.7
2012年	3,200	18.4	5.5	13.3	17.3	14.6	10.9	20.1	0.0	54.4
2011年	3,200	15.4	5.7	11.1	20.1	16.4	12.1	18.9	0.3	52.3
2010年	3,200	15.2	5.2	13.2	17.6	18.2	12.7	17.9	0.0	51.2
2009年	3,200	15.0	6.3	12.2	18.9	17.8	12.1	17.7	0.1	52.4
2008年	3,200	14.6	5.0	13.9	20.3	17.6	11.8	16.8	0.1	53.8
2007年	3,486	15.2	5.2	13.4	20.9	18.1	10.7	16.4	0.1	54.7
2006年	3,478	16.3	5.6	13.1	19.1	17.6	10.4	17.7	0.1	54.1
2005年	3,896	16.5	5.8	15.3	21.0	17.7	9.0	14.6	0.1	58.6

■1日のヨーグルトの飲食量を時系列でみると、2014年度は2013年度と比較して、50g以下計がやや増加し、100g位がやや減少、200g以上計は変化なしという結果となった。200g以上の摂取は2006年以降漸減傾向にある。

【図表VI-1-5】時系列 問20 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量（SA）＜ヨーグルト飲食者ベース＞

(%)

	n	50g未満	50g位	100g位	150g位	200g位	250g位	300g位	400g以上	無回答	50g以下・計	100g位	200g以上・計
2014年	2,632	8.4	17.8	59.0	6.9	5.3	0.6	1.1	0.6	0.2	26.2	66.0	7.7
2013年	2,598	8.4	15.2	62.0	7.0	5.3	0.6	0.8	0.6	0.1	23.6	68.9	7.3
2012年	2,615	8.5	14.6	62.8	5.7	6.0	0.6	1.3	0.5	0.1	23.1	68.5	8.4
2011年	2,586	9.9	16.6	59.2	6.7	5.7	0.8	0.4	0.6	0.1	26.5	65.9	7.6
2010年	2,663	11.6	12.9	55.8	8.0	8.8	1.0	0.5	1.0	0.4	24.5	63.8	11.7
2009年	2,677	8.7	12.5	59.6	9.0	7.7	0.9	0.7	0.8	0.0	21.2	68.6	10.1
2008年	2,695	10.8	12.7	59.1	7.4	7.7	1.0	0.8	0.5	0.0	23.5	66.5	10.0
2007年	2,910	8.0	11.5	59.6	8.6	8.7	1.8	0.9	0.6	0.2	19.5	68.2	12.2
2006年	2,858	7.3	9.7	60.1	9.6	9.4	1.7	1.2	0.8	0.2	17.0	69.7	13.3
2005年	3,324	7.8	9.9	61.4	8.3	9.3	1.6	0.8	0.6	0.2	17.7	69.7	12.5

■飲食するヨーグルトのタイプを時系列でみると、2014年度は2013年度と比較して、「プレーンヨーグルト（無糖）」が増加し、過去10年の中で最も高い割合となっている。「加糖のヨーグルト」と「果肉フルーツ入りのヨーグルト」は減少傾向にある。

【図表VI-1-6】時系列 問21 飲食するヨーグルトのタイプ（MA）＜ヨーグルト飲食者ベース＞

(%)

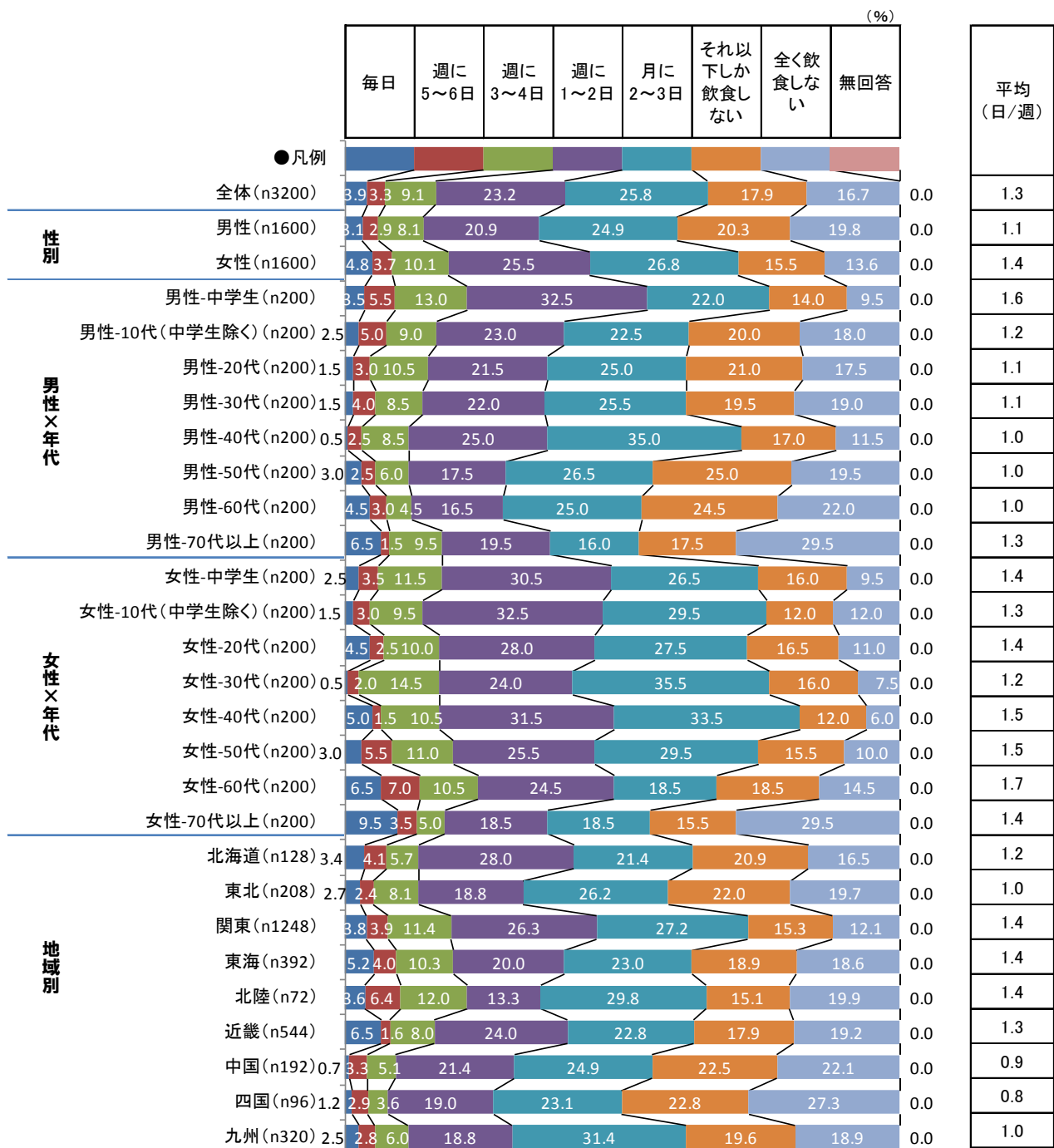
	n	プレーンヨーグルト（無糖）	加糖のヨーグルト	果肉フルーツ入りのヨーグルト	ドリンクヨーグルト（飲むタイプ）	手作りヨーグルト（カスピ海ヨーグルト等）	フローズンヨーグルト	その他	無回答
2014年	2,632	49.5	35.5	31.4	22.0	2.6	0.9	0.5	0.1
2013年	2,598	44.1	39.4	36.7	21.7	3.1	0.6	0.6	0.2
2012年	2,615	45.4	38.0	36.1	17.9	3.0	0.4	0.6	0.0
2011年	2,586	46.0	36.5	34.2	15.9	4.3	0.6	0.6	0.3
2010年	2,663	44.8	39.3	38.1	19.3	4.5	0.4	1.1	0.3
2009年	2,677	43.8	40.3	41.0	22.0	4.6	1.0	1.2	0.1
2008年	2,695	42.6	40.1	39.3	20.8	6.5	1.4	1.6	0.0
2007年	2,910	42.1	42.0	38.8	21.4	6.2	0.7	0.8	0.2
2006年	2,858	44.8	40.5	41.1	24.4	7.7	1.2	1.0	0.3
2005年	3,324	48.9	40.9	46.2	25.2	10.8	1.7	1.3	0.2

2. チーズの食用状況

(1) チーズを食べる頻度

- 日頃どの位の頻度でチーズを食べているかを質問した。
- 全体では、「毎日」食べる人は4%であり、週に1日以上食べる人は合わせて40%である。一方、「全く食べない」という人は17%となった。
- 性別では、週に1日以上食べる人は男性で35%、女性で44%となり、女性の方が高頻度でチーズを食べている。
- 性年代別では、男子中学生で週に1日以上食べる人が55%と半数を超える。他に、女子中学生や女性40～60代でチーズを食べる頻度が高い。
- 地域別では、関東、東海、北陸でチーズを食べる頻度がやや高くなっている。

【図表VI-2-1】性・年代別・地域別 問22 日頃、チーズを食べる頻度（SA）



(2) チーズを食べる量

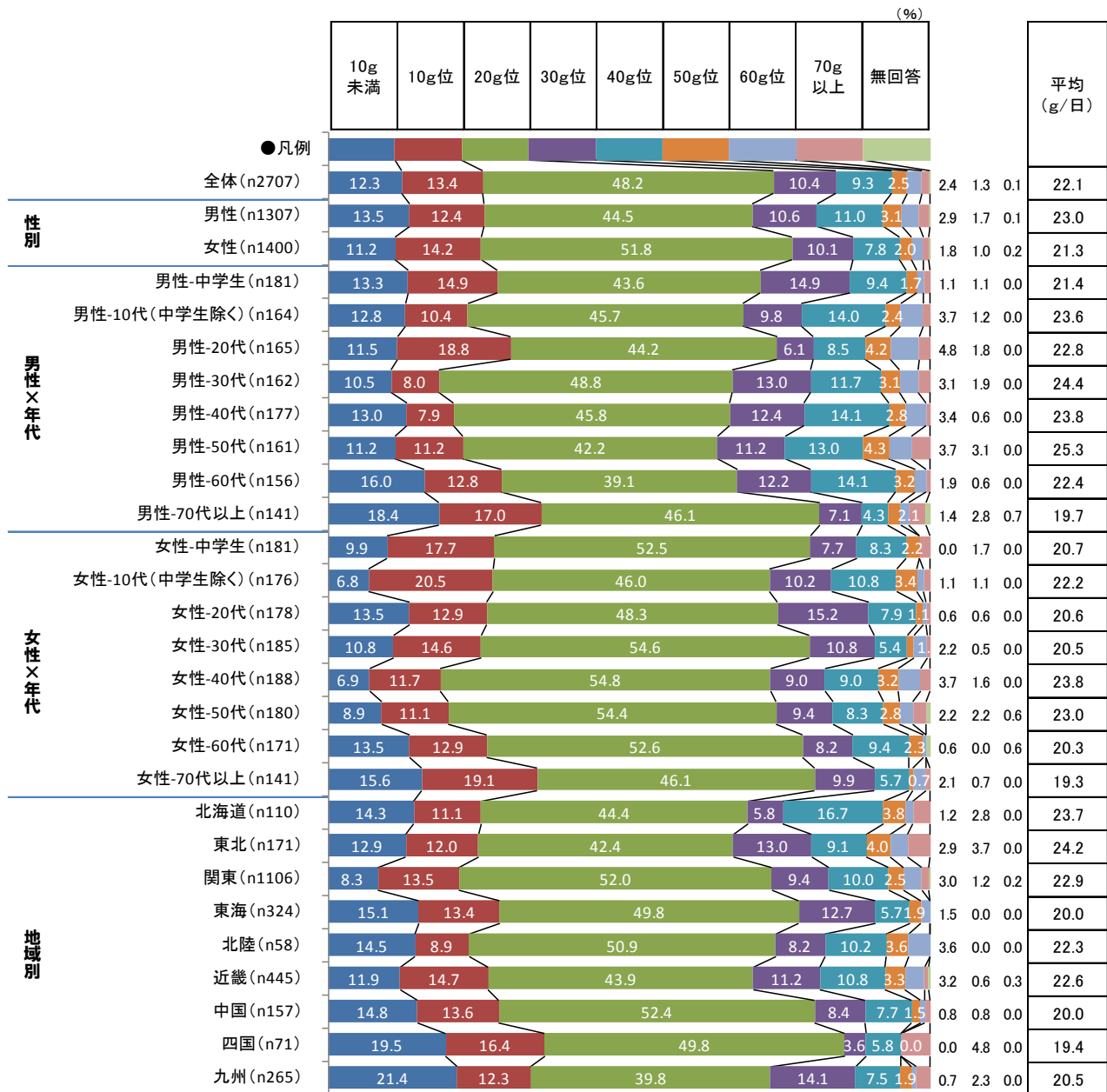
■チーズを食べるときの一日の量を質問した。

■全体では「20g位」と答えた人が48%を占め、平均では一日に合計22.1gとなっている。

■性別では、平均飲食量は男性で23.0g、女性で21.3gとなっており、男性の方がやや多い。

■性年代別では、男性では30代から50代で、女性は40代から50代で、それぞれ平均飲食量がやや多い。

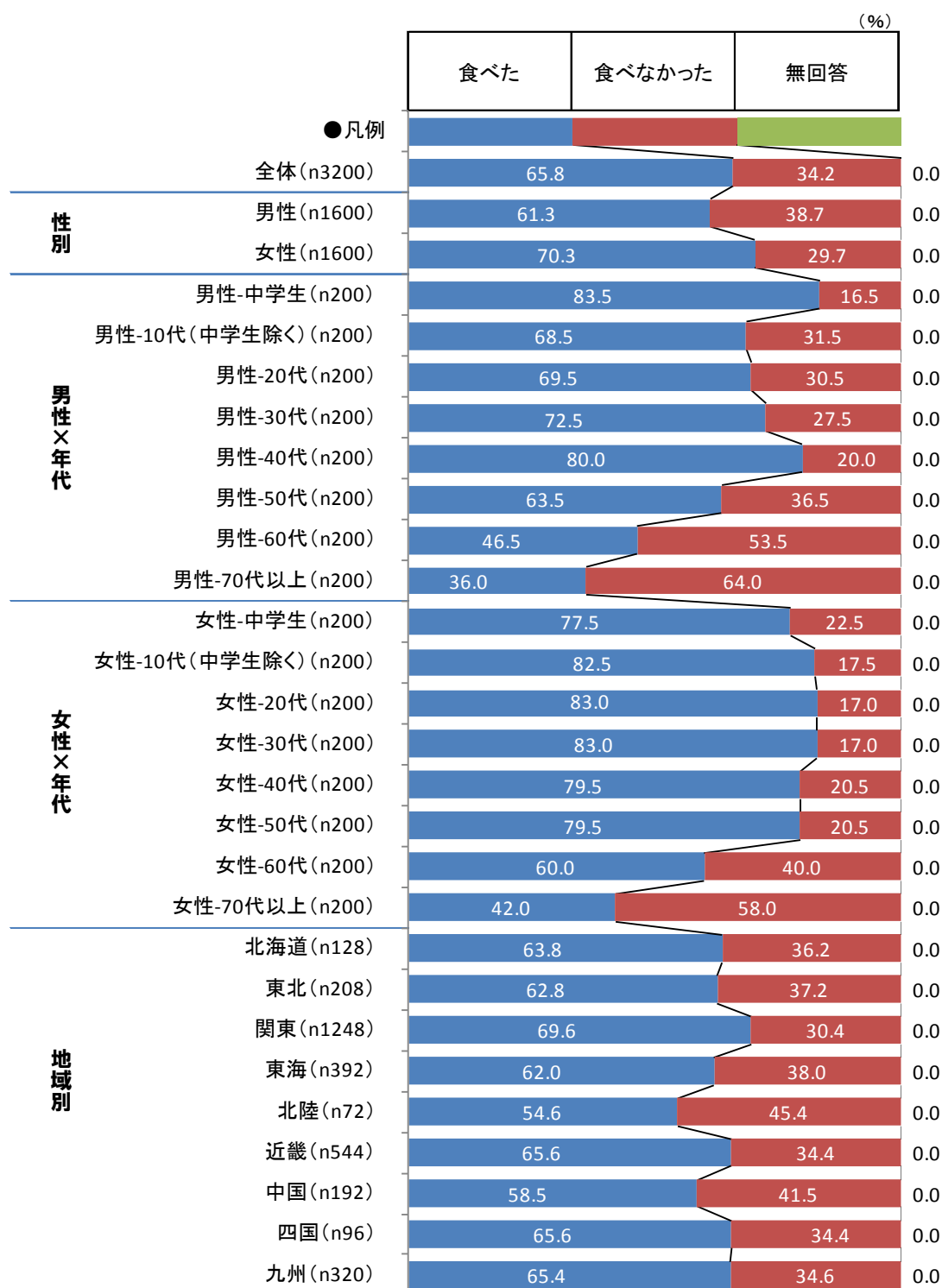
【図表VI-2-2】性・年代別・地域別 問23 1日に食べるチーズの合計量（SA）



(3) チーズ料理

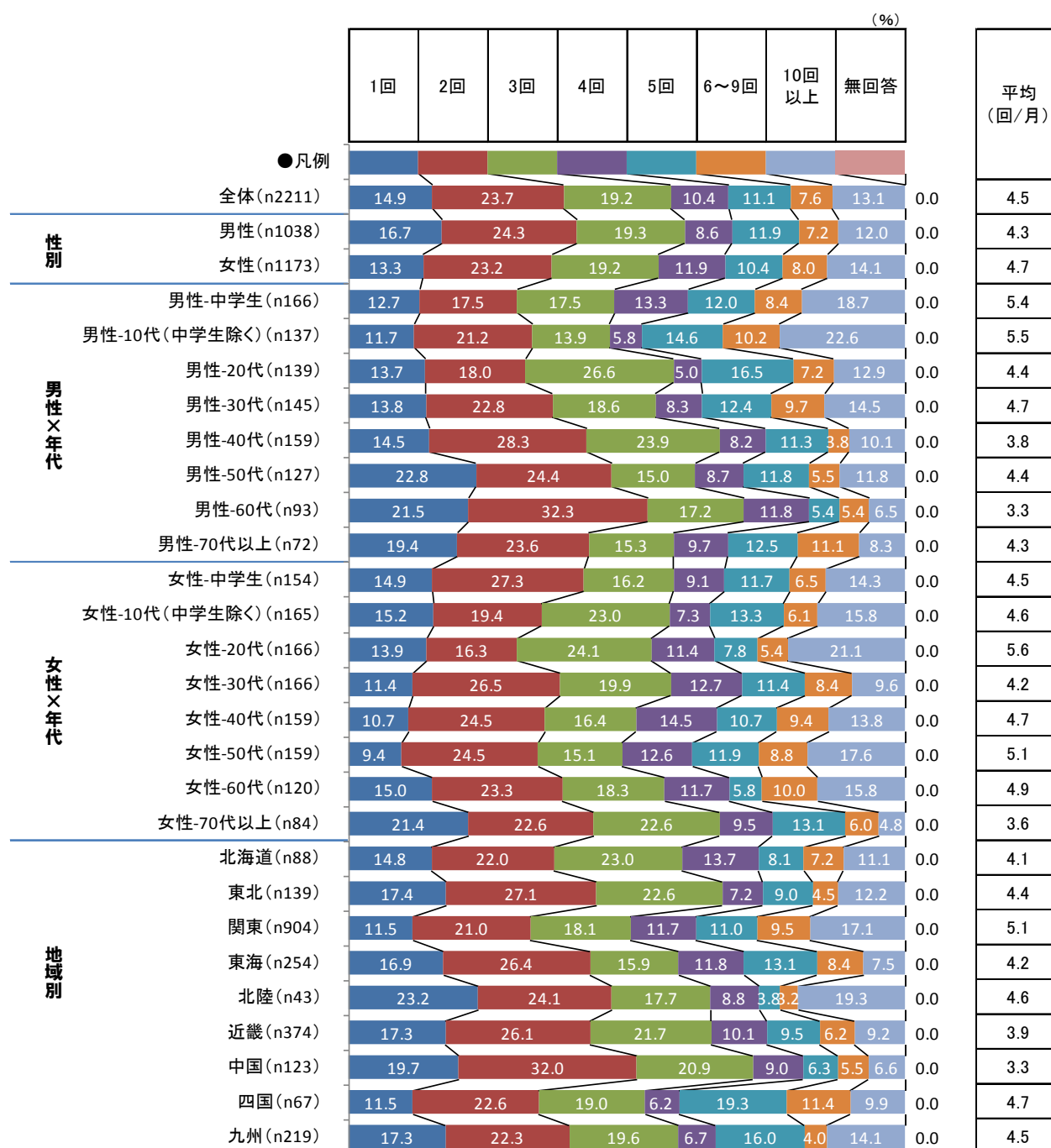
- 調査時点を含む1ヶ月間にチーズを使った料理を食べた人は、全体で66%となっている。
- 性別でみると、チーズ料理を食べた人は男性が61%、女性が70%となり、女性の方が多い。
- 性年代別では、男子中学生、男性40代、女性10～30代でチーズ料理を多く食べている傾向がうかがえる。男女ともに50代以上では、年代が高くなるほど「食べた」割合は低くなる。
- 地域別では、チーズ料理を食べる割合は関東で高く、北陸、中国で低くなっている。

【図表VI-2-3】性・年代別・地域別 問24 この1ヶ月間にチーズ料理を食べたか（SA）



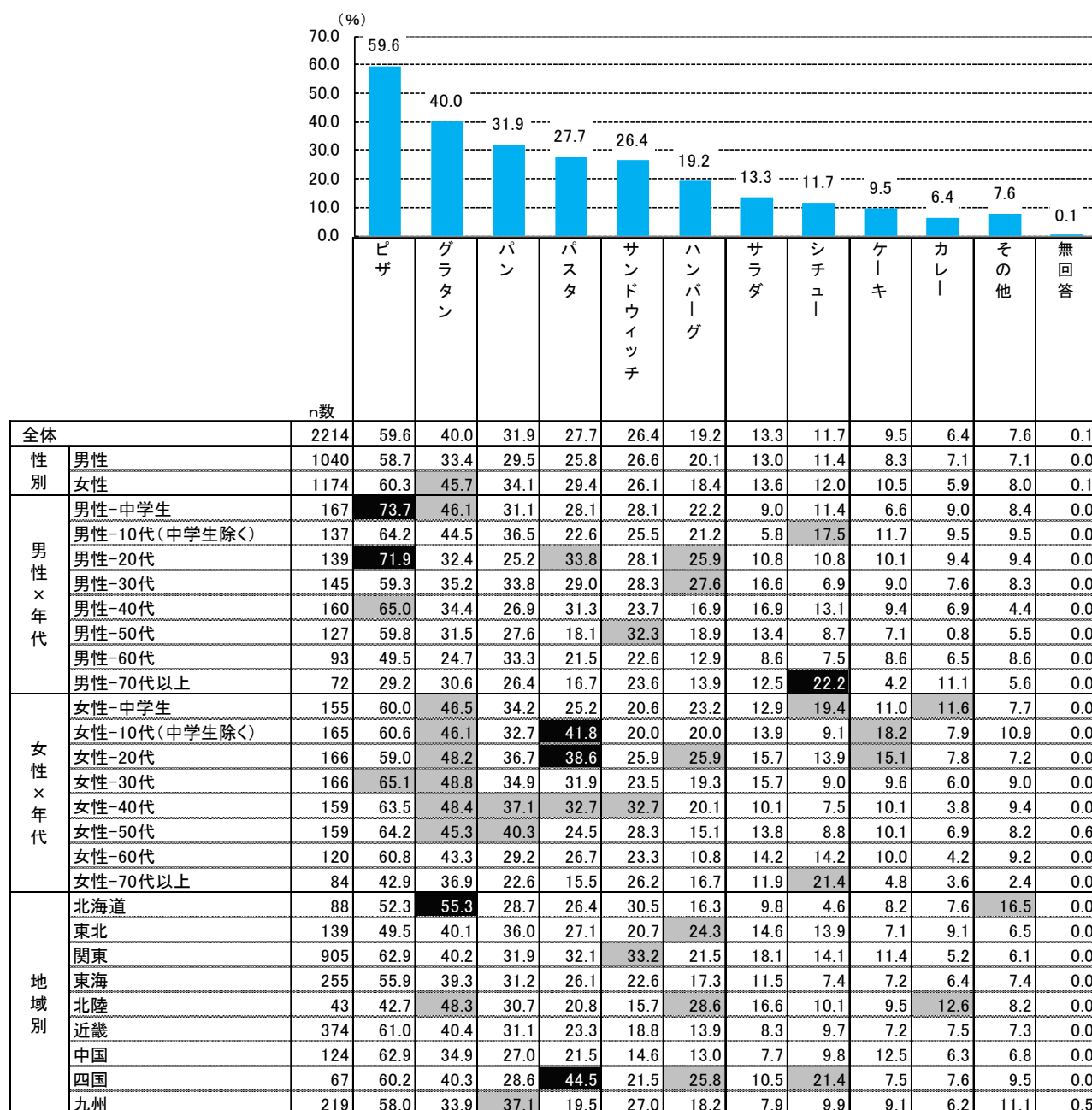
- 調査時点を含む1ヶ月間にチーズ料理を食べた人の回数は、全体で「2回」が24%で最も多く、次いで「3回」が19%、「1回」が15%となっている。平均飲食回数(回/月)は4.5回である。
- 性別でみると、平均飲食回数は男性で4.3回、女性で4.7回で、女性の方がやや多い。
- 性年代別では、男性は男子中学生と10代、女性は20代と50代で、チーズ料理を食べる回数が多くみられ、男性10代と女性20代では「10回以上」が2割を超える。
- 地域別では、関東でチーズ料理を食べる回数が多い。

【図表VI-2-4】性・年代別・地域別 問24-1 この1ヶ月間にチーズ料理を食べた回数(5A)



- 1ヶ月間にどんなチーズ料理を食べたかを見ると、全体では「ピザ」が60%で最も多く、次いで「グラタン(40%)」、「パン(32%)」、「パスタ(28%)」、「サンドウィッチ(26%)」と続いている。
- 性別では、女性では全体に比べ、「グラタン(46%)」が多く、男性よりも12ポイント高い。
- 性年代別では、男子中学生、男性20代で「ピザ」が全体よりも10ポイント以上高くなっている。また、女性10～20代では全体に比べ、「パスタ」が多くあげられ、全体よりも10ポイント以上高くなっている。
- 地域別では、北海道では「グラタン」が「ピザ」を上回り、最多となっている。四国では全体に比べ、「パスタ」が多く、「ピザ」に次いで高い割合となっている。

【図表VI-2-5】性・年代別・地域別 問24-2 飲食するチーズ料理（MA）



※ = 全体より、10%以上高い

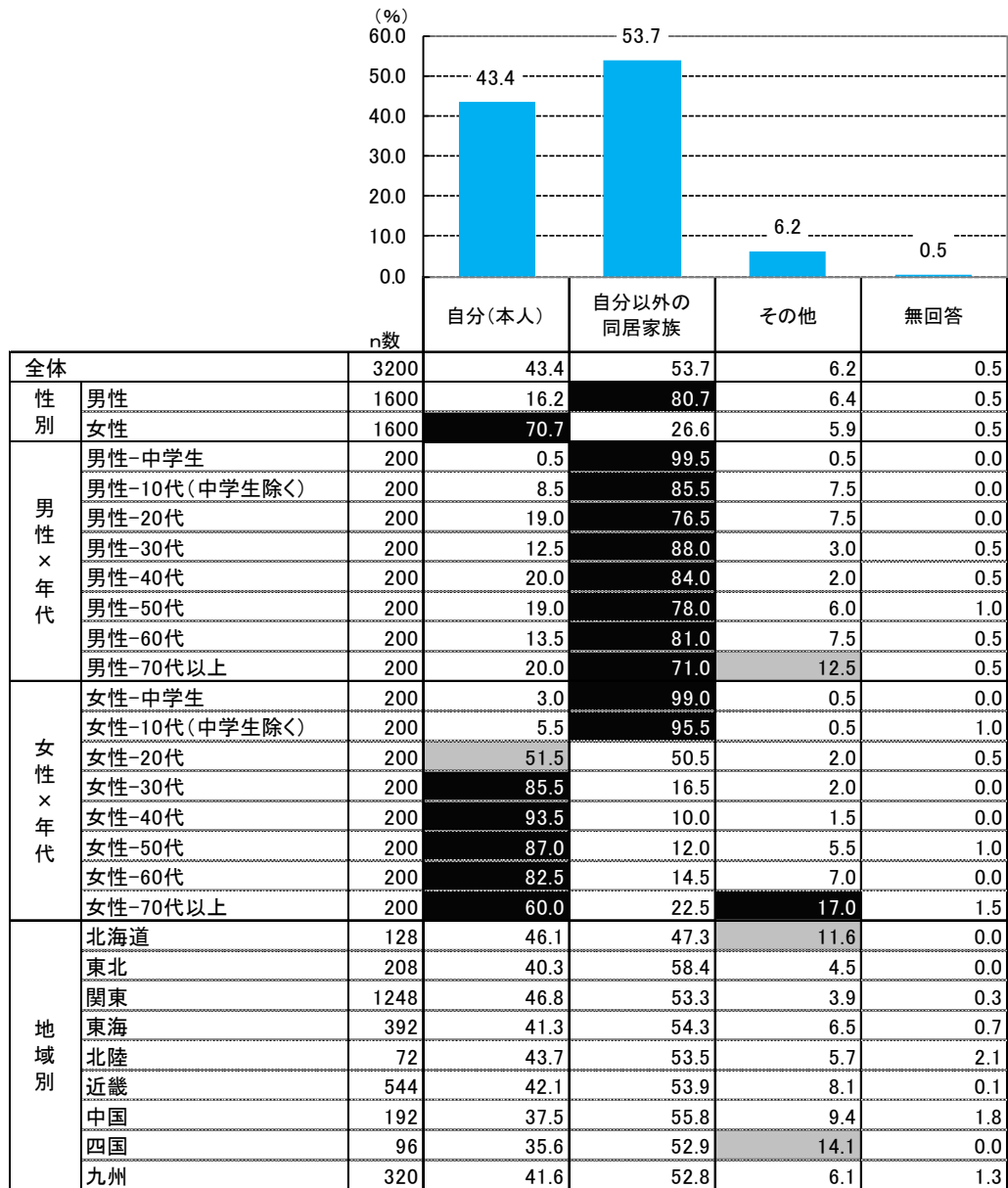
 = 全体より、5%以上高い

(4) チーズを購入する人

■世帯の中でチーズを購入する人は誰か、複数回答で質問した。

■全体では、「自分（本人）」が43%、「自分以外の同居している家族」が54%となっている（白もの牛乳の購入者と同程度の割合となっている）。

【図表VI-2-6】性・年代別・地域別 問25 チーズを購入する人（MA）



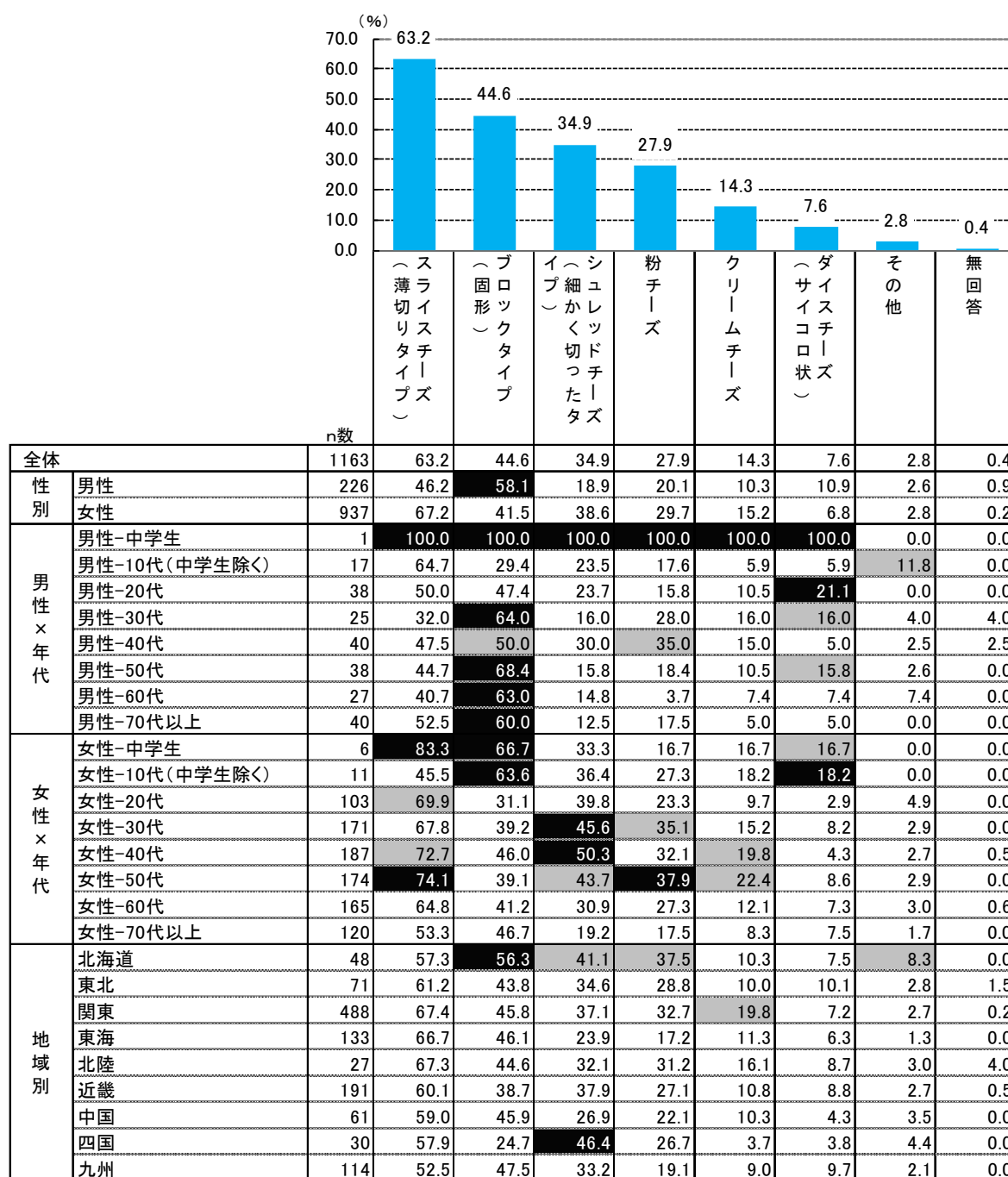
※ = 全体より、10%以上高い

 = 全体より、5%以上高い

(5) 購入するチーズのタイプ

- 自分でチーズを購入する人に、どのようなタイプのチーズを購入することが多いか質問した。
- 形状は、「スライスチーズ」が63%で最も多く、次いで「ブロックタイプ」が45%、「シュレッドチーズ」が35%、「粉チーズ」が28%となっている。
- 性別でみると、男性では「ブロックタイプ」が最多で6割近い。女性では「スライスチーズ」「シュレッドチーズ」が男性よりも多くなっている。
- 性年代別では、女性30～50代で、様々なタイプのチーズを購入している様子がうかがえる。

【図表VI-2-7】性・年代別・地域別 問26-1 購入するチーズのタイプ (MA) <チーズ購入者ベース>

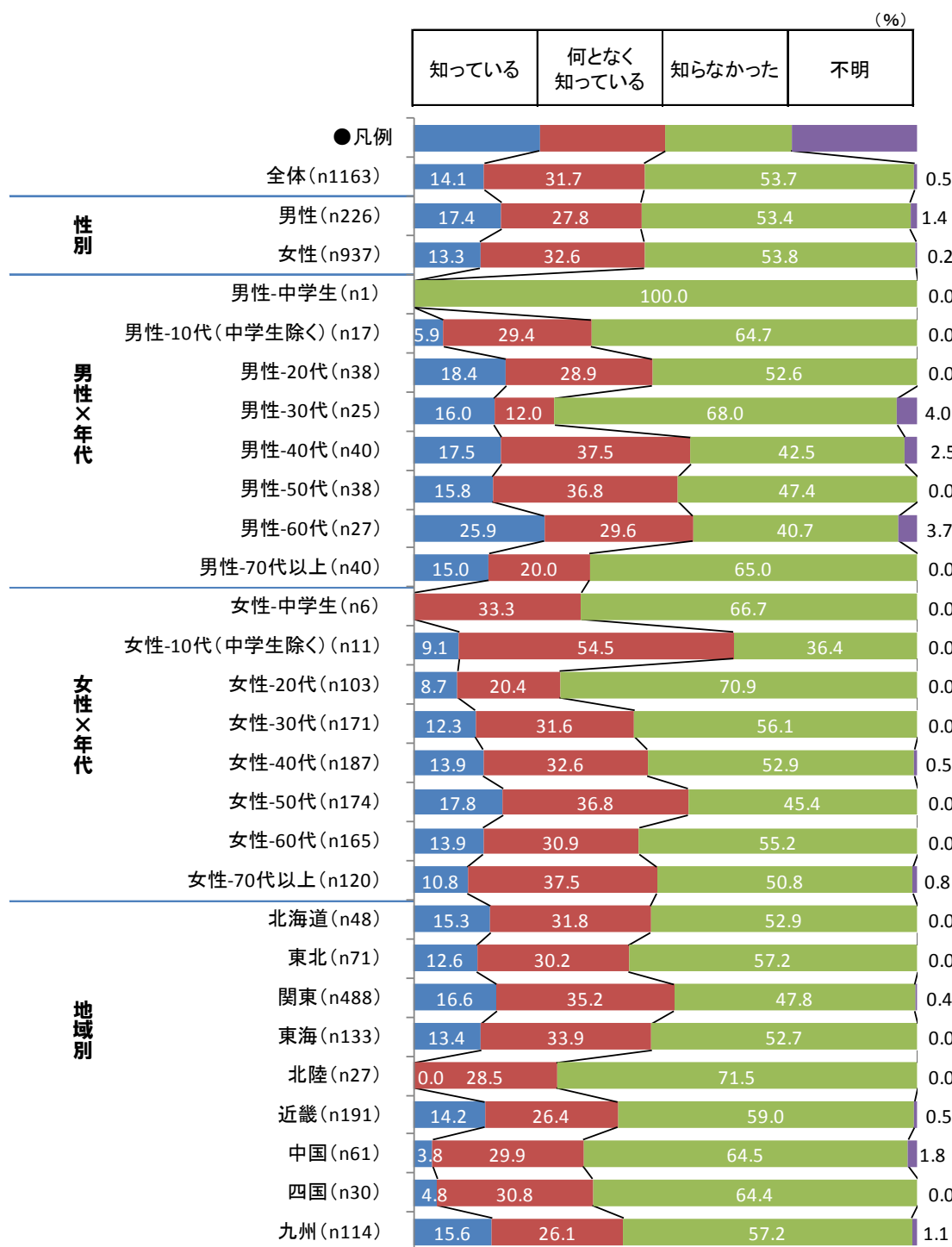


※ = 全体より、10%以上高い
 = 全体より、5%以上高い

(6) ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いの認知状況

- 自分でチーズを購入する人に、ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いを知っているか質問した。
- 全体では、「知っている」が14%、「何となく知っている」が32%となり、計46%となった。
- 性別でみると、認知に大きな差はみられないが、男性の方が「知っている」の回答が多い。
- 性年代別では、男性40～60代、女性50代で、「知っている」+「何となく知っている」の計が高い。
- 地域別では、関東で「知っている」+「何となく知っている」の計がやや高くなっている。

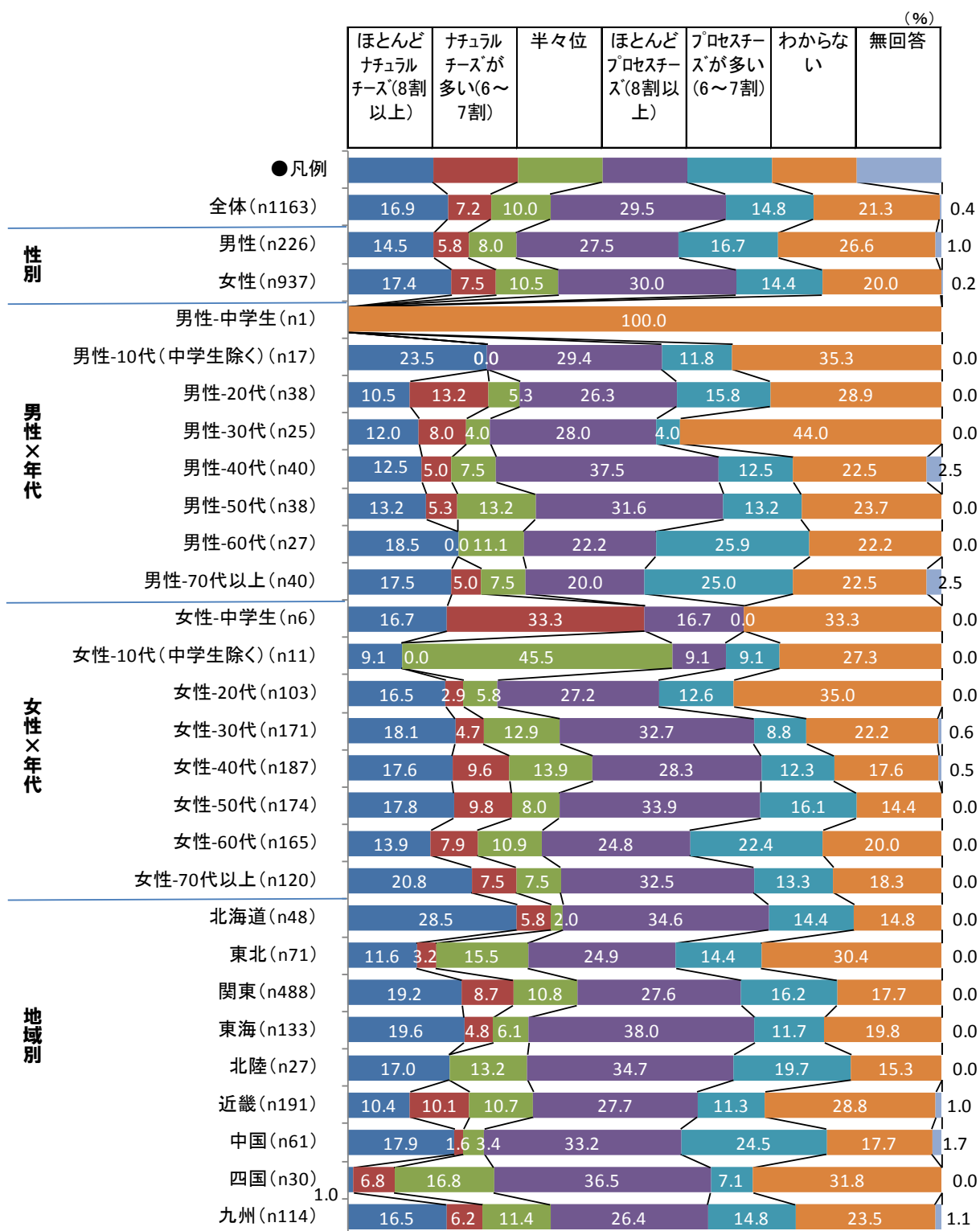
【図表VI-2-8】性・年代別・地域別 問26-2 ナチュラルチーズ、プロセスチーズの違いの認識（SA）＜チーズ購入者ベース＞



※この「ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いの認知状況」という質問は、平成24年度（2012年度）から設定した。

- 自分で購入するチーズはナチュラルチーズかプロセスチーズかを質問したところ、全体では「ほとんどプロセスチーズ（8割以上）」という人が30%と最も多く、「プロセスチーズが多い（6～7割）」を合わせたプロセス派は44%を占めた。一方、ナチュラル派（「ほとんどナチュラルチーズ（8割以上）」＋「ナチュラルチーズが多い（6～7割）」は24%、「半々くらい」は10%、「わからない」は21%となっている。
- 性別では、女性で「ほとんどナチュラルチーズ」＋「ナチュラルチーズが多い」の計が25%と、男性の20%より高い。

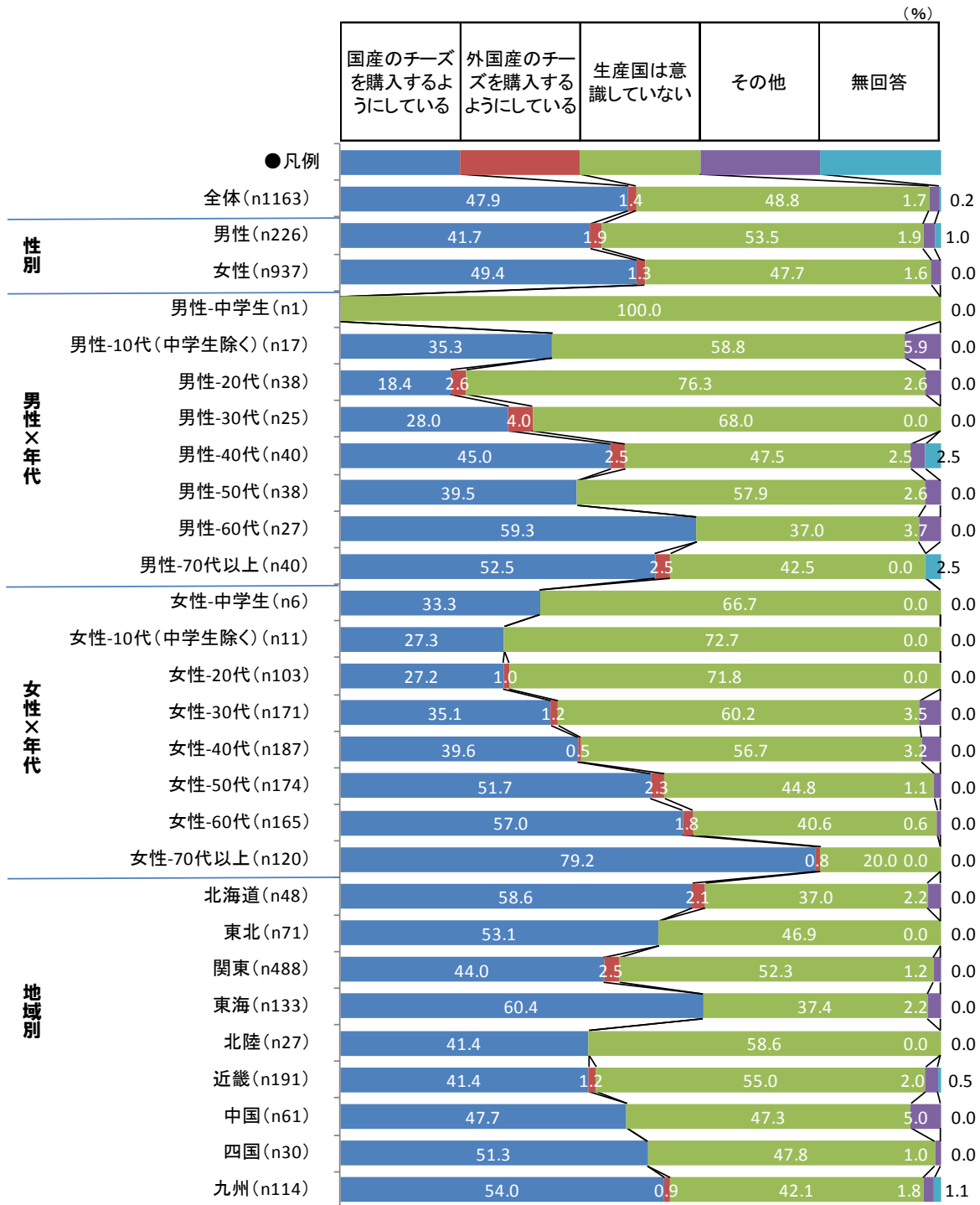
【図表VI-2-9】性・年代別・地域別 問27 購入するチーズの割合（ナチュラルかプロセス・SA）＜チーズ購入者ベース＞



(7) 普段チーズを購入する時に意識すること

- 普段チーズ購入時に意識することを質問したところ、全体では「国産のチーズを購入するようにしている」が48%、「生産国は意識していない」が49%で、「外国産のチーズを購入するようにしている」はわずか1%となった。
- 性別では、女性で「国産のチーズを購入するようにしている」割合が49%を占め、男性（42%）より高い。男性は、産地を意識しない傾向が女性よりも強い。
- 性年代別でみると、男女ともに年代が上昇するほど、国産を選ぶ割合が高くなる傾向がある。特に女性70代以上では約8割が国産を選んでいる。

【図表VI-2-10】性・年代別・地域別 問28 チーズ購入時の意識する事（SA）＜チーズ購入者ベース＞



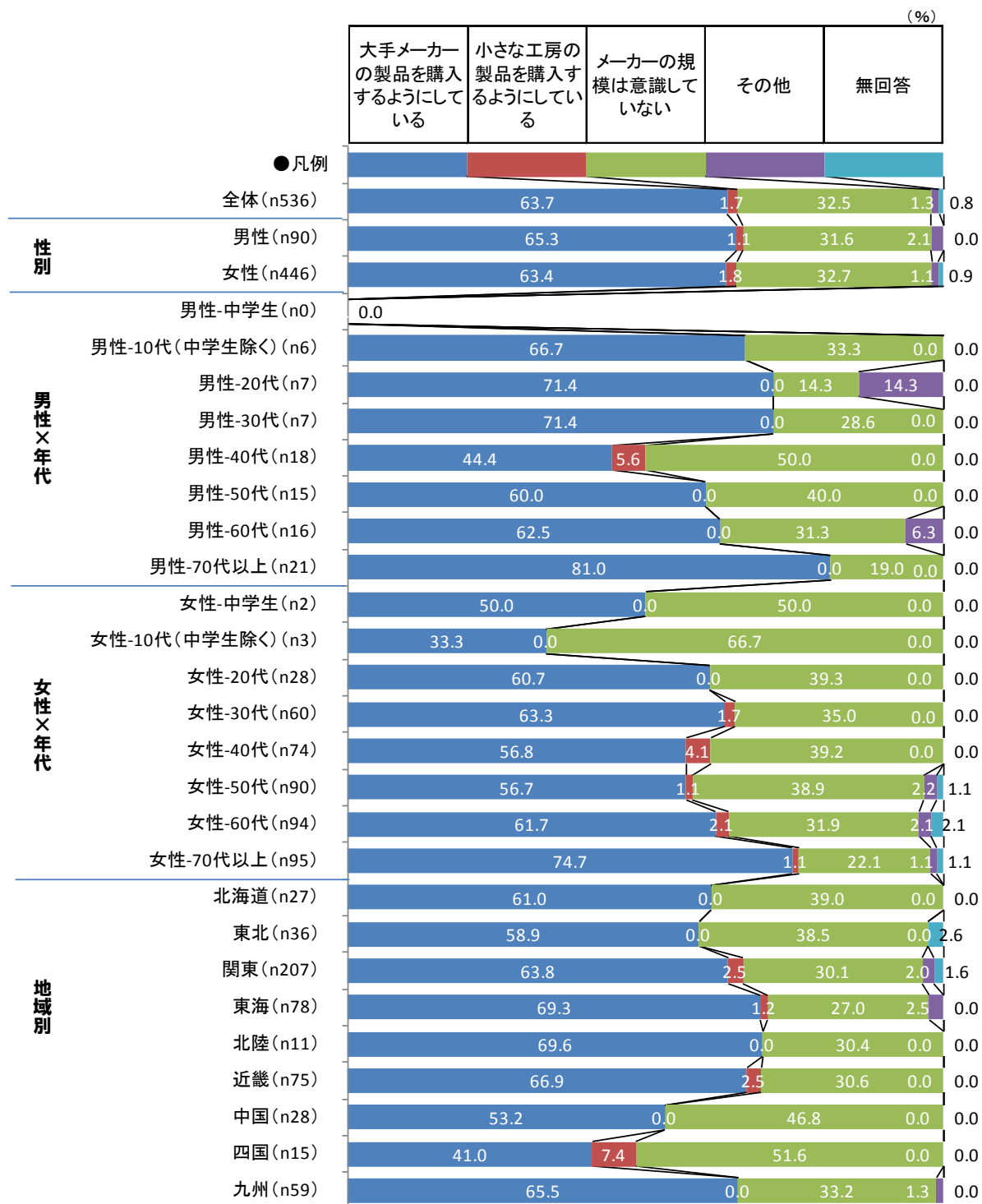
- 普段チーズ購入時に意識することの質問の中で、意識する理由を自由回答でたずねたところ、近年の食の安全性に対する意識の高さを反映し、「安全・安心」が259件で最多となっている。
- 次いで、「値段が安い・セール品を買う・選ぶ」が115件、「特に理由はない・こだわりはない」が102件、「美味しさ」が90件などとなっている。

【図表VI-2-11】 問28 チーズ購入時に意識する事・その理由（自由回答）

順位	問28 チーズ購入時に意識する事・その理由(自由回答)	件
1	安全・安心(国産は安全・安心、店を信用している)	259
2	値段が安い・セール品を買う・選ぶ	115
3	特に理由はない・こだわりはない	102
4	美味しさ	90
5	メーカー・商品を決めている	40
6	産地まで気にしない	34
7	好みに合っている	30
8	国産が好き	28
9	売られている物を選ぶ・店頭にある物から気分で選ぶ・目立っている物	26
10	料理や用途に合わせて	22
11	国産・外国産で味が変わらない	17
12	味にクセがない	13
13	味に親しみがある	11
14	色々な種類を食べたい	9
14	わからない	9
16	外国産が好き	8
16	中国産は避けたい、欧州ならば良い	8
18	パッケージや見た目の良さ	7
18	どこでも売っている・買い易い	7
20	知名度のあるメーカー	5
20	素材	5
22	種類が多い	4
22	店に外国産がない	4
22	量で選ぶ	4
22	健康の為	4
26	外国産は高そう	3
26	国産生乳の消費拡大	3
26	お酒のつまみ、嗜好品	3
29	珍しいもの	2
29	形や包装(個別包装等)	2
31	外国産は分からない	1
31	テレビ等で見たものを買う	1
33	本物を食べたい	0
33	コンビニのものは生産国がわからない	0
33	外国産は大人向け	0
33	塩分控えめな物を買う	0
-	その他	11

- 国産チーズ購入で意識することを質問したところ、全体では「大手メーカーの製品を購入するようにしている」が64%を占めた。
- 「小さな工場の製品を購入するようにしている」はわずか2%にとどまり、「メーカーの規模は意識していない」が33%を占める。

【図表VI-2-12】性・年代別・地域別 問28-1 国産チーズ購入で意識する事（SA）＜国産チーズ購入者ベース＞



■国産チーズ購入で意識する事を自由回答でたずねたところ、「安全・安心感がある」が160件と突出して多い。次いで、「美味しい、新鮮」が34件、「値段が安い・手頃な価格」が31件、「メーカー・商品を決めている（いつも買っている）」が27件と続く。

【図表VI-2-13】問28-1 国産チーズ購入で意識する事・その理由（自由回答）

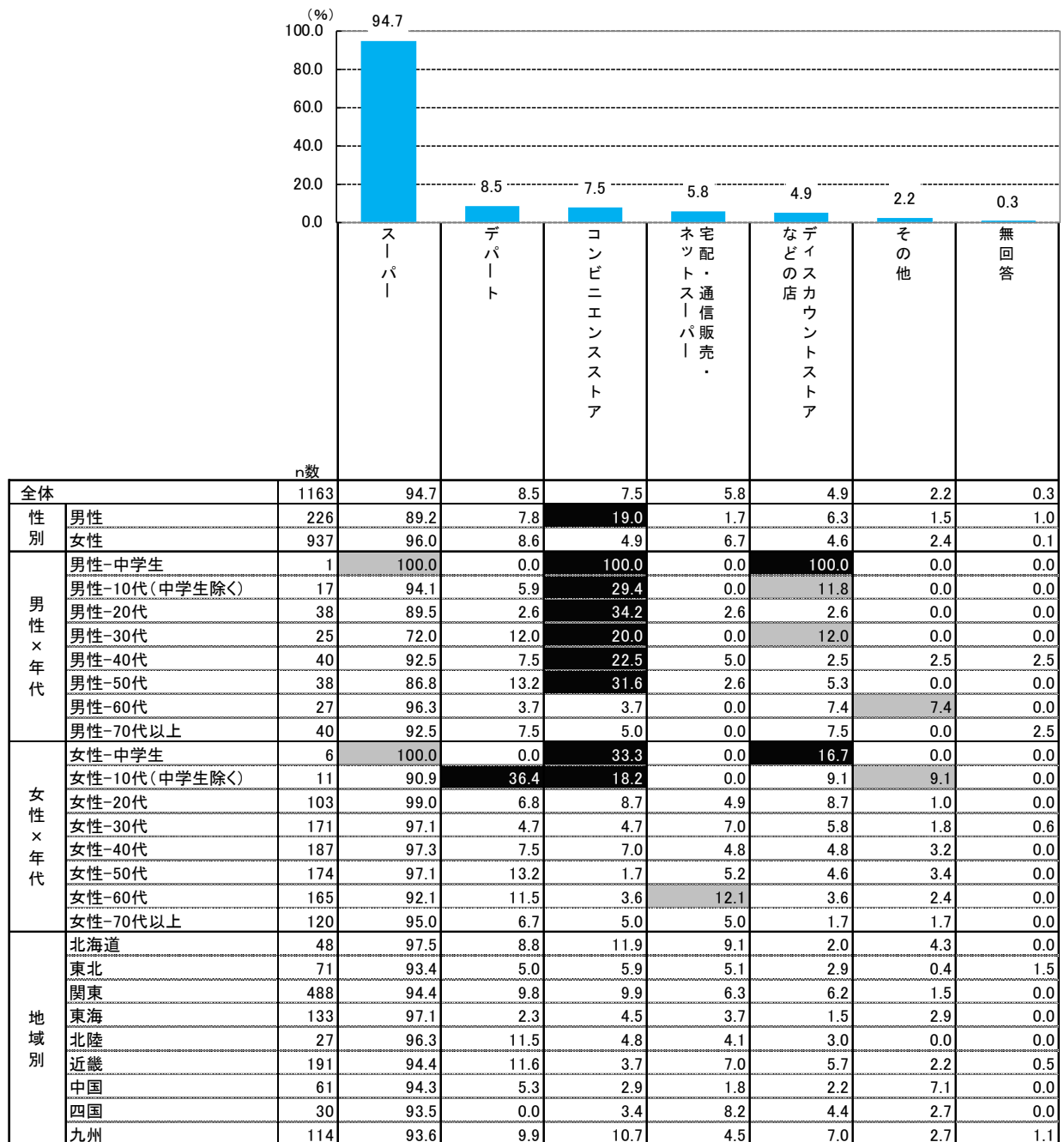
順位	問28-1 国産チーズ購入で意識する事	件
1	安全・安心感がある	160
2	美味しい、新鮮	34
3	値段が安い・手頃な価格	31
4	メーカー・商品を決めている（いつも買っている）	27
5	大手メーカーは安全・安心感がある	19
6	国産ならばメーカーの規模は関係ない、メーカーは関係ない	15
6	食べなれている	15
8	特に理由はない・こだわりはない	13
9	好みに合っている	12
10	国産が好き	10
11	売られている物を選ぶ・店頭にある物から気分で選ぶ	9
11	品質の良さで決める	9
13	食べやすさ・使い易さ（個別包装、味）	8
14	スーパーやコンビニで売っているから	7
15	原材料を確認して決める・添加物が少ないもの	5
16	種類の豊富さ	4
16	店には大手メーカーのものしかない	4
18	どこも変わらない	3
18	産地を気にする	3
18	評判が良い	3
18	身内に関係者がいる	3
18	用途に応じて選ぶ	3
23	テレビ等で見たものを買う	2
23	パッケージや見た目の良さ	2
25	味にクセがない	1
26	小さなメーカーや工場の方が良い（品質・作り方）	0
26	健康のため	0
26	小さなメーカーは高い	0
-	その他	4

(8) チーズの購入場所

■チーズの購入場所を質問したところ、全体では「スーパー」が95%にのぼった。この他の購入場所は少なく、いずれも1割を下回る。

■性別では、男性で「コンビニエンスストア」が19%にのぼり、全体より10ポイント以上高い。

【図表VI-2-14】性・年代別・地域別 問29 チーズの購入場所（MA）＜チーズ購入者ベース＞



※ = 全体より、10%以上高い

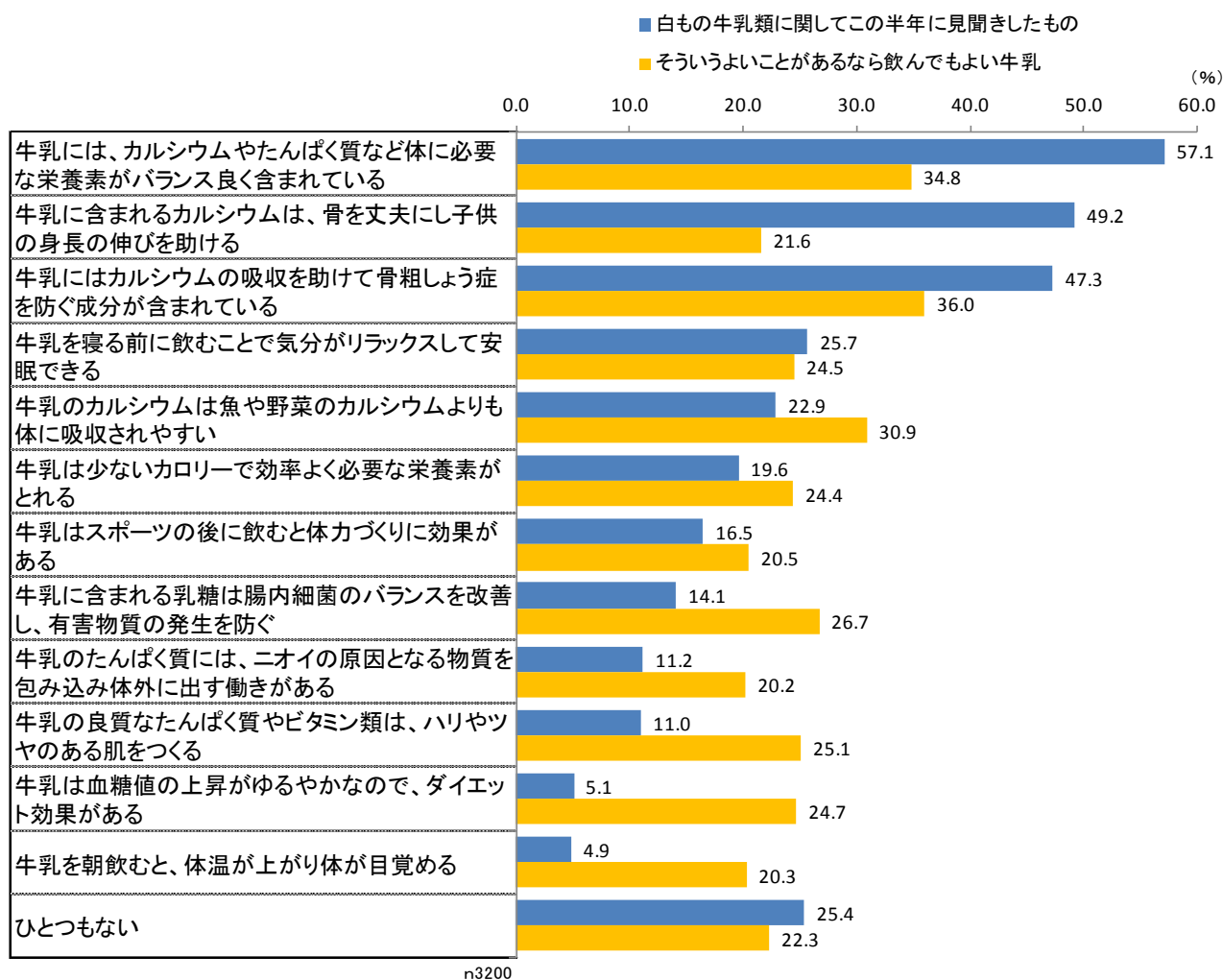
 = 全体より、5%以上高い

VII. 白ものの牛乳類のベネフィットについての認識

1. 白ものの牛乳類のベネフィットについての認識

- 「この半年くらいの間に見たり聞いたりしたもの」「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」について質問した。
- 見聞きしたことがあるものは、「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」が57%で最も多かった。これに、「牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子どもの身長を助ける」が49%、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」が47%で続いている。
- 「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものでは、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」が36%と最も多かった。これに「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」が35%、「牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい」が31%で続いている。全般的に、カルシウムに関連するニーズが高いといえる。
- また、現状ではあまり見聞されていないもののニーズの高さがうかがえるものは、「牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し、有害物質の発生を防ぐ」「牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる」「牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、「牛乳を朝飲む」と、体温が上がり体が目覚める」などで、これらのベネフィットは、今後の牛乳普及のための効果的な訴求ポイントであり、広報活動で活用すべきだと考えられる。

【図表VII-1】 問30 見聞きしたことのある白ものの牛乳類のベネフィットとニーズ（MA）

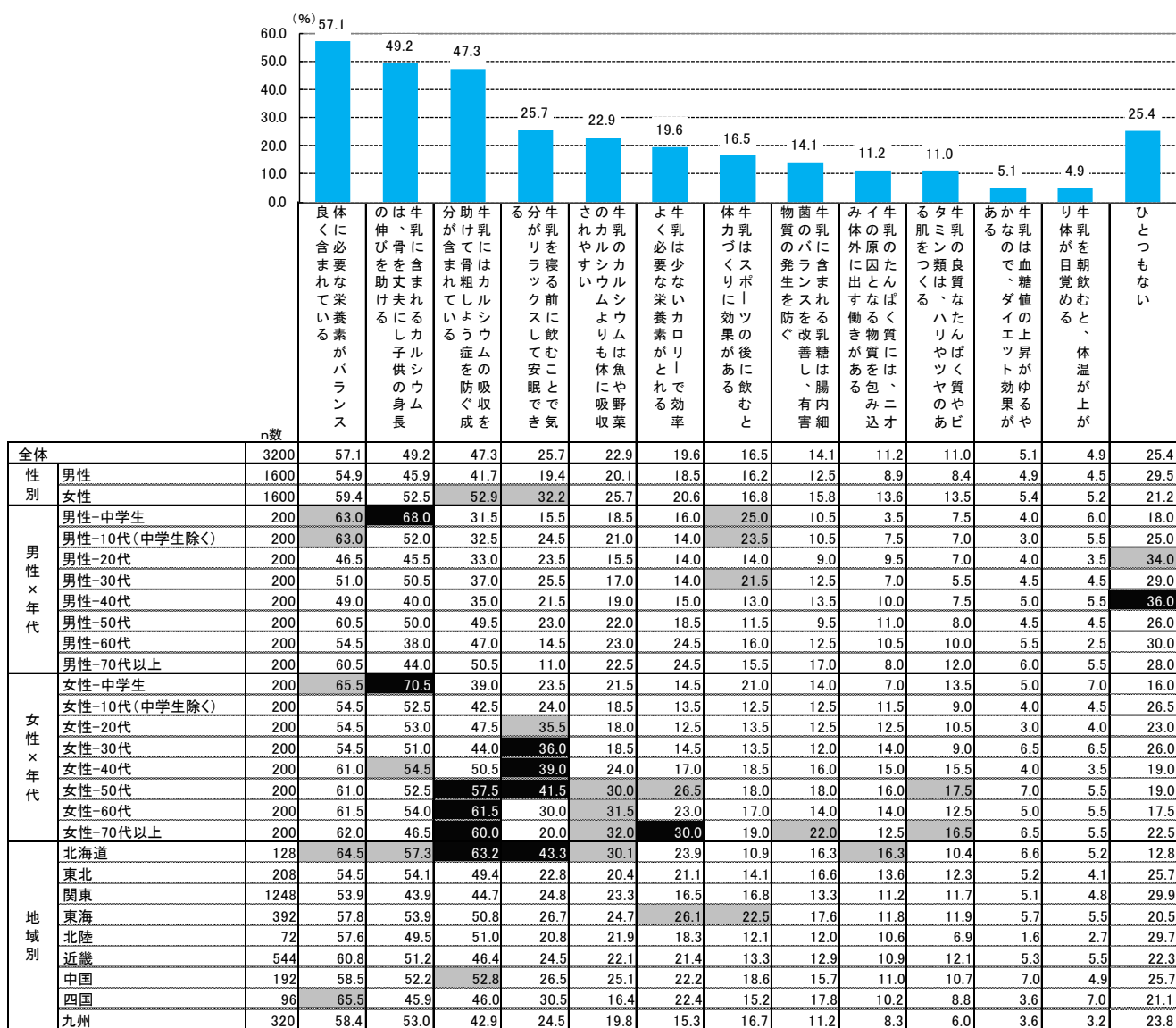


2. 見聞きしたことのある白ものの牛乳類のベネフィット

■白ものの牛乳類に関してこの半年くらいの間に見たり聞いたりしたものについて、性別でみると、女性は男性に比べ、「カルシウム（骨を丈夫にする、骨粗しょう症防止等）」や「リラックス効果」について見聞きしている割合が高い。

■性年代別では、男女中学生で「牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長の伸びを助ける」、女性30～50代で「牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる」、女性50代以上で「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」が、それぞれ全体を10ポイント以上上回っている。

【図表VII-2】性・年代別・地域別 問30（1） 白ものの牛乳類に関してこの半年に見聞きしたもの（MA）



※ 黒色 = 全体より、10%以上高い 灰色 = 全体より、5%以上高い

■「そういうよいことがあるなら飲んでよいと思う牛乳」について性別でみると、「牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる」は女性で高く、男性よりも20ポイント以上上回る。また、「牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある」でも、女性の方が男性より10ポイント以上上回って高くなっている。

■性年代別でみると、「美肌効果」「ダイエット効果」は50代以下の女性で高いニーズを示している。また、「骨を丈夫にし身長の伸びを助ける」は男女中学生、男性10代、女性30代で、「体力づくりに効果がある」は男子中学生と男性10代で、ニーズが高い。

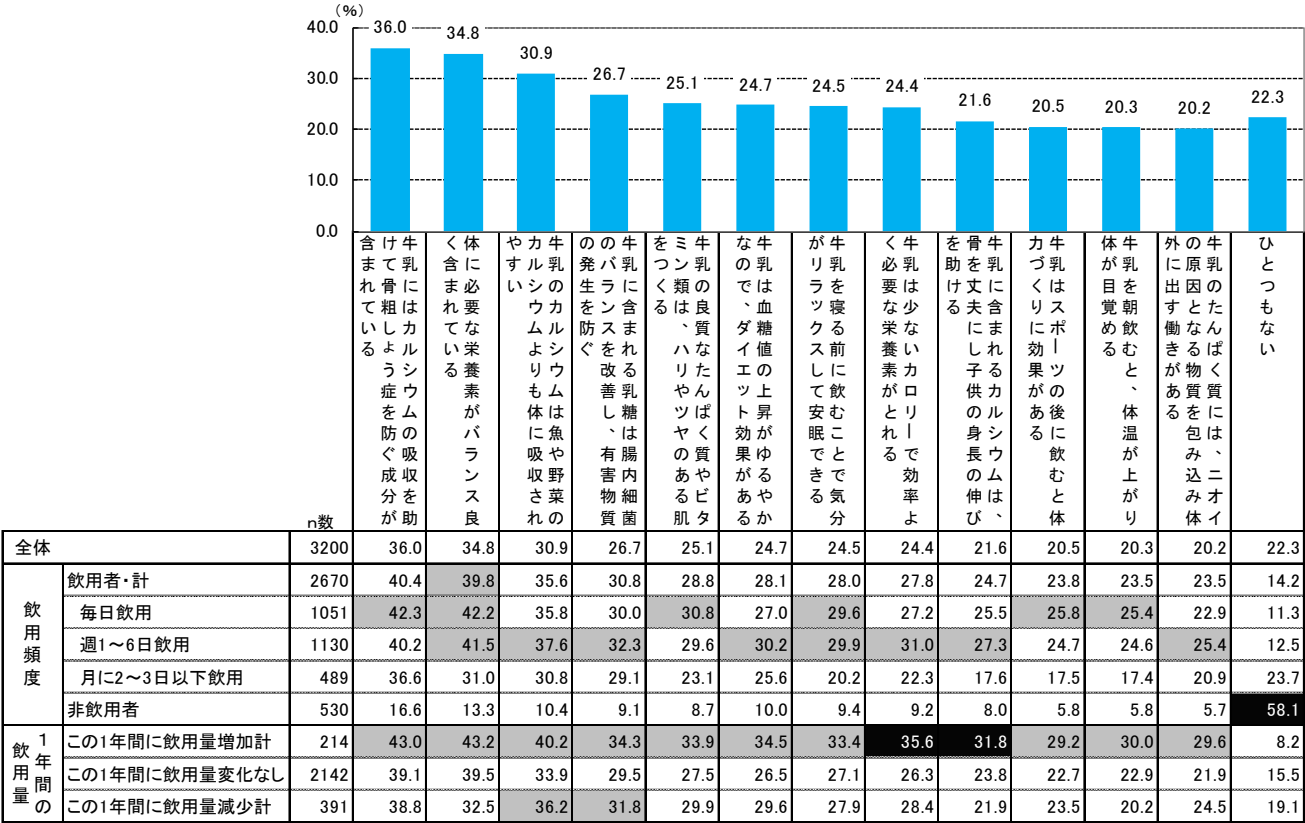
効果	効果の割合 (%)
牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている	36.0
体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	34.8
牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい	30.9
牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し、有害物質の発生を防ぐ	26.7
牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる	25.1
牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある	24.7
牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる	24.5
牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれる	24.4
牛乳には含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長を伸ばすのを助ける	21.6
牛乳はスポーツの後に飲むと体力づくりに効果がある	20.5
牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める	20.3
牛乳のたんばく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある	20.2
ひとつもない	22.3

全体		人数	3200	36.0	34.8	30.9	26.7	25.1	24.7	24.5	24.4	21.6	20.5	20.3	20.2	22.3
性別	男性	1600	31.4	33.3	29.6	25.4	13.9	18.9	23.7	23.1	19.3	21.3	17.3	20.0	25.7	
	女性	1600	40.6	36.4	32.2	28.1	36.3	30.6	25.3	25.7	24.0	19.6	23.2	20.4	18.9	
男性×年代	男性-中学生	200	25.5	42.0	37.0	21.0	11.5	14.0	26.5	25.0	52.0	51.5	26.0	18.5	14.0	
	男性-10代(中学生除く)	200	18.5	38.5	27.5	23.5	16.5	17.0	22.0	23.5	35.5	42.0	25.5	23.0	18.0	
	男性-20代	200	26.0	30.0	25.5	25.0	12.0	20.5	26.5	27.0	17.5	23.5	23.5	19.5	25.5	
	男性-30代	200	28.0	32.5	26.5	27.0	15.0	23.0	29.0	23.0	21.0	24.0	19.0	29.5	26.0	
	男性-40代	200	35.5	36.0	35.5	33.5	24.0	26.5	29.0	28.5	21.0	25.0	19.5	23.0	23.0	
	男性-50代	200	27.5	33.0	29.5	26.5	13.0	19.5	22.0	20.0	14.5	20.5	17.0	20.5	27.0	
	男性-60代	200	35.0	30.0	30.5	23.5	11.5	17.5	19.5	21.0	13.0	13.5	11.0	15.5	29.0	
	男性-70代以上	200	38.5	34.0	28.5	20.0	9.0	10.5	18.0	20.0	15.5	10.5	12.0	13.0	28.5	
女性×年代	女性-中学生	200	28.0	40.0	29.0	24.0	33.0	34.0	27.0	30.0	43.0	30.0	25.5	20.0	11.0	
	女性-10代(中学生除く)	200	20.0	33.0	25.0	17.5	35.5	39.5	28.0	25.5	22.5	24.5	23.5	21.0	19.5	
	女性-20代	200	33.0	34.5	32.5	32.5	46.5	42.0	30.5	29.0	26.0	17.5	28.0	28.0	20.5	
	女性-30代	200	32.5	31.5	37.5	33.0	44.5	42.5	23.0	24.5	35.0	25.5	28.0	23.0	16.0	
	女性-40代	200	45.5	39.0	37.0	31.0	43.5	35.5	29.0	27.0	30.0	28.5	28.5	24.0	16.0	
	女性-50代	200	45.5	37.5	33.0	33.5	40.5	31.0	26.0	29.0	22.0	21.0	23.5	24.5	18.0	
	女性-60代	200	48.0	39.5	30.5	25.5	26.0	23.0	25.5	24.5	17.0	11.5	15.5	16.5	16.5	
	女性-70代以上	200	45.5	36.0	27.0	20.5	24.0	13.0	19.5	21.0	12.5	11.5	18.0	11.0	27.0	
地域別	北海道	128	37.6	35.7	36.0	29.2	28.2	36.5	25.5	28.4	22.4	22.8	18.5	22.1	22.0	
	東北	208	40.0	37.9	34.9	23.2	26.7	27.8	27.3	28.7	21.5	17.0	19.1	20.9	16.4	
	関東	1248	36.7	34.4	32.3	29.5	25.5	25.6	26.0	24.0	21.2	22.6	21.9	22.8	24.2	
	東海	392	32.5	32.7	24.1	20.7	19.9	18.1	21.5	21.7	19.1	17.4	15.1	15.0	19.4	
	北陸	72	34.7	29.5	23.9	24.8	28.3	26.9	23.0	21.6	22.7	21.1	17.2	21.6	21.0	
	近畿	544	38.9	39.7	36.5	25.1	24.6	23.5	24.8	26.7	23.5	20.1	20.6	17.8	19.2	
	中国	192	34.6	33.3	24.5	29.8	33.3	27.3	21.8	19.8	21.5	19.3	22.7	18.5	30.1	
	四国	96	32.0	34.6	28.4	32.6	23.8	24.4	19.8	28.0	24.2	19.1	26.7	20.8	28.6	
	九州	320	31.2	30.8	25.8	24.4	22.8	22.8	23.0	23.0	22.0	18.8	18.3	19.8	21.6	

＝全体より、5%以上高い

- 「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものについて、飲用行動別にみると、この1年間に白もの牛乳類の飲用量が増えた人では、全ての項目で全体を上回る高い値を示しており、牛乳の持つ長所に高いニーズを示している。毎日飲用する人も、カルシウム、栄養バランス、美肌効果等の点において、ニーズが高くなっている。
- 一方、非飲用者の58%は、「ひとつもない」と答えている。

【図表Ⅶ-3-2】 飲用行動別 問30（2） そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳（MA）



※ = 全体より、10%以上高い = 全体より、5%以上高い

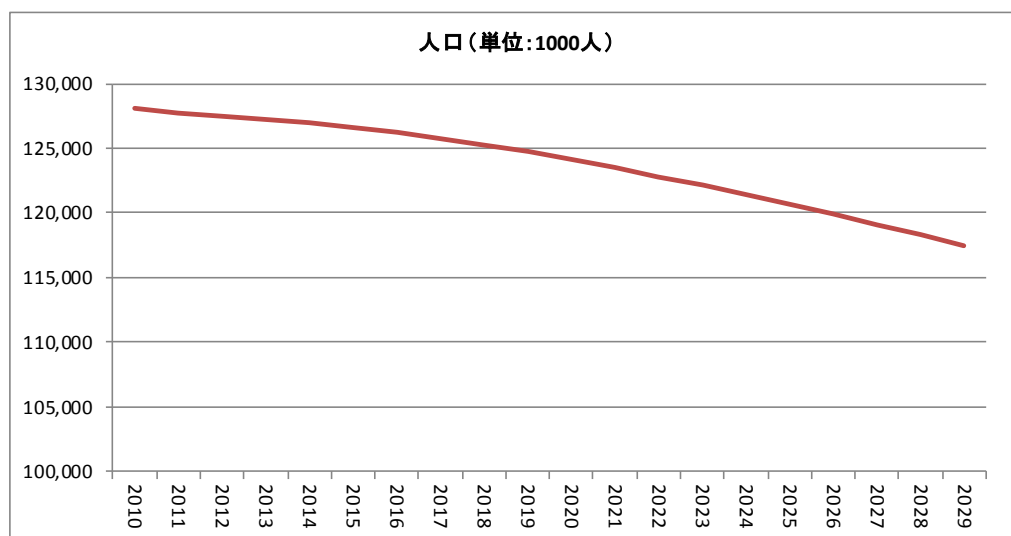
Ⅷ. 我が国の人口動向、諸外国の消費動向

1. 我が国の人口動向

■我が国の人口は2012年時点で約1億2750万人である。今後、我が国は人口減少が予測され、2020年には約1億2410万人、2012年との比較では▲2.7%となると考えられている。牛乳・乳製品も人口減少の影響から、消費市場の縮小が懸念される。また年代別では0～14歳の割合が減少する一方、65歳以上の高齢者が大きく増加することへの対応が必要である。

■一方、世帯数に関しては、核家族化や晩婚化、高齢者単独世帯の増加などの背景があると考えられ、世帯数は緩やかに増加していき、2020年まで対前年比はプラスとなることが予測される。このことから牛乳・乳製品に関しては、容量の少量化や多品種少量生産などの少人数家族への対応が求められることが考えられる。

【図表Ⅷ-1-1】我が国の将来人口予測



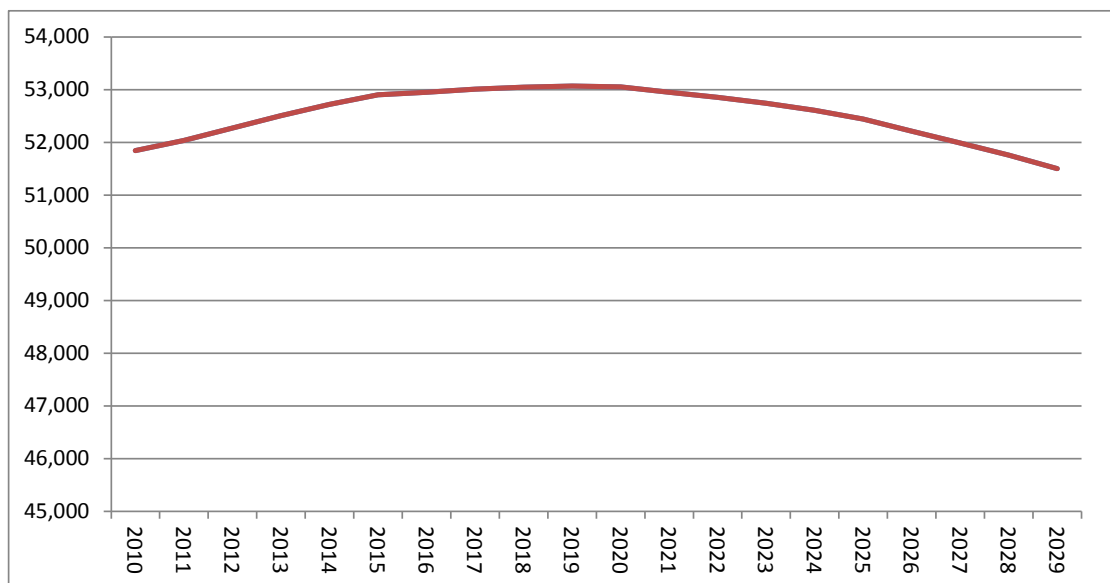
※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」

【図表Ⅷ-1-2】我が国の将来人口予測（詳細）

年次	人口(1,000人)				割合(%)		
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成 22 (2010)	128,057	16,839	81,735	29,484	13.1	63.8	23.0
23 (2011)	127,753	16,685	81,303	29,764	13.1	63.6	23.3
24 (2012)	127,498	16,493	80,173	30,831	12.9	62.9	24.2
25 (2013)	127,247	16,281	78,996	31,971	12.8	62.1	25.1
26 (2014)	126,949	16,067	77,803	33,080	12.7	61.3	26.1
27 (2015)	126,597	15,827	76,818	33,952	12.5	60.7	26.8
28 (2016)	126,193	15,574	75,979	34,640	12.3	60.2	27.5
29 (2017)	125,739	15,311	75,245	35,182	12.2	59.8	28.0
30 (2018)	125,236	15,056	74,584	35,596	12.0	59.6	28.4
31 (2019)	124,689	14,800	74,011	35,877	11.9	59.4	28.8
32 (2020)	124,100	14,568	73,408	36,124	11.7	59.2	29.1
33 (2021)	123,474	14,318	72,866	36,290	11.6	59.0	29.4
34 (2022)	122,813	14,049	72,408	36,356	11.4	59.0	29.6
35 (2023)	122,122	13,766	71,920	36,436	11.3	58.9	29.8
36 (2024)	121,403	13,505	71,369	36,529	11.1	58.8	30.1
37 (2025)	120,659	13,240	70,845	36,573	11.0	58.7	30.3
38 (2026)	119,891	12,959	70,349	36,584	10.8	58.7	30.5
39 (2027)	119,102	12,706	69,799	36,597	10.7	58.6	30.7
40 (2028)	118,293	12,466	69,187	36,640	10.5	58.5	31.0
41 (2029)	117,465	12,242	68,522	36,701	10.4	58.3	31.2

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」

【図表Ⅷ-1-3】我が国の将来世帯数予測



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」(2013(平成25)年1月推計)

【図表Ⅷ-1-4】我が国の将来世帯数予測 (詳細)

年 次	一般世帯数（1,000世帯）							一般世帯 人 員 (1,000人)	平均世帯 人員 (人)
	総 数	単 独	核 家 族 世 帯				その他		
			総 数	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親 と子			
平成 22 (2010)	51,842	16,785	29,278	10,269	14,474	4,535	5,779	125,546	2.42
23 (2011)	52,033	16,923	29,455	10,376	14,457	4,622	5,655	125,218	2.41
24 (2012)	52,271	17,100	29,644	10,510	14,419	4,716	5,527	124,937	2.39
25 (2013)	52,503	17,279	29,824	10,639	14,377	4,808	5,400	124,660	2.37
26 (2014)	52,717	17,460	29,984	10,760	14,327	4,897	5,273	124,340	2.36
27 (2015)	52,904	17,637	30,116	10,861	14,274	4,982	5,150	123,968	2.34
28 (2016)	52,950	17,757	30,148	10,889	14,204	5,055	5,045	123,535	2.33
29 (2017)	53,006	17,895	30,177	10,932	14,113	5,132	4,934	123,051	2.32
30 (2018)	53,046	18,029	30,196	10,972	14,018	5,206	4,821	122,524	2.31
31 (2019)	53,065	18,156	30,202	11,010	13,918	5,274	4,707	121,961	2.30
32 (2020)	53,053	18,270	30,189	11,037	13,814	5,338	4,594	121,356	2.29
33 (2021)	52,949	18,348	30,096	11,013	13,696	5,387	4,505	120,706	2.28
34 (2022)	52,853	18,440	30,000	11,003	13,559	5,437	4,413	120,018	2.27
35 (2023)	52,739	18,524	29,896	10,995	13,418	5,483	4,319	119,307	2.26
36 (2024)	52,606	18,598	29,784	10,987	13,276	5,522	4,223	118,578	2.25
37 (2025)	52,439	18,648	29,664	10,973	13,132	5,558	4,127	117,824	2.25
38 (2026)	52,214	18,664	29,496	10,929	12,988	5,579	4,053	117,039	2.24
39 (2027)	51,989	18,687	29,324	10,891	12,827	5,605	3,979	116,216	2.24
40 (2028)	51,755	18,708	29,145	10,855	12,664	5,626	3,902	115,378	2.23
41 (2029)	51,501	18,716	28,961	10,815	12,500	5,646	3,824	114,522	2.22

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計 (全国推計)」(平成25年1月推計)

2. 諸外国の消費動向

■世界の牛乳・乳製品の消費動向を見てみる。米国農務省によると、北米・南米・EU・アジア等の諸外国の牛乳の消費量は、2015年は1億8352万トンとなるものと予測しており、増加傾向は続いており2010年から8.3%増になる。同様にチーズの消費量は2010年⇒2015年で6.0%増、2015年は1739.2万トン、バターは2010年⇒2015年で17.4%増、2014年は918.4万トンの予測となっている。世界的な視点でみると、牛乳・乳製品の消費量は増加傾向が続いている。

【図表Ⅷ-2-1】世界の牛乳の消費量

※単位：千トン

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
North America						
Canada	3,184	3,164	3,040	2,982	2,946	2,946
Mexico	5,167	4,100	4,168	4,160	4,180	4,185
United States	28,952	28,449	28,353	28,294	29,000	29,798
Sub-total	37,303	35,713	35,561	35,436	36,126	36,929
South America						
Argentina	2,130	2,093	2,133	2,065	2,045	2,107
Brazil	11,278	11,429	11,712	12,000	12,390	12,858
Sub-total	13,408	13,522	13,845	14,065	14,435	14,965
European Union	33,738	33,870	33,800	33,800	34,466	33,900
Former Soviet Union						
Russia	11,775	11,650	11,000	10,150	9,825	9,625
Ukraine	5,342	5,442	5,588	5,316	5,580	5,750
Sub-total	17,117	17,092	16,588	15,466	15,405	15,375
South Asia						
India	49,140	51,660	52,000	54,400	57,000	59,547
Asia						
China	12,060	12,600	13,517	14,350	15,111	15,744
Japan	4,150	4,058	4,045	3,975	3,915	3,890
Sub-total	16,210	16,658	17,562	18,325	19,026	19,634
Oceania						
Australia	2,284	2,422	2,511	2,494	2,600	2,675
New Zealand	300	300	425	450	494	495
Sub-total	2,584	2,722	2,936	2,944	3,094	3,170
TOTAL SELECTED COUNTRIES	169,500	171,237	172,292	174,436	179,552	183,520

※米国農務省「World Markets and Trade」December 2014、2014年：Preliminary、2015年：Forecast.

【図表Ⅷ-2-2】世界のチーズの消費量

※単位：千トン

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
North America						
Canada	400	395	400	412	403	402
Mexico	338	344	349	368	369	373
United States	4,638	4,716	4,786	4,837	4,913	4,925
Sub-total	5,376	5,455	5,535	5,617	5,685	5,700
South America						
Argentina	490	514	513	505	500	511
Brazil	666	715	724	750	755	770
Sub-total	1,156	1,229	1,237	1,255	1,255	1,281
European Union	8,367	8,374	8,597	8,656	8,816	8,936
Former Soviet Union						
Russia	780	759	789	782	668	695
Ukraine	144	117	95	88	88	88
Sub-total	924	876	884	870	756	783
Asia						
Japan	247	260	282	285	280	285
Korea	88	101	101	107	118	123
Sub-total	335	361	383	392	398	408
Oceania						
Australia	225	256	240	220	237	245
New Zealand	24	30	39	39	39	39
Sub-total	249	286	279	259	276	284
TOTAL SELECTED COUNTRIES	16,407	16,581	16,915	17,049	17,186	17,392

※米国農務省「World Markets and Trade」December 2014、2014年：Preliminary、2015年：Forecast.

【図表Ⅷ-2-3】世界のバターの消費量

※単位：千トン

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
North America						
Canada	90	97	99	102	96	96
Mexico	231	223	226	234	217	227
United States	683	757	792	782	782	854
Sub-total	1,004	1,077	1,117	1,118	1,095	1,177
South America						
Argentina	37	35	38	41	43	41
Brazil	75	78	88	87	87	90
Sub-total	112	113	126	128	130	131
European Union	1,934	1,982	2,027	2,031	2,094	2,170
Former Soviet Union						
Russia	324	334	340	361	363	368
Ukraine	84	78	96	100	112	111
Sub-total	408	412	436	461	475	479
Asia						
India	4,170	4,320	4,525	4,735	4,875	5,025
Japan	86	83	77	72	70	72
Taiwan	17	20	20	19	18	17
Sub-total	4,273	4,423	4,622	4,826	4,963	5,114
Oceania						
Australia	73	78	82	85	90	91
New Zealand	20	20	21	22	22	22
Sub-total	93	98	103	107	112	113
TOTAL SELECTED COUNTRIES	7,824	8,105	8,431	8,671	8,869	9,184

※米国農務省「World Markets and Trade」December 2014、2014年：Preliminary、2015年：Forecast.

■1人あたりの牛乳・乳製品の供給量を見ると（国際連合のデータベース「FAOSTAT」）、全世界では増加の傾向が見られる。ただし、日本では、特に牛乳・チーズの供給量が減少傾向にあり、今後、人口減少・少子高齢化が進行することが予想される中、さらに減少するものと思われる。

【図表Ⅷ-2-4】世界の牛乳・チーズ・バター、1人1日あたりの供給量

牛乳

※単位：グラム口

地 域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	日本を100とした場合(%)
Japan	136.32	136.60	136.22	138.15	136.39	133.14	131.04	132.57	134.00	127.00	100.0
World + (Total)	122.79	124.26	121.48	124.14	127.99	130.13	131.99	137.29	137.00	139.00	109.4
Europe + (Total)	260.18	258.05	256.62	254.25	256.76	260.98	247.71	254.62	245.00	250.00	196.9
European Union + (Total)	228.05	223.71	232.75	224.09	225.35	221.60	212.02	213.83	214.00	208.00	163.8
Americas + (Total)	265.75	276.97	259.89	259.49	269.30	262.84	262.49	280.04	267.00	270.00	212.6
Asia + (Total)	74.31	74.46	74.23	79.14	83.36	87.97	93.06	96.49	99.00	101.00	79.5
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	89.46	90.81	92.55	94.45	93.71	93.42	99.29	101.93	117.00	118.00	92.9

チーズ

※単位：グラム口

地 域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	日本を100とした場合(%)
Japan	7.13	6.99	7.00	6.80	7.34	7.14	7.09	7.49	7.00	7.00	100.0
World + (Total)	7.32	7.47	7.54	7.56	7.61	7.70	7.69	7.77	8.00	8.00	114.3
Europe + (Total)	30.47	32.05	32.73	33.16	33.62	34.58	35.24	36.16	36.00	36.00	514.3
European Union + (Total)	41.40	42.75	43.14	43.05	43.39	44.11	44.90	45.85	45.00	45.00	642.9
Americas + (Total)	18.55	18.57	18.55	18.40	18.45	18.50	18.25	18.43	19.00	19.00	271.4
Asia + (Total)	1.08	1.07	1.07	1.07	1.19	1.21	1.19	1.22	1.00	1.00	14.3
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	2.40	2.37	2.49	2.74	2.58	2.54	2.53	2.64	3.00	3.00	42.9

バター

※単位：グラム口

地 域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	日本を100とした場合(%)
Japan	1.90	1.73	1.88	2.00	1.86	1.93	1.83	1.92	2.00	2.00	100.0
World + (Total)	3.28	3.36	3.45	3.50	3.52	3.55	3.61	3.60	4.00	4.00	200.0
Europe + (Total)	9.65	9.71	9.75	9.91	9.44	9.35	9.76	9.41	9.00	9.00	450.0
European Union + (Total)	11.46	11.21	11.14	11.18	10.93	10.88	11.23	10.81	10.00	10.00	500.0
Americas + (Total)	3.04	3.03	3.08	3.08	3.20	3.07	3.01	3.00	3.00	3.00	150.0
Asia + (Total)	2.50	2.66	2.81	2.86	3.00	3.09	3.16	3.25	3.00	3.00	150.0
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	2.18	2.13	2.18	2.22	2.18	2.23	2.17	2.17	2.00	2.00	100.0

※項目：Food supply quantity(単位：grams/capita/day)

※出典：FAOSTAT | © FAO Statistics Division

調查票、參考資料

■■■■ご記入にあたって■■■■

1. 各質問の回答は、あなたのご意見に最も近いものを選び、質問の最後に(1つだけ○印)とあれば「1つだけ」、(いくつでも○印)とあれば「いくつでも」あてはまる番号を○で囲んでください。
2. 「その他」に該当する場合は番号を○で囲み、()内に具体的な内容をご記入ください。
3. ほとんどの質問が回答を選んでいただくものですが、数字をご記入いただく質問もあります。
4. 質問によってはご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)や【 】の指示に従ってお進みください。

■■■■白もの牛乳類(注)についてお聞きします。■■■■

(注)ここでのいう白もの牛乳類とは、生乳100%の普通の牛乳や、成分調整牛乳、低脂肪牛乳、機能強化牛乳(カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの)などの白い牛乳類をいいます。市販のいわゆるコーヒー牛乳やフルーツ牛乳などは含みません。

【全ての方に】

問1 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をお飲みになりますか。

コーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、シリアル(オートミール、コーンフレーク等)にかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めてお答えください。
ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除きます。(1つだけ○印)

- | | | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 毎日飲む | 2. 週に5～6日飲む | 3. 週に3～4日飲む | 4. 週に1～2日飲む | 5. 月に2～3日飲む |
| 6. それ以下しか飲まない | 7. 全く飲まない | | | |

■■■■白もの牛乳類の飲み方についてお聞きします。■■■■

【全ての方に】

問2 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をそのままお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。
コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたり、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除いてお答えください。
ただし、あたためたり、氷を入れたり、砂糖・ハチミツ等甘味料だけを加えたりする飲み方は、そのまま飲む飲み方に含めます。

		そのまま飲む						
		毎日飲む	5週に6日飲む	3週に4日飲む	1週に2日飲む	2月に3日飲む	飲まれない下しか	全く飲まない
(それぞれ1つずつ○印)								
ア) 夏場は		1	2	3	4	5	6	7
イ) 冬場は		1	2	3	4	5	6	7
ウ) 年間平均すると		1	2	3	4	5	6	7

【全ての方に】

問3 では、あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をコーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れて、または、牛乳に他のものを混ぜてお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

		他のものと混ぜて飲む						
		毎日飲む	5週に6日飲む	3週に4日飲む	1週に2日飲む	2月に3日飲む	飲まれない下しか	全く飲まない
(それぞれ1つずつ○印)								
ア) 夏場は		1	2	3	4	5	6	7
イ) 冬場は		1	2	3	4	5	6	7
ウ) 年間平均すると		1	2	3	4	5	6	7

白もの牛乳類を全く飲まない方(問1で「7」とお答えの方)は、問7にお進みください。

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問4 あなたは、白もの牛乳類を飲むときは1日に合計でどれくらいの量を飲みますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

コーヒーなどの飲み物に入れたり、シリアルにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、「牛乳ビン1本分200ml」を目安としてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使っているものは除きます。

	1日に白もの牛乳類を飲む量							
	50 ml 未満	50 ml くらい	100 ml (牛乳 ビン 半分)	200 ml (牛乳 ビン 1本)	400 ml (牛乳 ビン 2本)	600 ml (牛乳 ビン 3本)	800 ml (牛乳 ビン 4本)	1 l (牛乳 ビン 5本) 以上
ア) 夏場は	1	2	3	4	5	6	7	8
イ) 冬場は	1	2	3	4	5	6	7	8
ウ) 年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7	8

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問5 あなたは、ふだん、白もの牛乳類をどのような時に飲みますか。そのまま飲む以外の場合も含めて、次の中からすべてお知らせください。（いくつでも○印）

1. 朝、起きぬけに	7. おやつや、間食時	13. 勉強や仕事をしながら
2. 朝食をとりながら	8. 夜食時	14. レジャーやスポーツ時
3. 朝食後	9. 風呂上り	15. くつろいでいる時
4. 朝食代わりに	10. 夜寝る前	16. 乗り物での移動中
5. 昼食時	11. のどが渇いた時	17. 来客時
6. 夕食時	12. ちょっとおながすいた時	18. その他()

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問6 あなたが白もの牛乳類を飲む理由は何ですか。次の中から、いくつでもお答えください。（いくつでも○印）

1. おいしいから	12. 良質のタンパク質があるから
2. 好きだから	13. 美容によいから
3. 栄養があるから	14. 便秘に効果があるから
4. カルシウムがあるから	15. 健康によいから
5. 朝食など食事代わりに	16. ぐっすり眠るために
6. 水などの代わりに	17. 気持ちをリラックスさせるために
7. 他のものと混ぜたり、他のものにかけたりするため	18. 背が高くなりたいから
8. 習慣で	19. 医師など医療関係者がすすめるから
9. いつも家にあるから	20. 他の飲み物に比べて安いから
10. 家族がすすめるから	21. その他()
11. 骨粗しょう症が心配だから	

■■■この1年間の白もの牛乳類の飲み方の変化についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問7 あなたは、この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えましたか、それとも減りましたか。（ア）そのまま飲む場合、（イ）混ぜて飲む場合、（ウ）全体では、それぞれについてお知らせください。

	非飲 むに 量 増 え た	や飲 む 量 増 え た	変 わ ら な い	や飲 む 量 減 つ た	非飲 むに 量 減 つ た	飲こ まの な1 く年 なつ て全 く	飲牛 ま乳 ない も と も
ア) そのまま飲む場合	1	2	3	4	5	6	7
イ) 混ぜて飲む場合	1	2	3	4	5	6	7
ウ) 全体では	1	2	3	4	5	6	7

問9へ

問8へ

問7の(ウ)で「1」「2」「3」とお答えの方

全体では「飲む量が非常に増えた」「飲む量がやや増えた」「変わらない」方
⇒問9へ

問7の(ウ)で「4」「5」「6」「7」とお答えの方

全体では「飲む量がやや減った」「飲む量が非常に減った」「この1年くらいで全く飲まなくなった」「牛乳はもともと飲まない」方
⇒問8へ

【牛乳を飲む量が減った方／飲まない方（問7の「ウ」で4、5、6、7」とお答えの方）に】

問8 次のア)～ソ)のことがらは、あなたの牛乳を飲む量が減った理由、あるいはあなたが牛乳を飲まない理由としてどのくらいあてはまりますか。それぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらとも	あてはまらない	あてはまらない
(それぞれ1つずつ○印) →					
ア) 牛乳は味にクセがあるから	1	2	3	4	5
イ) 牛乳のニオイが嫌いだから	1	2	3	4	5
ウ) 牛乳は飲んだあと口に残るから	1	2	3	4	5
エ) 牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなるから	1	2	3	4	5
オ) 牛乳を飲むと太ると思うから	1	2	3	4	5
カ) 牛乳はコレステロールが気になるから	1	2	3	4	5
キ) 牛乳は日持ちしないから	1	2	3	4	5
ク) 牛乳は持ち歩けないから	1	2	3	4	5
ケ) 自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がないから	1	2	3	4	5
コ) 飲みたい牛乳がないから	1	2	3	4	5
サ) 牛乳が体によくないという情報を本などで得たから	1	2	3	4	5
シ) 医者に言われたから	1	2	3	4	5
ス) 牛乳アレルギーがあるから	1	2	3	4	5
セ) 価格が高くなったため牛乳を買い控えるようになったから	1	2	3	4	5
ソ) いつもの年より夏が暑かったから	1	2	3	4	5

【全ての方に】

問9 あなたは、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思いますか。「1 とても飲みたい」から「5 全く飲みたいくない」までの数字の中から1つお選び下さい。(1つだけ○印)

1. とても飲みたい 2. まあ飲みたい 3. どちらともいえない 4. あまり飲みたいくない 5. 全く飲みたいくない

■■■■白物の牛乳類の購入についてお聞きします。■■■■

【全ての方に】

問10 お宅では、ふだん白物の牛乳類をどのくらいの頻度で購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。(1つだけ○印)

1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回位 3. 週に1回位 4. 2週間に1回位 5. 月に1回位
6. ほとんど買わない 7. わからない

【全ての方に】

問11 お宅では、平均すると1週間に白物の牛乳類をどのくらい購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。
下記の記入例に従い、リットルを単位として小数点以下1位までお答えください。なお、白物の牛乳類を全く買わない場合は「0」とお書きください。わからない場合は、「* わからない」をお選びください。

<記入例>

1週間に1リットルパックを2本と200ml瓶を3本買っている場合(100mlは0.1 リットルです)

約 . リットル

1週間に購入する量の合計 → 約 . リットル

* わからない

【全ての方に】

問12 お宅では、ふだんあなたが白もの牛乳類を購入していますか。あてはまる方についてすべてお答えください。
(いくつでも○印)

1. 自分(本人)	2. 自分以外の同居している家族	3. その他()
-----------	------------------	-----------

⇒「1 自分(本人)」を選んだ方は問13へ

⇒「1 自分(本人)」を選ばなかった方は問16へ

【ご自分で白もの牛乳を購入する方(問12で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問13 では、この1年くらいの間に、あなたの白もの牛乳の「買い方」は変わりましたか。(1つだけ○印)

1. 購入する牛乳の銘柄を安いものに変えた	4. 牛乳以外の飲み物を購入し、代用するようになった
2. 牛乳を購入する頻度を減らした	5. これまでと変わらない
3. 1回に購入する牛乳の量を減らした	6. いずれもあてはまらない

【ご自分で白もの牛乳を購入する方(問12で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問14 あなたがふだん主に購入している白もの牛乳は、次のどれですか。(1つだけ○印)

1. 生乳100%の普通の牛乳 ⇒問16へ	2. 成分調整牛乳 ⇒問15へ
3. 低脂肪牛乳 ⇒問15へ	4. その他の白もの牛乳 ⇒問16へ

【問14で「2 成分調整牛乳」または「3 低脂肪牛乳」とお答えの方に】

問15 あなたはどのような理由で成分調整牛乳または低脂肪牛乳を購入していますか。

次のア～エのそれぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

	あてはまる	ややあてはまる	いどちらでもない	あてはまらない	あてはまらない
(それぞれ1つずつ○印)					
ア) 普通牛乳よりも価格が安いので	1	2	3	4	5
イ) 味が普通牛乳よりも好みなので	1	2	3	4	5
ウ) 普通牛乳より脂肪分が少なくて体に良さそうなので	1	2	3	4	5
エ) 値段の割には普通牛乳と変わらないので	1	2	3	4	5

■■■ふだんよく飲む飲み物についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問16 あなたが、ふだんよく飲む飲み物を、次の中からお知らせください。(いくつでも○印)

問17 では、あなたは、問16で答えのふだんよく飲む飲み物のなかで、最もよく飲むものはどれですか。(1つだけ○印)

	問16 ふだんよく飲む (いくつでも○印)	問17 最もよく飲む (1つだけ○印)
ア) 白もの牛乳類	1	1
イ) 色もの乳飲料(いわゆるカフェオレ、コーヒー牛乳、フルーツ牛乳、ミルクココアなど)	2	2
ウ) ドリンクヨーグルト	3	3
エ) 乳酸菌飲料(ヤクルトなど)	4	4
オ) 果汁飲料	5	5
カ) 野菜ジュース	6	6
キ) 豆乳	7	7
ク) 炭酸飲料(コーラ、ファンタなど)	8	8
ケ) コーヒー(コーヒー飲料も含む)	9	9
コ) 紅茶(紅茶飲料も含む)	10	10
サ) 無糖のお茶飲料(緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	11	11
シ) スポーツ飲料(ポカリスエットなど)	12	12
ス) 栄養・機能性飲料(アミノ式・アミノサプリなど)	13	13
セ) ミネラルウォーター	14	14
ソ) この中にはない	15	-

■■■牛乳を使った料理（デザートやお菓子を含む）についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問18 あなたは、この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理（デザートやお菓子を含む）をしましたか。（1つだけ○印）

1. した ⇒問18-1へ 2. しなかった ⇒問19へ

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問18-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理の回数 → 回

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問18-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。（いくつでも○印）

- | | | | |
|--------------|---------------|--------------|------------|
| 1. シチュー | 5. オムレツ、オムライス | 9. ケーキ | 13. プリン |
| 2. スープ、ポタージュ | 6. ハンバーグ | 10. パン | 14.ゼリー |
| 3. グラタン | 7. フレンチトースト | 11. 手作りヨーグルト | 15. 杏仁豆腐 |
| 4. カレー | 8. ホットケーキ | 12. 牛乳寒天 | 16. その他() |

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問18-3 この1ヶ月間にあなたが料理（デザートやお菓子を含む）に使った白もの牛乳類の量にいちばん近いものを、次の中からお知らせください。お答えいただきたいのは、1人分の量ではなく、料理に使った量全体です。（1つだけ○印）

- | | | | |
|------------------|----------------|------------------|-------------------|
| 1. 小さじ1杯くらい(5ml) | 2. 大さじ1杯(15ml) | 3. 4分の1カップ(50ml) | 4. 2分の1カップ(100ml) |
| 5. 1カップ(200ml) | 6. 2カップ(400ml) | 7. 500ml | 8. 1ℓ以上 |

■■■ヨーグルトについてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問19 あなたは、日頃どの程度ヨーグルトを食べたり飲んだりしていますか。食べるタイプ、飲むタイプ両方含めてお答えください。（1つだけ○印）

- | | | |
|----------------------|-----------------|--------------------|
| 1. 毎日食べる/飲む | 2. 週に5～6日食べる/飲む | 3. 週に3～4日食べる/飲む |
| 4. 週に1～2日食べる/飲む | 5. 月に2～3日食べる/飲む | 6. それ以下しか食べない/飲まない |
| 7. 全く食べない/飲まない ⇒問22へ | | |

【ヨーグルトを食べる/飲む方（問20で「1～6」とお答えの方）に】

問20 あなたが、ヨーグルトを食べる（飲む）ときは、1日に合計でどのくらいの量（食べる量＋飲む量）になりますか。市販のヨーグルト1人用1カップが約100gです。（1つだけ○印）

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 1. 50g未満 | 2. 50gくらい | 3. 100gくらい | 4. 150gくらい | 5. 200gくらい |
| 6. 250gくらい | 7. 300gくらい | 8. 400g以上 | | |

【ヨーグルトを食べる/飲む方（問20で「1～6」とお答えの方）に】

問21 あなたは、どのようなタイプのヨーグルトを食べたり飲んだりすることが多いですか。（いくつでも○印）

- | | | |
|-------------------|-------------------------|-----------|
| 1. プレーンヨーグルト（無糖） | 4. ドリンクヨーグルト（飲むタイプ） | 7. その他() |
| 2. 加糖のヨーグルト | 5. 手作りヨーグルト（カスピ海ヨーグルト等） | |
| 3. 果肉フルーツ入りのヨーグルト | 6. フローズンヨーグルト | |

■■■チーズについてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問22 あなたは、日頃どの程度チーズを食べていますか。（1つだけ○印）

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 週に5～6日食べる | 3. 週に3～4日食べる |
| 4. 週に1～2日食べる | 5. 月に2～3日食べる | 6. それ以下しか食べない/飲まない |
| 7. 全く食べない ⇒問24へ | | |

【チーズを食べる方（問22で「1～6」とお答えの方）に】

問23 あなたは、チーズを食べるときは、1日に合計でどのくらいの量になりますか。市販のスライスチーズ1枚が約20gです。（1つだけ○印）

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 10g未満 | 2. 10gくらい | 3. 20gくらい | 4. 30gくらい | 5. 40gくらい |
| 6. 50gくらい | 7. 60gくらい | 8. 70g以上 | | |

【全ての方に】

問24 あなたは、この1ヶ月間にチーズ料理を食べましたか。(1つだけ○印)

1. 食べた ⇒問24-1へ 2. 食べなかった ⇒問25へ

【この1ヶ月間にチーズ料理を食べた方に】

問24-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間にチーズ料理を食べた回数 → 回

【この1ヶ月間にチーズ料理を食べた方に】

問24-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

- | | | | |
|---------|----------|------------|------------|
| 1. ピザ | 4. ハンバーグ | 7. サラダ | 10. ケーキ |
| 2. グラタン | 5. シチュー | 8. サンドウィッチ | 11. その他() |
| 3. パスタ | 6. カレー | 9. パン | |

【全ての方に】

問25 お宅では、ふだんどんなチーズを購入していますか。あてはまる方についてすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. 自分(本人) 2. 自分以外の同居している家族 3. その他()

⇒「1 自分(本人)」を選んだ方は問26-1へ

⇒「1 自分(本人)」を選ばなかった方は問30へ

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問26-1 あなたは、どのようなタイプのチーズを購入しますか。(いくつでも○印)

- | | | |
|------------------------|------------------|-----------|
| 1. ブロックタイプ(固形) | 4. ダイスチーズ(サイコロ状) | 7. その他() |
| 2. スライスチーズ(薄切りタイプ) | 5. 粉チーズ | |
| 3. シュレッドチーズ(細かく切ったタイプ) | 6. クリームチーズ | |

問26-2 あなたは、「ナチュラルチーズ」「プロセスチーズ」の違いについて、ご存じですか。(1つだけ○印)

※「ナチュラルチーズ」とは、加熱処理を加えず、チーズ中にある乳酸菌や酵素、熟成目的に添加したカビ等がそのまま残っているチーズです。一方、「プロセスチーズ」は、数種類のチーズを混合し、加熱溶解し、殺菌した後、成型したものです。

1. 知っている 2. 何となく知っている 3. 知らなかった

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問27 あなたが購入するチーズは、ナチュラルチーズですか、プロセスチーズですか。(1つだけ○印)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. ほとんどナチュラルチーズ(8割以上) | 4. ほとんどプロセスチーズ(8割以上) |
| 2. ナチュラルチーズが多い(6~7割) | 5. プロセスチーズが多い(6~7割) |
| 3. 半々くらい | 6. わからない |

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問28 あなたは、普段チーズを購入する時にどのようなことを意識していますか。また、それはどのような理由ですか。(1つだけ○印)

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 国産のチーズを購入するようにしている | *その理由
() |
| 2. 外国産のチーズを購入するようにしている | |
| 3. 生産国は意識していない | |
| 4. その他() | |

【国産のチーズを購入するようにしている方(問28で「1」とお答えの方)に】

問28-1 あなたは、国産のチーズを購入するときにどのようなことを意識していますか。また、それはどのような理由ですか。(1つだけ○印)

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. 大手メーカーの製品を購入するようにしている | *その理由
() |
| 2. 小さな工場の製品を購入するようにしている | |
| 3. メーカーの規模は意識していない | |
| 4. その他() | |

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問29 あなたは、ふだんチーズをどこで購入していますか。(いくつでも○印)

- | | | |
|---------------|-------------------|--------------------|
| 1. スーパー | 3. デパート | 5. 宅配・通信販売・ネットスーパー |
| 2. コンビニエンスストア | 4. ディスカウントストアなどの店 | 6. その他() |

■■■健康や食生活についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問30 次にあげる白もの牛乳類に関することがらについて、(1)、(2)にあてはまるものをすべてお答えください。

(1) あなたが、この半年くらいの間に、テレビや新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたものはどれですか。(いくつでも○印)

(2) あなたが、「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものはどれですか。(いくつでも○印)

		(1) この半年位の間に 見たり、聞いたり したもの (いくつでも○印)	(2) 「そういうよいこと があるなら飲んでも よい」と思うもの (いくつでも○印)
	↓		
ア)	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	1	1
イ)	牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める	2	2
ウ)	牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある	3	3
エ)	牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる	4	4
オ)	牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長伸びを助ける	5	5
カ)	牛乳のたんぱく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある	6	6
キ)	牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる	7	7
ク)	牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれる	8	8
ケ)	牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し、有害物質の発生を防ぐ	9	9
コ)	牛乳はスポーツの後に飲むと体力づくりに効果がある	10	10
サ)	牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい	11	11
シ)	牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている	12	12
ス)	ひとつもない	13	13

■■■あなたご自身についてお知らせください。統計分析に必要ですので、ありのままお答えください。■■■

【全ての方に】

F 1 性別

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F 2 年齢

		才
--	--	---

F 3 あなたは結婚されていますか。(1つだけ○印)

1. 未婚	2. 既婚	3. その他
-------	-------	--------

F 4 お子さんはいらっしゃいますか。(1つだけ○印)

1. いる	2. いない
-------	--------

F 5 あなたのご職業は何ですか。あてはまるものを1つだけお答えください。(1つだけ○印)

自営・家族従業	1. 農林漁業	2. 商工サービス業	3. 自由業	4. 内職
勤め	5. 管理職	6. 専門・技術職	7. 事務職	8. 労務職
	10. パート・アルバイト			9. 販売・サービス職
無職	11. 専業主婦	12. 中学生	13. 高校生	14. 中高生以外の学生
				15. 無職

【学生および有職の方（F 5で「1～3、5～10、12～14」とお答えの方）へ】

F 5-1 あなたの学校や職場では、給食や食堂がありますか。(1つだけ○印)

1. 給食がある	2. 給食はないが学校や職場の食堂を利用している	3. どちらもない
----------	--------------------------	-----------

【全ての方に】

F 6 同居しているご家族の人数を、ご自分も含めてお知らせください。(1つだけ○印)

1. 1人(ひとり暮らし)	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人	7. 7人以上
---------------	-------	-------	-------	-------	-------	---------

↓
【同居している家族人数が2人以上の方（F 6で「2～7」とお答えの方）に】

F 7 あなたはご家族の中で、次のようなことを主に担当なさっていますか。あてはまるものをお答えください。(いくつでも○印)

1. 料理をする	2. 食料品の買物をする	3. どちらもしていない
----------	--------------	--------------

【同居している家族人数が2人以上の方（F 6で「2～7」とお答えの方）に】

F 8 お宅の家族構成(同居している家族)を、次の中から1つだけお選びください。(1つだけ○印)

1. 夫婦2人	2. 二世帯世帯(親と子)	3. 三世帯世帯(親、子、孫)	4. その他()
---------	---------------	-----------------	-----------

↓
【F 8で「2、3、4」とお答えの方に】

F 9 では、同居しているご家族に、次のような方はいらっしゃいますか。該当するものをいくつでもお答えください。※ご本人は含めません。(いくつでも○印)

1. 乳児・幼児	2. 小学生	3. 中学生	4. 高校生	5. 大学・短大・専門学校生
6. この中にはいない				

アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。

参考資料

問7 あなたは、この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えましたか、それとも減りましたか。(ア) そのまま飲む場合、(イ) 混ぜて飲む場合、(ウ) 全体では、それぞれについてお知らせください。

(1) そのまま飲む場合

(%)

	n数	飲む量非常に増えた	飲む量やや増えた	変わらない	飲む量やや減った	飲む量非常に減った	この一年で全く飲まなくなった	牛乳はもともと飲まない	無回答
2014	3200	0.5	3.5	63.1	5.5	5.0	2.2	20.3	0.0
2013	3200	0.3	3.6	63.0	6.0	3.8	1.2	22.2	
2012	3200	0.5	3.9	63.1	5.1	3.8	1.0	22.6	
2011	3200	0.6	3.9	65	5.8	4.5	2	18	0.2
2010	3200	1.8	4.7	59.6	7.7	6.2	2.8	14.9	2.3
2008	3200	1.7	5	60.7	8.5	5	2.8	14.3	2.0
2007	3486	1.7	5.9	60.2	9.2	4.9	2.4	14.6	1.1

(2) 混ぜて飲む場合

(%)

	n数	飲む量非常に増えた	飲む量やや増えた	変わらない	飲む量やや減った	飲む量非常に減った	この一年で全く飲まなくなった	牛乳はもともと飲まない	無回答
2014	3200	0.8	4.7	65.0	4.0	3.8	2.4	19.2	0.0
2013	3200	0.6	6.0	56.5	3.7	2.8	1.4	29.1	
2012	3200	0.8	5.9	53.7	3.4	2.8	1.2	32.0	
2011	3200	0.7	5.2	65.8	4.1	3.1	2.2	18.8	0.1
2010	3200	2.5	8.3	58.2	5.2	4.4	3.9	14.5	3.0
2008	3200	2.3	7.4	59.4	4.9	3.1	3.4	15.4	4.1
2007	3486	1.9	8.4	58.4	5.1	3.3	3.2	15.9	3.9

(3) 全体

(%)

	n数	飲む量非常に増えた	飲む量やや増えた	変わらない	飲む量やや減った	飲む量非常に減った	この一年で全く飲まなくなった	牛乳はもともと飲まない	無回答
2014	3200	0.6	5.1	66.5	5.8	4.1	1.8	16.0	0.0
2013	3200	0.5	6.3	67.6	5.9	3.6	1.0	15.0	
2012	3200	0.7	6.1	68.2	5.5	3.4	0.8	15.3	
2011	3200	0.7	5.5	68.1	6.6	3.6	1.6	13.7	0.2
2010	3200	2.0	8.5	62.0	7.6	5.5	1.7	11.3	1.4
2008	3200	1.8	7.7	65.5	7.8	3.9	1.6	10.5	1.1
2007	3486	1.7	8.3	63.6	8.6	4.1	1.2	10.8	1.6

問8 次のア)～ソ) のことがらは、あなたの牛乳を飲む量が減った理由、あるいはあなたが牛乳を飲まない理由としてどのくらいあてはまりますか。それぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

(%)

	n数	牛乳は味にクセがある	牛乳のにおいが嫌い	牛乳は飲んだあと口に残る	牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる	牛乳を飲むと太ると思う	牛乳はコレステロールが気になる	牛乳は日持ちしない	牛乳は持ち歩けない	自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がない	飲みたい牛乳がない	牛乳が体によくないという情報を本などで得た	医者に言われた	牛乳アレルギーがある	価格が高くなったため買い控えるようになった※	いつもの年より夏が暑かった
2014	844	38.0	35.5	37.3	38.7	8.2	9.0	13.2	14.6	10.1	15.0	5.7	3.6	5.9	5.8	2.3
2013	787	40.9	39.1	39.1	40.5	6.5	8.9	14.1	17.2	9.8	13.8	5.9	3.6	5.0	2.0	4.2
2012	763	40.3	40.0	37.4	44.0	7.4	10.7	12.4	13.2	6.0	10.3	4.5	3.6	6.0	2.8	2.6
2011	785	38.2	35.6	36.8	38.4	8.1	11.3	13.3	14.2	10.2	12.6	5.9	3.8	4.9	3.8	3.1
2010	807	29.7	27.1	31.5	34.6	6.8	8.5	15.1	16.6	9.5	11.3	6.3	3.7	3.9	5.4	4.5
2008	741	29.3	27.6	32	37.2	10.5	12.6	16.1	18.8	10.6	12.8	6.9	3.5	4.9	8.7	—

※前回調査「不景気の影響で牛乳を買い控えるようになった」は、2014年より「価格が高くなったため買い控えるようになった」に変更

問 13 では、この1年くらいの間に、あなたの白もの牛乳の「買い方」は 変わりましたか。(1つだけ○印)

(%)

年次	n数	購入する牛乳の銘柄を安いものに変えた	牛乳を購入する頻度を減らした	1回に購入する牛乳の量を減らした	牛乳以外の飲物を購入、代用する	これまでと変わらない	いずれもあてはまらない	無回答
2014	1144	8.4	2.6	1.3	2.9	79.9	4.8	0.0
2013	1158	6.1	1.9	1.1	2.1	84.6	4.0	0.2
2012	1137	5.6	1.9	1.0	2.2	83.8	5.4	0.0
2011	1138	7.4	2.5	2.3	2.5	80.2	5.1	0.0
2010	1167	10.5	3.1	1.8	3.7	77.3	3.3	0.4

問 18-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

(%)

年次	n数	シチュー	スープ、ポタージュ	グラタン	カレー	オムレツ、オムライス	ハンバーグ	フレンチトースト	ホットケーキ	ケーキ	パン	手作りヨーグルト	牛乳寒天	プリン	ゼリー	杏仁豆腐	その他	無回答
2014	835	70.7	25.2	35.5	14.3	17.8	18.1	14.4	32.3	8.0	4.9	4.1	3.0	5.0	1.1	1.2	6.6	0.1
2013	815	74.1	26.0	31.3	17.3	18.1	20.2	17.7	34.4	8.2	6.0	4.5	4.2	5.5	1.9	1.6	6.4	0.0
2012	738	57.6	23.9	30.1	19.8	16.9	18.8	13.5	30.7	9.5	5.3	5.3	4.9	5.1	1.9	4.0	9.0	0.0
2011	822	65.3	22.4	33.6	18.6	15.6	18.6	12.0	28.8	8.7	5.7	6.5	4.4	7.1	2.0	2.2	8.2	0.4
2010	952	63.3	23.3	30.2	16.3	17.2	21.3	12.2	36	6.8	5.6	6.4	6.1	7.5	2.4	1.9	7.6	0.1